

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年 4月25日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

備品購入

	経費の内容	金額(円)	備考
上記事業に 要した経費	パソコンインクカートリッジ	3383円	6766円 × 1/2
	〈合 計〉	3383円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を複数、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

4-1

富山県議会
公明党
様
領 収 証

2017年04月04日 (火)

¥6,766-

上記正に領収しました(消費税等 501円を含みます)
但し、商品代 千448-0046愛知県刈谷市日高町4-101
DCMカーマイン 豊羽店
TEL 076-434-4000
※保管上のお願ひ、印刷面を内側に折って保管願います。
財布等で保管戴く場合は、印刷面を内側に折って保管願います。

0033-1605-4014

* 領収証明細 *

2017年04月04日(火)18:49 レシ0093

U16 キヤノン 純正インク	
4960999971308	¥2,756
016 キヤノン 純正インク	
4960999905211	¥1,604
2コX単802	
016 キヤノン 純正インク	
4960999904610	¥802
016 キヤノン 純正インク	
4960999905549	¥1,604
2コX単802	
合計	¥6,766
(内税別)	¥6,766)
(内税)	¥501)
(税合計)	¥501)
お買上点数	6点



レシートNo4014

店No00803

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年4月25日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	用途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

富山新聞政経文化懇話会
平成29年会費

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		平成29年会費	6,000円
	振込手数料	486円	
	(合計)	60,486円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付きれない場合は、別紙に整理すること。)

4-2

北陸銀行 キャッシュカードサービス
ご利用控

いつもご利用いただきありがとうございます。
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	端末番号	処理番号	日付														
お振込	0045912	29-04-11															
銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	収帳番号														
			106														
<table border="1"> <tr> <td>千</td><td>百</td><td>十</td><td>元</td><td>角</td><td>分</td><td>厘</td> </tr> <tr> <td>0</td><td>0</td><td>6</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>				千	百	十	元	角	分	厘	0	0	6	0	0	0	0
千	百	十	元	角	分	厘											
0	0	6	0	0	0	0											
時刻	ご利用手数料 (消費税を含む)	お取引金額															
13:52	¥486	¥60,000															
おつり	お振込手数料の残高																
¥14																	
手数料のうち振込手数料 ¥486 000017																	
トヤマシツブツセイカイフツカコソウカイ 様 トヤマケンキカイキョウイン ヨリタ マト 様 電話番号 076-434-3909																	

お願い………通帳へ記入されるまで大切に保管ください。
ATM振込の領収書はご利用控えを大切に保管してください。

FR3013012 29.5 100x500 BK

裏面もあわせてご覧ください。

平成 29 年 4 月 6 日

4-2

請 求 書

富山県議会議員 吉田 勉 様

富山県大野町三丁目 号
富山新聞政経文化懇話会
代表者

金 60,000 円

日頃より、富山新聞政経文化懇話会に対し格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、平成 29 年会費を上記の通りご請求申し上げます。つきましては、平成 29 年 5 月 31 日（水）までに下記口座に納入いただきますようお願い申し上げます。

口座名義

[REDACTED]

取扱金融機関

[REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]
[REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]
[REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]
[REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]
[REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]

※尚、本請求書と行き違いでお支払いの節は、失礼をご容赦下さいますようお願い致します。

(連絡先) 富山新聞政経文化懇話会事務局 電話 076-491-8126

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年4月25日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	使途項目	調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費	人件費
------	------	-------	-----	-----	-------	-------	-----	-----	-----

(事業内容)

北日本政経懇話会
 平成29年4月～6月 会費
 上期

上記事業に要した経費	経費の内容	金額 (円)	備考
		平成29年上期会費	27,000円
	〈合計〉	27,000円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

請求書

4-3

平成 29年 1月 17日

富山県議会議員
吉田 勉 様

北日本政経懇話会
会長

〒930-0094
富山市安住町2番
北日本新聞社経営企画
TEL076(445)
FAX076(444)9180

下記のとおり、ご請求申し上げます。よろしくお願ひ致します。

請求金額 54,000円

摘要	金額
平成29年上期会費 (平成29年1月-6月分) 9,000円×6カ月	54,000円
合計54,000円	
備考 会費 (1カ月9,000円) は6カ月、半期ごとにお支払いを お願いしております。	

※お支払いにつきましては誠に恐れ入りますが、2月13日(月)までに下記の北日本政経懇話会口座へお願ひ致します。

なお、振り込み手数料は御社でご負担願ひます。

[Redacted]

領収書貼付台紙

（必ずこのように貼付すること。）

北陸銀行 キャッシュカードサービス
ご利用控

いつもご利用いただきありがとうございます。
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

4-3

お取引の種類	端末番号	処理番号	日付
お振込	0014502	29-02-01	
銀行番号	預金店番号	科目	口座番号
			106
元金	手数料	合計	
00500000000007000701030101			
時刻	ご利用手数料 (請求額等を含む)	お取引金額	
11:11	¥486円	¥54,000円	
おつり	お取引後の残高		
¥0円			
手数料のうち振込手数料		¥486	
		000010	
キタニホソセイケイコソウカイ 様			
ヨシタ リトム 様			
電話番号 [REDACTED]			

お取引の通帳記入は、お振込の金額がわかるまで大切に保管してください。

NO. 005X201 5-22 / 2105(02.03)

裏面もおわせてご覧ください。

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年4月25日

党派・議員名 公明党 吉田 寛

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	日本教育新聞	16,200円	平成29年4月～9月
	(合計)	16,200円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付きれない場合は、別紙に整理すること。)

No. 051064

領 収 証

吉田 勉 様

金額 ¥16,200-

但し購読料 29/4月~29/9月として

平成 29 年 3 月 9 日

(郵便振替)

上記の金額正に領収致しました

印 収
紙 人

株式会社 日本教育新聞社

東京都港区虎ノ門 1-8-8
〒105-8436 電話 03-3581-828



扱
者
印

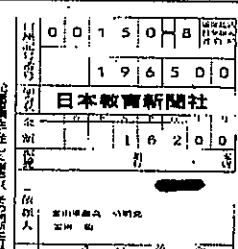


※上記発行先・金額の訂正は無効です。

4-4

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
29-03-09	32185	A93110007
取扱店	トヤマケンチュウナイ	
払込口座	00150-8	196500
払込金額	*16,200	料金 *0



振替受付票
 払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。
 料金には、消費税等が含まれています。
 (ゆうちょ銀行)

入金額 *16,200
 おつり *0

新生活応援キャンペーン実施中！
 詳しくは、貯金窓口へ。

印紙税申告納付につき廻町税務署承認済

請求書

2017年 3月 7日

富山県議会 公明党

吉田 勉

様



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役社長

東京都港区虎ノ門 8-1-1

電話 03 (3) 551-7777

《お支払い先》

- ・振替払込 00150-8-196500
- ・銀行振込 みずほ銀行虎ノ門支店
- 普通預金 2835213
- ・口座名義 株式会社日本教育新聞社

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。
 下記の通りご請求申し上げます。
 ※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。

合計請求額	16,200 円	読者コード	[REDACTED]	請求書番号	0003950503
(内税)		【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。			
品名	部数	期間	金額	備考	
前回請求額			円		
今回入金額			円		
差引繰越額			円		
今回請求額			円		
合計請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円 2017/04-2017/09	

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>広報費</u> ・事務費・人件費
------	------	--

(事業内容)

県政報告 製作費
H29年2月定例会

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	県政報告製作費	160,000円	4,000部作成
	企画編集料	60,000円	一式
	封筒製作費	40,000円	4,000部作成
	消費税	20,800円	8%
	〈合計〉	280,800円	

〈領収書貼付枠〉(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

直ならないように貼付すること。

4-5

領 収 証

高松建設株式会社様

平成 27 年 12 月 2 日

¥280,800-

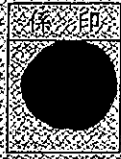
現金
内訳
小切手
手形
その他

但し
上記の金額正に領収いたしました。



三 十 十 印 刷 社

代表取締役
〒981-8392 富山県富山市原町2丁目1番1号(富山県庁裏側)
TEL & FAX (076) 437-5777



4-5

請求書

No. _____

29年々月/日

富山県議会 公明党 様

三ナ印刷社

代表 田中 幸一郎

〒931-8334 富山県 富山市 原町2丁目1-1

TEL & FAX (076) 4-3-7-5777

下記の通り御請求申し上げます

合計金額 280,800

月日	品名	数量	単価	金額	摘要
1	胃政報告	4000部		160,000	
2	企画・印刷料一括			60,000	
3	郵賃名-3	4000部		40,000	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
小計				260,000	
消費税				20,800	
合計				280,800	

取引銀行 北陸銀行奥田支店 (普) 0208690

県政報告

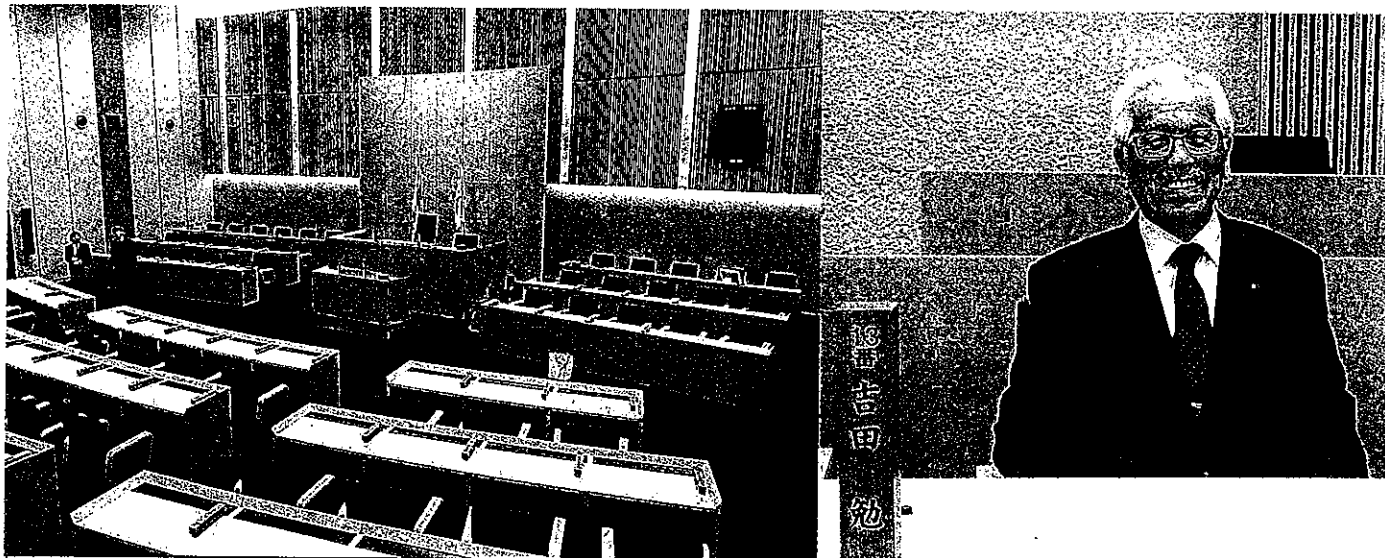


◆公明党富山県議会議員 県政報告

◆発行 / 富山県議会公明党 (平成 29 年 4 月)

◆〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 TEL (076) 444-3373

◆「とやま新時代」にふさわしい「多くの方に足を運んでもらえる親しみの持てる議場」に生まれ変わりました!



議場や玄関ホールの壁に県産材をふだんに使い、傍聴席のイスを座りやすくしました。議場は正面の壁の装飾に県産のスギや朝日町に伝わる蛭谷和紙を挟んだガラスを使用。また、議場内と傍聴席のイスや議員名を印字した氏名標にも県産材を使用。また、傍聴席は、これまで45cmだった座席幅を50cmに広げ、工事前より21席少ない149席としました(車イス用8席含む)。また、発言台は、高さを79cmから99cmまで上下できるようにし、車イス利用者や子供も話しやすいよう配慮しました。また、照明を明るくし、音響設備も更新し、一人でも多くの方に議場に足を運んでもらえるよう、明るく親しみの持てる議場になりました。

◆平成 29 年 2 月富山県議会・経済建設委員会での「吉田つとむ」の質問より

問1 2017年度政府予算案と本県の取組みについて

(1) 英国のEU離脱や米国第一主義を掲げるトランプ新政権の誕生など、不透明感が増す世界情勢の中、本県財政における中長期見通しについて、どのように考えているか、問う。

〔石井知事 答弁〕

- 1 本県財政については、構造的財源不足を平成 28 年度予算編成において解消するとともに、北陸新幹線整備に係る約 2,300 億円の地方負担も、その大幅軽減を図ったうえで概ね支払ったところであるが、その後も行財政改革や事務事業の見直し、国への地方税財源の充実・確保の働きかけ、県債の新規発行の抑制等に努めてきたことから、平成 29 年度末見込みの県債残高については、平成 28 年度当初予算時と同様、前年度末見込残高と比べて減となる見込み、すなわち 2 年連続減少する見通しであるなど、財政の健全化は着実に進んでいるものと考えている。
- 2 今後の財政見通しについては、まず、歳出のうち義務的経費では、①扶助費は、高齢化の進展等に伴い毎年 10 億円程度の増加が見込まれるが、②人件費は、引き続き定員の適正化に取り組むことなどにより、一定程度減少していく。③また、公債費は、県債の新規発行額を 7 年連続して抑制しているものの、新幹線整備の地方債の償還が本格化していることから、当面は高い水準で推移すると見込まれる。
- 3 一方、税収等の歳入については、今後の経済情勢や税制改正、毎年の地方財政対策の状況等に大きく影響を

受けるため、確たることは申し上げられないが、政府は今後の経済財政運営にあたり、「経済再生なくして財政健全化なし」を基本とし、名目GDP 600兆円経済の実現と財政健全化目標の達成の双方の実現を目指すとしているものの、先般、内閣府が示した経済財政見通しでは、基礎的財政収支の2020年度の黒字化達成は困難とされている。

このため、今後、財政健全化の観点から、地方の歳出抑制を求める圧力が高まることが予想され、基本的には、県税と地方交付税等を合わせた一般財源総額の大幅な伸びは見込めないものと考えている。

4. このように、本県の財政見通しについては当面は厳しい状況が続くものと想定されることから、今後とも、行政改革や財政健全化の推進に最大限努力する一方、国に対して、偏在性が小さく税収が安定的な地方税体系の構築や地方の一般財源総額の確保などについて、全国知事会等とも連携しながら強く働きかけてまいりたい。

問1 2017年度政府予算案と本県の取組みについて

- (2) 家庭の経済状況に関わらず、すべての子どもたちが安心して学べる環境づくりを加速させることが重要と考えるか、本県ではどのように取り組んでいくのか、問う。
国では、返済する必要のない給付型奨学金の創設が予算に盛り込まれた。

【石井知事 答弁】

- 1 高校生・大学生をはじめとする子どもたち、若者は、我が国の将来を担う人材であることから、意欲ある若者などが経済的な理由に左右されることなく学ぶ機会を確保できるよう支援していくことは重要なことである。
- 2 このため、高校生については、①就学支援金を支給して、授業料の負担を軽減しており、②また、低所得世帯の高校生に「奨学のための給付金」を支給し、教材費など授業料以外の教育費の負担も軽減しているが、来年度からは、この支給額を一部引き上げることとしている。③また、奨学金も貸与しており、その返済にあたっては、個々の事情に配慮しながら対応している。
- 3 さらに、本県では、県単独で、①私立高校が授業料や入学料を免除する場合に支援しており、また、②働きながら定時制・通信制の高校に通う生徒には修学奨励金を貸与し、高校を卒業した場合には返還を免除するなどの支援も行っている。
- 4 また、大学生については、現在、日本学生支援機構が奨学金を貸与しているが、本県では、日本学生支援機構で採用にならなかった県内出身の学生を対象に、県単独で無利子の奨学金を貸与しており、病気等の理由により返済が困難な場合には、高校生と同様に、返還猶予など返還方法の相談に応じるなど、個々の事情に配慮したきめ細かな対応を行っている。
- 5 こうした中、国においては、低所得世帯の生徒の大学等への進学を後押しするため、給付型奨学金制度を創設し、平成30年度から本格実施することとしている。

この制度では、住民税非課税世帯で、一定の学力・資質要件を満たす学生を支援の対象にするとされており、来年度から選考が始まる予定である。

一方で、支援人数については2万人とされているが、国会において、安倍総理から「安定的に運営して効果を見定める中で増やしていきたい」との意向も示されている。

問1 2017年度政府予算案と本県の取組みについて

- (3) 本県が外国人観光客に選ばれ続けるように観光地域づくりや広域・国際観光の振興、効果的なプロモーションの展開について、戦略的に取り組む必要があると考えるか、県ではどのように取り組むのか、問う。
国では、訪日外国人旅行者数を2020年に4,000万人に増やす目標に向け、戦略的なプロモーションの展開や「民泊」の普及を支援することとしている。

【石井知事 答弁】

- 1 今後ますます増加が予想される訪日外国人旅行者を本県に呼び込んでいくためには、①魅力ある観光資源の磨き上げ等による観光地域づくり、②近隣県等と連携した広域観光周遊ルートの形成促進、③欧米豪などの

新規市場における認知度向上や、東アジア・東南アジアからのリピーター拡大などに戦略的に取り組むことが大変重要である。

- 2 このため、新年度においては、①「立山黒部」の世界ブランド化に向けた取組みの検討、推進や、「富山湾岸サイクリング2017」の開催などによる、「世界で最も美しい富山湾」の魅力の磨き上げ・発信、ユネスコ無形文化遺産に登録された県内3つの曳山行事などの文化遺産や文化力の魅力発信などによる観光地域づくりに取り組むとともに、②「東京・大阪『北陸アーチパス』」などの割引きっぷを使った広域観光ルートのPR、③欧米豪などの新規市場に対する「ミシュラン・グリーンガイド」のウェブサイト等を活用した情報発信、本県の食の魅力の発信や、航空会社と連携した中国や東南アジアの現地旅行会社の招へいなどに取り組むこととしている。

さらに、外国人旅行者の受入環境整備として、①民間の美術館等の文化施設が行う英語表記や、飲食店等が行うベジタリアンやムスリム向けメニューの開発に対する支援、②県内のホテル・旅館が受け入れる外国のインターンシップ学生に対する日本語研修などの実施、③とやま観光未来創造塾のグローバルコースにおける人材育成などに取り組むほか、質の高い宿泊施設の誘致にも積極的に取り組んでまいりたい。

また、議員ご紹介の、いわゆる「民泊サービス」については、現在、「住宅宿泊事業法案」が今国会へ提出される予定となっており、法案が成立した場合には、市町村や関係の団体・業界の意見もお聞きしながら、健全な宿泊サービスが提供されるよう、適切に対応してまいりたい。

- 3 今後とも本県が、「海のあるスイス」として、外国人旅行者からも「選ばれ続ける観光地」となるよう、これらの取組みをしっかりと推進してまいりたい。

問1 2017年度政府予算案と本県の取組みについて

県内経済の活性化のため、中小企業やサービス業における生産性の向上や新商品の開発・販路拡大への投資を積極的に促す必要があると考えるが、県ではどのように取り組むのか、問う。

IoTの導入支援を通じた生産性の向上や、地域資源を活かした商品・サービスの開発、海外を含めた販路拡大により企業の収益性を高め、ひいては労働者の賃金引き上げにつなげていくべき。

【石井知事 答弁】

- 1 中小企業等の生産性向上や新商品開発等については、これまでも、①中小企業チャレンジファンドや、②地域資源ファンド、③県制度融資の設備投資促進資金、④経営革新計画の認定などにより支援してきている。
- 2 さらに、新年度においては、
- (1) 生産性の向上については、①企業のIoT導入の促進に向け、新たに「IoT推進コンソーシアム（仮称）」を設置し、講演会やワークショップ等の開催、ビジネスプランコンテストの実施や、生産性向上のモデル的な取組みに対する助成のほか、②県制度融資に「IoT支援特別資金」を創設し、県の利子補給により実質無利子となる全国初の制度を設けるなど、IoTの「富山型モデル」の推進などに取り組むこととしている。
- (2) また、商品・サービスの開発については、①アルミ分野などでコンソーシアムを設置し、県内取引の活性化と新技術・新製品の開発促進、②総合デザインセンターにおけるデザイン交流創造拠点の整備、③県内クリエイターとものづくり企業等とのマッチング支援、④伝統工芸品の製作体験メニューの作成支援のほか、⑤とやま観光推進機構による、農林漁業・商工業等と連携した旅行商品の開発などを行うこととしている。
- (3) 国内での販路開拓については、①「機械要素技術展」にもものづくり企業等と連携して出展するとともに、②愛知県でトヨタ自動車やその関連企業との展示商談会の開催などを行うこととしている。
- (4) また、海外への販路拡大については、①「ものづくり総合見本市」を開催するほか、②東南アジアへの経済訪問団の派遣にあわせたものづくりセミナーの開催、③台湾デザインセンターと連携した海外向け商品開発・販路開拓の支援、④県内企業が連携して取り組む海外での販路拡大、⑤伝統工芸品の海外でのPRなどを実施することとしている。
- 3 今後とも、企業の収益性が高まり、労働者の賃金引き上げにつながるよう、積極的に支援してまいりたい。

問1 通学路における歩行者の安全対策について

- (1) 通学路における緊急合同点検の結果、道路管理者による緊急対策が必要とされた箇所のうち、対策未完了の99箇所について、対策項目別の箇所数はどうなっているのか、また、県管理道路の対策の完了の見通しについて、併せて問う。

【水口道路課長 答弁】

平成24年の通学路の緊急合同点検の結果、道路管理者として対策が必要とされた箇所は368箇所でした。

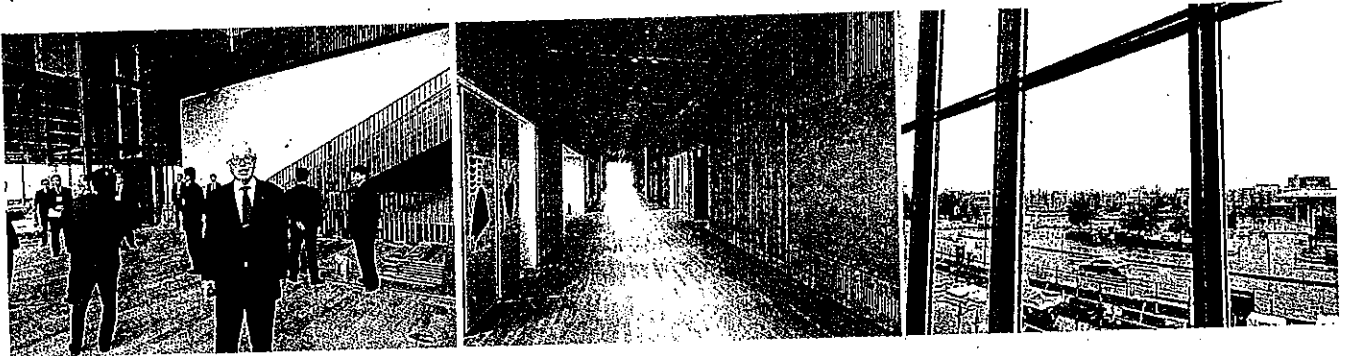
歩道の設置や道路の法面の立ち上げによる路肩の拡幅、防護柵の設置、交差点や路肩のカラー舗装化や路面標示などの対策を実施した結果、平成27年度末までに269箇所の対策が完了し、残る箇所は99箇所となっています。

99箇所の対策項目別の内訳については、歩道の設置や拡幅を行う箇所が43箇所、路肩の設置や拡幅を行う箇所が26箇所、踏切の拡幅を行う箇所が4箇所、無電柱化を行う箇所が2箇所などとなっています。

また、残る99箇所のうち、県管理道路については、平成27年度末時点で、歩道の設置が19箇所、路肩の設置が2箇所、踏切の拡幅が3箇所の合計27箇所となっていますが、今年度末までに県道東老田白石線の富山市願海寺地内における歩道整備など6箇所が完了する見込み（繰り越す場合もありますが、予算的には必要額を措置済み）となっています。

残る21箇所については、歩道の整備に向け、物件移転や用地取得が必要な箇所や踏切拡幅に伴う鉄道事業者との協議・調整が必要な箇所など対策の完了までに時間を要する箇所であり、できるだけ早期に対策を完了することができるよう、今後とも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

◆平成29年8月26日(土)全面開館予定の富山県美術館を視察!



◆富山県立近代美術館は、昭和56年の開館以来、20世紀初頭から現代に至る美術の流れを世界・日本・富山の3つの視点から展望する、意欲的な活動に取り組んできました。しかし、建物の耐震性が不足し、消火設備がスプリンクラーであることなどにより、国内外の美術館連携から孤立することにならざるを得ないため、「県立文化施設耐震化・整備充実検討委員会」の提言を踏まえ、富岩運河環水公園西地区へ移転することになりました。

新しい美術館は、近代美術館の開館当初からの理念を継承して発展させるとともに、これまで以上にデザインの視点を取り入れ、「アートとデザインをつなぐ」美術館を目指しています。

そこで、県の美術の拠点であるとともに、将来を見据え、時代の変化に対応でき、様々な展開が可能となるよう、名称を新たに「富山県美術館」、略称「TAD」としました。

TADでは、展示の充実はもちろん、アトリエやギャラリーを設け、「見る」「創る」「学ぶ」という双方向の美術体験を展開していきます。また、教育機関や地域の団体、環水公園のイベントや観光、産業とも連携を進め、子供たちや家族連れ、お年寄り、観光客など、幅広い層の方々々が気楽に訪れ、ひとり一人の楽しみ方に出会える美術館となるよう取り組みます。

- ◆開館予定 平成29年3月25日(土) 一部開館(アトリエ・レストラン・カフェなど)
平成29年4月29日(土) 屋上庭園「オノマトペの屋上」開園
平成29年8月26日(土) 開館(開館記念展の開催)

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。



あなたの声を「実現」します

富山県議会議員

吉田つとむ



〒930-0116 富山市追分茶屋49-3
TEL:076-434-3909 FAX:076-482-2078
E-mail: 

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年4月25日

会派・議員名 公明党 吉田 勇丸

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>広報費</u> ・事務費・人件費
------	------	--

(事業内容)

県政報告書(平成29年予定例会)郵送料

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		宅配便運賃料	137,618円
	折り込み料	43,134円	
	(合計)	180,752円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付きれない場合は、別紙に整理すること。)

4-6

領 収 証

CY 263849

富山県議会 公明党 様

領収金額 **¥137,618**
(うち、消費税額等 ¥10,270)

印紙税申告納
付につき京橋
税務署承認済

但し、4月度宅急便他運賃料金として
上記の通り領収致しました。 29年 4月 11日

本 社 ヤマト運輸株式会社
東京都中央区銀座2-3-10
発行事業所 富山主管支店
0766-55-1934

印 影 印

領 収 証

富山県議会 公明党 様 29年 4月 11日

★ ¥ 43,134

但

上記正に領収いたしました

内 訳 メール封入代金

税抜金額

消費税額等(%)



請求書

〒 930-0116
富山県富山市追分茶屋 49-3

富山県議会 公明党 様

ご請求年月日 平成29年04月03日
お支払予定日 平成29年05月31日
支払方法 集金

ヤマト運輸株式会社

富山主管支店
担当店: 富山奥羽センター

〒939-0285
射水市
本開発305-1

請求書についてのお問合せ:
0766-55-1934
集荷・配送についてのお問合せ:
0570-200-000 (ナビダイヤル)

4-6

下記の金額をご請求申し上げます。

ご請求金額	¥137,618
(うち消費税額等)	¥10,270

請求書No.	07282	お荷物のNo.	
--------	-------	---------	--

銀行振入、口座振替も承っております。詳しくは弊社担当までご相談下さい。

銀行	支店	普通預金	口座名義
*****	*****	*****	*****

ホームページアドレス
<http://www.kuronekoyzma10.co.jp>

044-120

受付日	原票No.	振替	郵便	運賃合計	運賃	立替金	保険料	消費税額等
0403	1744192321	クロネコDM便	2054	137618	127348	0	0	10270

	郵便	運賃合計	運賃	立替金	保険料	消費税額等
小計	2054	137618	127348	0	0	10270
合計	2054	137618	127348	0	0	10270

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年6月12日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

備品購入

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	プラグインカーリッジ	2446円	K892A x 1/2
		(合 計)	2446円

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

7

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

6-1

領収証

〒 4-892-14

2017年5月24日

アイタッチ I-Touch

〒939-8132 富山市月岡町4丁目88番地
TEL: (076) 429-1599 FAX: (076) 429-1367

富山県 富山県議会議員室

納品書

2017年 5月 23日

〒

吉田 勉 様

アイタッチ I-Touch

橋本 樹

富山県議会議員室 様

〒939-8132 富山市月岡町4丁目88番地

TEL: (076) 429-1599 FAX: (076) 429-1367

品名	メーカー名	規格	数量	単位	単価	金額	備考
1	ブラザー	インカートリッジ LC16-BK-2PK	1	ヶ	3,000	3,000	
2	ブラザー	インカートリッジ LC16-C	1	ヶ	1,530	1,530	
3	-	-	0	-	0	0	
4	-	-	0	-	0	0	
5	-	-	0	-	0	0	
6	-	-	0	-	0	0	
7	-	-	0	-	0	0	
					計	4,530	
					消費税	362	
					合計	4,892	

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年6月12日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費	資料購入費	広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------	-------	-------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		富山新聞	6,144円
	北越新聞	6,144円	4月5月分
	未旗	6,994円	4月5月分
	《合計》	19,282円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

6-2

領収証

17年 04月分 29年 2月 29日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売 (株)

富山センター 呉羽茶屋販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当



新規購読者の紹介で5千円分のギフト進呈。
『お友達紹介キャンペーン』実施中です。

2017年 4月分 領収証 発証No 00004567-201704-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額
¥3,072
(消費税込み)

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達、料金、取次所からの各種ご連絡、新聞・取次所等のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購読有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞



領収印

吉田 勉 様		日本共産党発行の しんぶん赤旗 領収書
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497 円
		2017 年 4 月分
		980-0932 富山県富山市吉作486-38 日本共産党富山県委員会 TEL 076-436-3888
領収日	/	投者

2017年5月分 領収証 発証No. 00004567-201705-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額

¥3,072

(消費税込み)

※お客様の個人情報は、自販売所において適切に管理し、新聞の配達・入金、販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物等のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店
富山県富山市吉作486-38
076-436-2618

毎度ご購入有難うございます
上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞

領収印

領収証 17年 05月分 2017年5月27日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)

富山センター 呉羽茶屋販売所

富山市黒崎588
TEL 076-493-1160
FAX 076-493-1140

集金担当




購読料のお支払いは①金融機関の口座から
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

6-2

吉田 勉 様		日本共産党発行の しんぶん赤旗 領収書	
		3,497 円	
		2017 年 5 月分	
新聞雑誌名	部数	金額	
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497	
		左記の金額は税込の金額です。 消費税が別途加算されています。 TEL: 0932-930-0932 富山県石川市元町2丁目24-12 日本共産党富山県委員会 TEL: 076-432-8333	
領収日	/	振替	

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年6月23日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・金庫費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)
備品購入

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		複写機インクカートリッジ	3455円
	《合 計》	3455円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を数し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

6-3

DCMカーマ

呉羽店 076-434-4000

営業時間： 9:30~20:00
カーマ新規入会キャンペーンのご案内
お得なカーマカードに入会されますと
もれなく1000ポイントプレゼント！
現金でもポイントが貯まります！

領収証

2017年05月27日(土)09:56 ｼﾞﾀﾞﾝ0003

016 キヤノン 純正インク	
4960999678177	¥4,813
016 キヤノン 純正インク	
4960999819716	¥2,098
合計	¥6,911
(内税別)	¥6,911)
(内税)	¥511)
(税合計)	¥511)

お預り	¥10,011
お釣り	¥3,100
お買上点数	2点



ｼﾞﾀﾞﾝNo1880

店No00803

上記正に領収しました(消費税等 511円を含みます)
DCMカーマ 呉羽店 (〒448-0004 愛知県刈谷市日高町4-101)
TEL 076-434-4000
※保管上のお願ひ
財布等で保管される場合は、印刷面を内側に折って保管願います。

0003-1997-1880

高知県議会
公明党
様

領収証

¥6,911-

2017年05月27日(土)

領収証明細

2017年05月27日(土)09:56 ｼﾞﾀﾞﾝ0003

016 キヤノン 純正インク	
4960999678177	¥4,813
016 キヤノン 純正インク	
4960999819716	¥2,098
合計	¥6,911
(内税別)	¥6,911)
(内税)	¥511)
(税合計)	¥511)
お買上点数	2点



ｼﾞﾀﾞﾝNo1880

店No00803

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>広報費</u> ・事務費・人件費
------	------	--

(事業内容)

県政報告 製作費
H29年6月定例会

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		県政報告製作費	160000円
	企画編集料	60000円	一式
	封筒製作費	40000円	4000部作成
	消費税	20800円	8%
	(合計)	280,800円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

領 収 証

富山県議会公團様

今年 月 日

¥280,800

内訳

現金

切手

手形

その他

但し

上記の金額正に領収いたしました。



三ノト印刷社

代表 山田 隆 雄 氏

〒931-8334 富山県石川郡野島町北郷野島前

TEL & FAX (076) 487-1577



6-4

請求書

No. _____

29年6月 日

富山県鉄道公社 様

三ナ印刷社

代表 取締役 幸一郎

〒931-8334 富山県市原崎2丁目1-1

TEL&FAX (076) 437-5777

下記の通り御請求申し上げます

合計金額 ¥280,800

月日	品名	数量	単価	金額	摘要
1	県政報告	4000部		160000	
2	企画・編集料-2			60000	
3	地価名-3カ-7	4000		40000	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
小計				260000	
消費税				20800	
合計				280800	

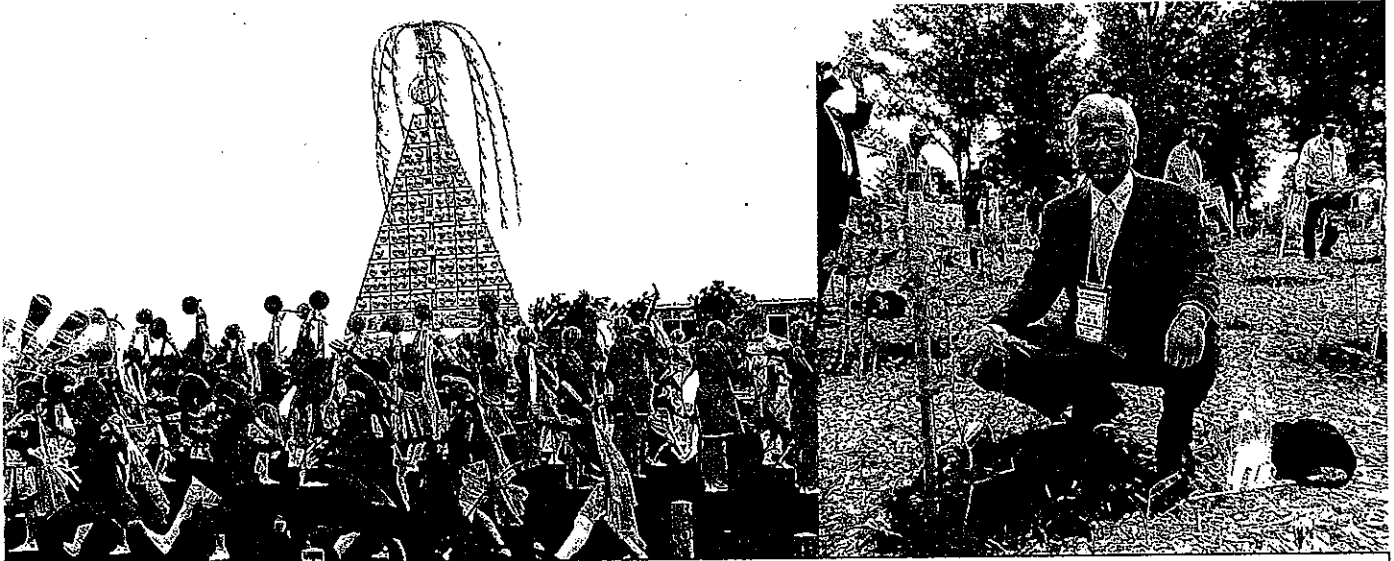
取引銀行 北陸銀行奥田支店 (普) 0208690

県政報告



◆公明党富山県議員会 県政報告 ◆発行 / 富山県議会公明党 (平成 29 年 6 月)
◆〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 Tel (076) 444 - 3373

◆第68回全国植樹祭とやま2017「かがやいて水・空・緑のハーモニー」をテーマに、5/28(日)開催



第68回全国植樹祭富山大会が5月28日、天皇、皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、魚津市の魚津桃山運動公園を主会場に開催されました。朝方の小雨が上がって青空が広がり、木々の緑が映える中、両陛下は富山県が開発した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」など6種類の苗木を植えられ、エドヒガンなど4種類の種をまかれました。県民参加による多様な森づくりの推進や県産材の活用、森づくりと海づくりを一体的にとらえた県民の活発な実践活動など、富山県の美しい自然、多彩な伝統・文化、食の魅力を活かしたすばらしい大会であったとの評価をいただきました。

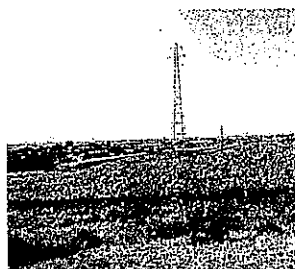
◆平成 29 年 6 月富山県議会・農林水産委員会での「吉田つとむ」の質問より

問1 呉羽梨産地の活性化について

(1) 本年、呉羽梨産地において主要病害「黒星病」が5月初旬から発生しているか、被害を抑制するためには、どのような対策が必要と考えるか、所見を問う。

【川口農業技術課長 答弁】

呉羽梨産地では、一昨年の黒星病の多発による大きな被害を受け、県、JA、全農富山県本部からなる「ナシ黒星病対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、黒星病の被害の抑制に向けて、効果の高い対策を推進してきています。具体的には、黒星病菌は感染した落葉で越冬し、翌春の降雨等で感染が拡大することから、まず、ナシの収穫後、菌が越冬する前に園地に薬剤散布を行い、菌の密度を下げることで、また、秋から春先にかけては、罹病した落葉をロータリにより園地の土壌中へ鋤き込み、感染源をなくすこと、さらに4月から5月にかけて、発病のもととなる胞子の飛散が多い時期においては、特に黒星病対策に重点をおいた薬剤散布を行い、感染を予防することなどを指導してきたところです。



こうした取組みにより、昨年産では黒星病の被害が大きく減少したところです。本年については「ナシ黒星病対策プロジェクトチーム」が5月中旬に行った調査によると、果実や葉などで病斑が見られるものの、発病率は5.1パーセントと、昨年並みとなっています。また5月下旬に行った調査によると、3月頃から始まった胞子の飛散は、収束に向かっていく状況であります。

今後とも、収穫まではチームを中心として、昨年度から活用している「ナシ病害防除ナビゲーションシステム」により、病害の発生状況の把握や生産者への的確な情報提供を行うとともに、適期の薬剤散布の徹底を指導するなど、防除対策について万全を期してまいりたいと思います。

問1 呉羽梨産地の活性化について

(2) 呉羽梨のカラスによる発生被害について、つや消し黒ワイヤーによる対策が実施されており、効果が期待されているか、今後の見通しについて、問う。

【宮田中山間振興班長 答弁】

呉羽梨のカラス等による被害額は、平成28年度で5,604万円であり、平成27年度の5,440万円に引き続き5,000万円を超える被害額となっており、県全体の野生鳥獣による農作物被害額の約半分を占めています。このため、従来の反射テープやテグスなどと比べ、カラスの防除に効果的なつや消し黒ワイヤーについて、平成24年度から平成26年度に現地実証試験を行い、従来の対策と比べて被害果実が5分の1程度に減少する効果を確認したところです。

その結果を普及指導員と生産者によるカラス被害防止対策も含めた検討会の場で説明し、農家の方々の理解を得ながら、国の鳥獣害防止総合対策交付金を活用して、つや消し黒ワイヤー設置面積の拡大に努めてきており、これまでに37.9ヘクタールに設置したところです。

県及び市町村有害鳥獣対策協議会では、生産者に対する今後の導入要望調査を実施し、計画的な被害防止対策を推進しており、平成32年度までに設置面積を76.8ヘクタールに拡大することを計画しており、これにより、呉羽梨の栽培面積137ヘクタールのうち、特にカラス被害が甚大な「幸水」や「豊水」等の栽培面積約110ヘクタールの約7割をカバーできる見込みであり、さらなる普及拡大に向けて、関係機関等と連携を図りながら、取組みを進めてまいりたいと考えています。



問1 呉羽梨産地の活性化について

(3) 呉羽梨産地において不作付地が増加してきているか、現状と課題について、問う。

【野尻農産食品課長 答弁】

呉羽梨の作付状況について、その栽培面積を見ると、平成18年度の168ヘクタールから平成28年度には138ヘクタールと、直近10年間で30ヘクタール減少しています。また生産者数においても342戸から291戸へと51戸減少している状況にあり、生産者の年齢構成では、主たる従事者のうち60歳以上が平成18年度の約5割から、平成28年には7割超へと増加し、著しく高齢化が進んでいる状況にあります。

一般的に、梨の作付地は、生産者間の話し合い等による賃借により引き継がれていく場合が多いが、そのマッチングができない場合には、不作付地となり、当該地の樹木を伐採し、跡地については草刈等による管理が実施されているものの、一部では管理が不十分な園地となっている場合も見られます。

このため、呉羽地区果樹組合連合会では、県や市、JA、全農などの関係機関が参画した「呉羽梨産地活性化推進委員会」を設置し、産地の活性化に向けた生産や販売、後継者



などの対策について幅広く協議してきています。しかしながら、この委員会で行った後継者の意向調査によると、「梨の栽培を続ける」としている生産者が全体の1/4にとどまるとともに、約4割の生産者が「園地を全面委託したい」との希望を示しており、今後、呉羽梨産地の維持・発展のためには、担い手の確保・育成のための取組みを進めていくことがきわめて重要な課題であると考えているところです。

問1 呉羽梨産地の活性化について

- (4) 高齢化により担い手の確保が困難となってきたか、県として今後どのような対策が必要と考えるか、所見を問う。

【野尻農産食品課長 答弁】

担い手の育成・確保対策については、県農林水産公社の青年農業者等育成センターにおいて、農業法人などの求人情報の提供や先進農家での体験研修などに取組むとともに、「とやま農業未来カレッジ」において実践的な技術を習得するなどの就農支援にも取り組んでいます。先ほども触れましたが引き受け手の方とのマッチングをしっかりとやっていく体制づくりを関係機関と行っていくことが大変重要であります。

また経営者の突然の病気等により別の経営者の方に応援をいただく体制を組んでいくこと、また作業労力が足りないといったことであれば、富山市において「とやま楽農学園」の卒業生をNPO法人を介して剪定や収穫作業時に派遣する取組みも見られるところです。

後継者をきちんと育てるといったことを進めつつ、さらに円滑に行くように、老齢木を若い木に植え替える改植等の対策の一環として、新たな栽培方法である「日本なしジョイント仕立て法」の導入が注目されています。これまで10年近くを要した梨の育成期間を半減する技術であります。また枝を一定方向に伸ばすことにより作業の省力化も図ることができるものです。

マッチングとこうした技術の導入にあわせ、改植などは国の事業により支援して、梨の園地が維持・拡充されるよう「呉羽梨産地活性化推進委員会」のもと、支援をすすめてまいります。

問2 農業の経営力向上や競争力強化について

- (1) 県内農業者、農業経営体の経営力の向上のため、県では平成27年度から「とやま型農業成長戦略チャレンジ事業」に取り組んでいるか、これまでの取組み状況と今後の見通しについて、問う。

【広沢農業経営課長 答弁】

「とやま型農業成長戦略チャレンジ支援事業」は、コメを中心とした本県農業をバランスのとれた生産構造とし、産業として成り立つ農業経営の育成を目的として、規模拡大や園芸作物の導入、6次産業化を推進しています。

IT等新技術の活用などにより農業所得の増大に複合的にチャレンジする農業経営体に対して、ソフト・ハード両面から支援するものであり、平成27年度から4つの経営体について、それぞれ3カ年計画で支援しています。これまでの取組状況は、先日視察いただいたハウスいちごの観光農園の開設や農商工連携による酒米の生産、水稻の直播き栽培やネギなどの園芸作物の規模拡大、レタスなど施設園芸の拡大や減農薬米のブランド化など、それぞれの特徴を活かして取り組んでおられます。

これらの取組みに対して市町村と連携しながらソフト面では、会計ソフトによる経営管理の導入やマーケティング調査の実施、ハード面では農業機械やITを活用した養液栽培システムの導入、育苗ハウスなどの施設整備を支援してきています。いずれの経営体におきましても、事業開始前に比べ生産性や収益性が向上したことなどにより、農業所得は着実に増加してきています。

今後の見通しにつきましては、今年度は3カ年計画の3年次目となることから、これまでの経営体の取組結果について、その経営発展のモデル化を図るため、専門家会議で分析・評価していただくこととしています。これらの分析・評価結果をもとに、本県の営農条件に即した「とやま型農業経営モデル」を作成し、市町村や関係機関と連携しながら、県内の農業関係者に普及・啓発し、県内の意欲ある農業経営体の所得向上につなげてまいりたいと考えております。

問2 農業の経営力向上や競争力強化について

- (2) 競争力強化には、まず、これまでのような農家が生産したものを市場に出すという「プロダクトアウト」から、消費者のニーズを重視する「マーケットイン」への転換が必要とされているが、今後、県としてどのように取り組んでいくのか、問う。

【大島市場戦略推進班長 答弁】

農業におきましても生産サイドの発想によりできたものを売る「プロダクトアウト」の考えから消費者のニーズを重視し、売れるものを作る「マーケットイン」の考え方への転換が必要となっています。県ではこれまで園芸作物につきましても、首都圏向けや加工業務用等の新たな品目の栽培実証や商品づくり、マーケティング活動への支援を行ってきています。また業務用米の新たな安定需要先獲得の取組みへの支援や、米の消費・流通動向についての研修会の開催など、消費者や実需者のニーズを捉えた取組みを支援してきています。

北陸新幹線の開業や日本橋とやま館のオープン等により、とやまの食に対する首都圏等の関心が高まっているなか、全国的な産地間競争の激化やライフスタイルの変化に伴う消費者ニーズの多様化など、本県農産品を取り巻く環境は大きく変化しており、マーケットインの視点はさらに重要になると考えています。県では今年度新たに、マーケットインの視点に立ち、富山県ならではの強みや富山県らしさを明確にし、県産農林水産物の販路拡大につなげていくため、食に関する生産・流通・販売等の関係団体等で構成する検討委員会を設立し、専門家のアドバイスもいただきながら「食のとやまブランドマーケティング戦略」を策定することとしています。

また10月には、首都圏からバイヤーを招いて「とやまフードビジネス商談会」を開催することとしており、こうした取組みを通じて、消費者や実需者のニーズをより具体的に把握し、県産農林水産物の有望な販売先を見極め、販路の開拓・拡大を行ってまいります。今後とも「マーケットイン」の視点に立った、消費者や実需者から選ばれる商品づくりを推進し、生産者の所得向上、本県農林水産業の成長産業化につなげてまいりたいと思います。

問2 農業の経営力向上や競争力強化について

- (3) オリンピック・パラリンピックに向けた、本県におけるGAP（農業生産工程管理）の取組み状況と今後の見通しについて、問う。

【川口農業技術課長 答弁】

オリンピック・パラリンピック東京大会で提供される農産物の調達基準については、大会組織委員会において、本年3月に「JGAPやグローバルGAPなどの認証を受けて生産されたもの」と決定されたことや、国産農産物の国際市場での競争力強化を図るために、国では今後、国内の生産現場において国際水準のGAP認証の取得を促進することとしています。

本県においては、平成24年から富山県適正農業規範に基づく農業生産活動を「とやまGAP」と称し、生産現場における普及・定着を推進しています。「とやまGAP」は、第三者が認証を行う制度とはなっていませんが、更なる販路拡大や将来的な輸出を目指し、より高度なGAPに取り組む経営体が増加しており、平成29年3月末で8経営体がJGAP認証を取得し、うち1経営体はグローバルGAPも併せて取得しています。

今年度は、現在のところ、射水市のえだまめ生産組合など5経営体がGAP認証の取得を目指しており、県としても、認証取得に要する費用への補助や普及指導員による現地指導等により認証取得への支援を行うこととしています。

さらにオリンピック・パラリンピックの調達基準では、国際水準のGAP認証農産物だけではなく「国のガイドラインに準拠したGAPにより生産され、公的機関の確認を受けた農産物」も調達の対象として位置づけられたことから、今後、富山県適正農業規範が国のガイドラインに準拠するよう見直しに取り組むとともに、確認体制の整備についても、そのあり方について検討を進めることとしています。

今後とも、GAP認証の取得などへの指導・支援に努め、県産農産物の品質や栽培管理技術が国際的に評価され、農業者の所得向上につながるよう取り組んでまいりたいと考えています。

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。)

料金別納
郵便



あなたの声を「実現」します

富山県議会議員

吉田つとむ



〒930-0116 富山市追分茶屋49-3

TEL.076-434-3909 FAX.076-482-2078

E-mail: _____

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年7月6日

会派・議員名 公明党 吉田 友子

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		富山新聞	3,072円
	北日本新聞	3,072円	6月分
	〈合計〉	6,144円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

（裏面に貼付すること。）

7-1

領収証

17年 06月分 29年6月30日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売（株）

富山センター 呉羽茶屋販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当



購読料のお支払いは①金融機関の口座から
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

2017年6月分 領収証

発証No.00004567-201706-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額

¥3,072

(消費税込み)

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金・販売所からの各種ご連絡、新聞・出版特等のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購読有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞



領収印



政務調査費対象事業実績報告書

平成29年7月6日

会派・議員名 公明党 吉田 寛

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>広報費</u> ・事務費・人件費
------	------	--

(事業内容)
 県政報告書(平成29年6月定例会)郵送料

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		宅配便運賃料	137,082円
	折込み料金	42,966円	
	《合計》	180,048円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を載し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

7-2

CZ 201707

領 収 証

富山県議会 公明党 様

領収金額 **¥137,082**
(うち、消費税額等 ¥10,230)

印紙税申告納付につき京橋税務署承認済

但し、6月度宅急便他運賃料金として上記の通り領収致しました。 2017年 6月 30日

本 社 ヤマト運輸株式会社
 東京都中央区銀座2-3-14

発行事業所 富山主管支店
 0766-55-1934

※ 署名印のないもの及び手書き又は修正したものは無効です。

領 収 証

富山県議会公明党様 2017年 6月 30日

★ 47,966

但 上記正に領収いたしました

内 訳 メール封入代金

税抜金額 _____

消費税額等 (%) _____



領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

ご 請 求 書

〒 930-0116
富山県富山市追分茶屋49-3

ご請求年月日 平成29年06月27日
お支払予定日 平成29年07月31日
支払方法 集金

富山県議会 公明党

サマト運輸株式会社

下記の金額をご請求申し上げます。

富山主管支店
担当店: 富山呉羽
〒939-0285
射水市
本開発305-1

ご請求金額 ¥137,082

(うち消費税額 ¥10,230)

請求番号: 37202 宛先番号: [REDACTED]

請求書についてのお問合せ: 0766-55-1934
集荷・配送についてのお問合せ: 0570-200-000 (ナビダイヤル)

銀行振入・口座振替も承っております。詳しくは弊社担当までご相談下さい。

銀行	支店	普通預金	口座名義
*****	*****	*****	*****

ホームページアドレス
<http://www.kuronekoyamato.co.jp>

044-120

受付日	原簿No.	郵便	請求額	消費税	合計	送料	手数料	消費税額等
0627	1953389653	クロネコDM便	2046	137082	126852	0	0	10230

	請求額	消費税	合計	送料	手数料	消費税額等
小計	2046	137082	126852	0	0	10230
合計	2046	137082	126852	0	0	10230

整理番号		会派・議員名 公用宛 吉田 勉
活動名称	富山県議会 山村振興議員連盟の県外視察	
目的	「中山間地域における定住促進、地域振興」について	
日程	平成29年5月29日(月)～平成29年5月31日(水)	
場所 <small>(国名・都市名、施設名、訪問先等)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 邑南町役場(定住促進課, 商工観光課) ・ 鳥根県中山間地域研究センター ・ 飯南高等学校 ・ 鳥根県庁(おぬ暮らし推進課, 総合委員会) 	
相手方等 <small>(主催者、対応者、参加者、同行者等)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 邑南町 定住促進課 田村 哲(監) 若林振興課 植田 弘和(課長) ・ 鳥根県中山間地域研究センター 山鳥田 慎司(所長) ・ 飯南高等学校 秦 負力(校長) ・ 鳥根新 おぬ暮らし推進課 嘉本 博行, 地域教育推進室 竹下勝(監) 	
行程・活動内容	<p>○ 邑南町役場; 過疎化に危機感を持つ邑南町は、平成23年、定住プロジェクトとして「日本一の子育て村」「徹底した移住者ケア」「A級グルメまち」の3つの取組を開始。平成25年には、転入者が転出者を20人以上超える。</p> <p>○ 鳥根県中山間地域研究センター; 中山間地域に係る地域振興や農業、畜産、林業の試験研究を総合的に実施することと、研究成果を活かした研修機会の提供、振興指導、情報提供等を行なう。</p> <p>○ 飯南高等学校; 少子化により市内児童生徒数が著しく減少に陥りつつ、大規模校に負けない充実した教育環境の整備や小規模校の特性を活かした特色ある教育が行なわれている。中でも飯南高校は産業振興、若者定住など将来の地域を創る人材を育成する場として期待されている。</p> <p>○ 鳥根県庁; 鳥根県は、人口減少を克服する為、「鳥根県中山間地域活性化基本条例」を制定し、中山間地域の活性化に向けて最大限の努力を払うことを決意し、均衡ある発展と県勢の振興を目指す。又、(公財)ふじと鳥根定住財団は、本県の人口減少(県外就職などによる人口流出)に歯止めをかけるには不足するという危機感を背景に、平成27年、基本財産400万円(県)及び基金1658万円(出資を受け)、人口定住を促進する事業を総合的に推進する機関として発足した。</p>	

※日帰りの政務活動を含む。

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

富山県議会山村振興議員連盟の県外視察

J-マ 「中山間地域における定住促進、地域振興」について

日程：平成29年5月29日(月)～5月31日(水)

視察先：邑南町役場(定住促進課, 商工観光課)

・島根県中山間地域研究センター

・飯南高等学校

・島根県庁(1級暮らし推進課, 教育委員会)

上記事業に要した経費

経費の内容	金額(円)	備考
飛行機代金	60,390円	富山空港～羽田空港～広島空港
		羽田空港～羽田空港～富山空港
ホテル代金	21,700円	5/29 三ツ井ホテル(泊朝食付) 6600円
		5/30 皆生ニードホテル(泊朝食付) 15100円
食事代金	5600円	5/29 昼食1500円 夕食2000円
		5/30 昼食1500円
貸切バス代金	17,280円	5/29～5/31
有料道路代金	1,069円	同上
(合計)	105,439円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

H29山村振興議員連盟県外視察(5月29日～5月31日) 決算

	参加者	会派	交通費			ホテル				
			飛行機		貸切バス 代等	有料道路	三次グランドホテル (5/29:1泊朝食)		皆生シーサイドホテル (5/30:1泊朝食・夕食)	
			政務活動費 (実費)	自己負担額	政務活動費 (実費)	政務活動費 (実費)	政務活動費 (実費)	自己負担額	政務活動費 (実費)	自己負担額
1	鹿熊会長	自民	60,390		17,280	1,069	6,600		15,100	170
2	宮本副会長	自民	60,390		17,280	1,069	6,600		15,100	170
3	筱岡事務局長	自民	60,390		17,280	1,069	6,600		15,100	170
4	大野議員	自民	60,390		17,280	1,069	6,600		15,100	170
5	米原議員	自民	60,390		17,280	1,069	6,600		15,100	170
6	中川議員	自民	60,390		17,280	1,069	6,600		15,100	170
7	亀山議員	自民	60,390		17,280	1,069	6,600		15,100	170
8	山崎議員	自民	60,390		17,280	1,069	6,600		15,100	170
9	浅岡議員	自民	60,390		17,280	1,069	6,600		15,100	170
10	瘧師議員	自民	60,390		17,280	1,069	6,600		15,100	170
11	横山議員	自民	60,390		17,280	1,069	6,600		15,100	170
12	山辺議員	自民	60,390		17,280	1,064	6,600			
13	島村議員	社民	60,390		17,280	1,069	6,600		15,100	170
14	澤谷議員	社民	60,390		17,280	1,069	6,600		15,100	170
15	吉田議員	公明	60,390		17,280	1,069	6,600		15,100	170
小計			905,850	0	259,200	16,030	99,000	0	211,400	2,380
合計			905,850		259,200	16,030	99,000		213,780	

食事代					
AJIKURA (5/29昼食)		むらたけ総本家 (5/29夕食)		掛合の里 (5/30昼食)	
務活動費	自己負担額	務活動費	自己負担額	務活動費	自己負担額
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
22,500	18,000	30,000	59,100	22,500	15,000
40,500		89,100		37,500	

政務活動費	自己負担額	個人合計	会派計	議連負担合計
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
90,334	6,140	96,474		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
1,566,480	94,480	1,660,960	0	0
		1,660,960		

領収証

No. 17981

富山県教育委員会 殿

平成 29 年 7 月 18 日

¥ 1,660,960-

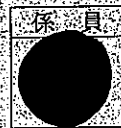
(税込)

但し 原帳簿 複写資料として

上記の金額正に領収致しました



- 本社 富山南町 4-1-1 (ホルファートとやま)
- TEL 076-431-2735
- AX (076) 431-2735
- ファホーレ店
- 高岡大和店
- 金沢営業所
- 名古屋支店
- 東京支店



H27.8.2×50×100 ㊞

7-3

山村振興議員連盟県外視察報告書

日 程 平成 29 年 5 月 29 日 (月) ～5 月 31 日 (水)

場 所 里山イタリアン「AJIKURA」

〒696-0103 島根県邑智郡邑南町矢上 3123-4

島根県邑南町役場

〒696-0103 島根県邑智郡邑南町矢上 6000

島根県中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島 1207

島根県立飯南高等学校

〒690-3401 島根県飯石郡飯南町野萱 800

島根県庁

〒690-8501 島根県松江市殿町 1 番地

主 催 富山県議会 山村振興議員連盟

同行者 鹿熊議員、宮本議員、大野議員、米原議員、山辺議員、横山議員、
筱岡議員、中川議員、吉田議員、瘡師議員、亀山議員、澤谷議員、
山崎議員、島村議員、浅岡議員

行程

1 日目 5 月 29 日

富山空港に集合

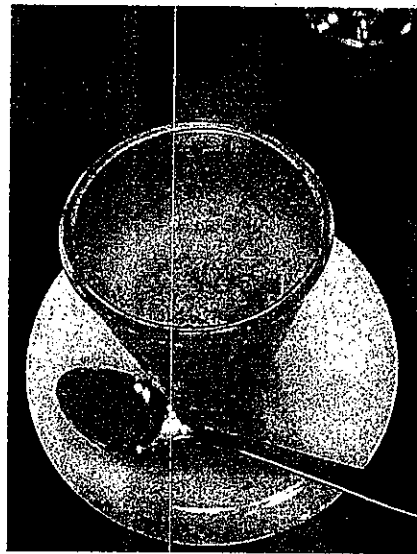
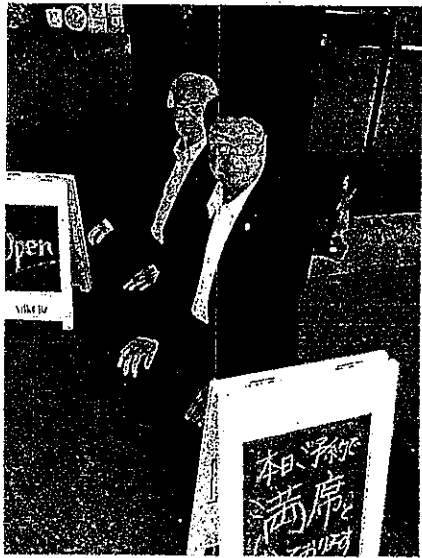
富山空港から羽田空港へ移動

羽田空港から広島空港へ移動

空港から借上バスにて移動し昼食

【里山イタリアン AJIKURA】

昼食は地元邑南町の「A 級グルメのまちづくり」として有名なイタリアンレストランの里山イタリアン「AJIKURA」で地元産素材の料理を食しながら現地視察を開始した。



その後、邑南町役場に借上バスにて移動

【邑南町役場】

邑南町の「日本一の子育て村構想」や「地方創生の取り組み」の報告を受けた。人口減少と少子高齢化に対する危機感を持ち、平成23年度から「持続可能なまちづくり」を目指し、

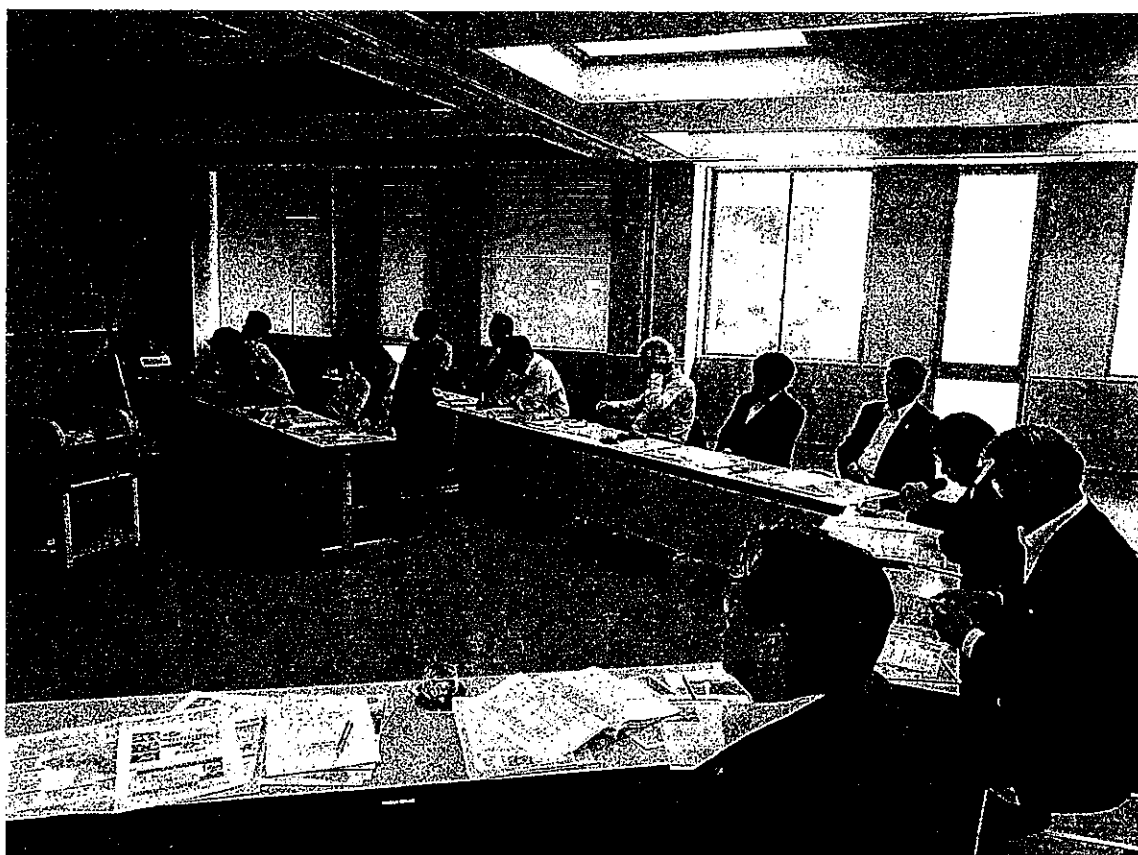
① 攻めの A 級グルメ構想

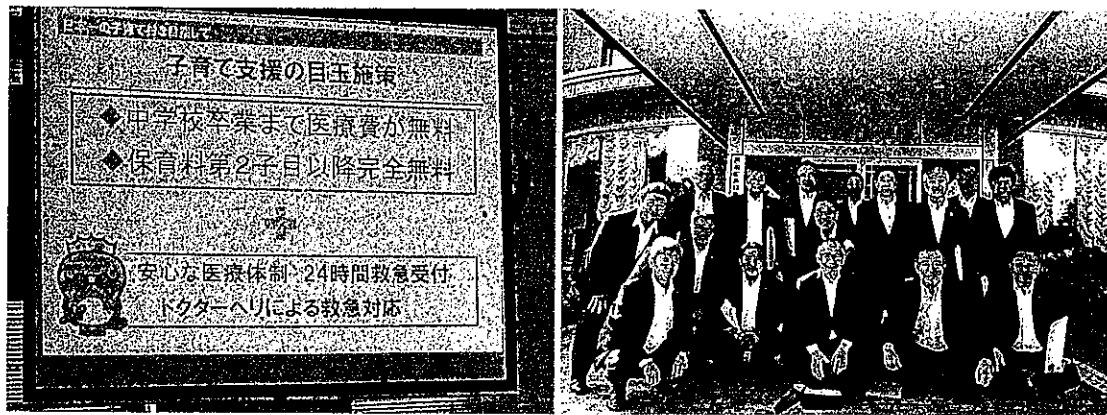
昼食をとった「イタリアンレストラン AJIKURA」を代表とし、石見牛や石見ワインなど地元食材を使用したアイデア料理を提供する A 級グルメによるまちづくりが進められている。平成 27 年度までの観光入り込み客は 92 万人、UIJ ターン者数は 240 人を達成している。

② 守りの「日本一の子育て村」

日本一の子育て村を目指し、きめ細かな移住者に対するケア等による人口増施策を進めている。「日本一の子育て」に関しては、公立邑智病院の小児科、産婦人科の常勤により安心して出産・子育て出来る環境づくりや、中学 3 年生までの児童の医療費の現物給付、第 2 子以降の保育料の無償化、第 1 子の保育料の国基準の 6 割設定をしている。これらの取り組みにより、平成 27 年度の合計特殊出生率は 2.46、出生数は 70 人を確保した。

ここで注目する点は、財源は全て過疎債でまかっているところであった。





邑南町役場から借上バスにて宿泊所へ移動

宿泊所 「三次グランドホテル」 広島県三次市十日市 1-10-1

2日目 5月30日

宿泊所から「島根県中山間地域研究センター」へ借上バスにて移動。

「島根県中山間地域研究センター」

対応者 嶋田 所長

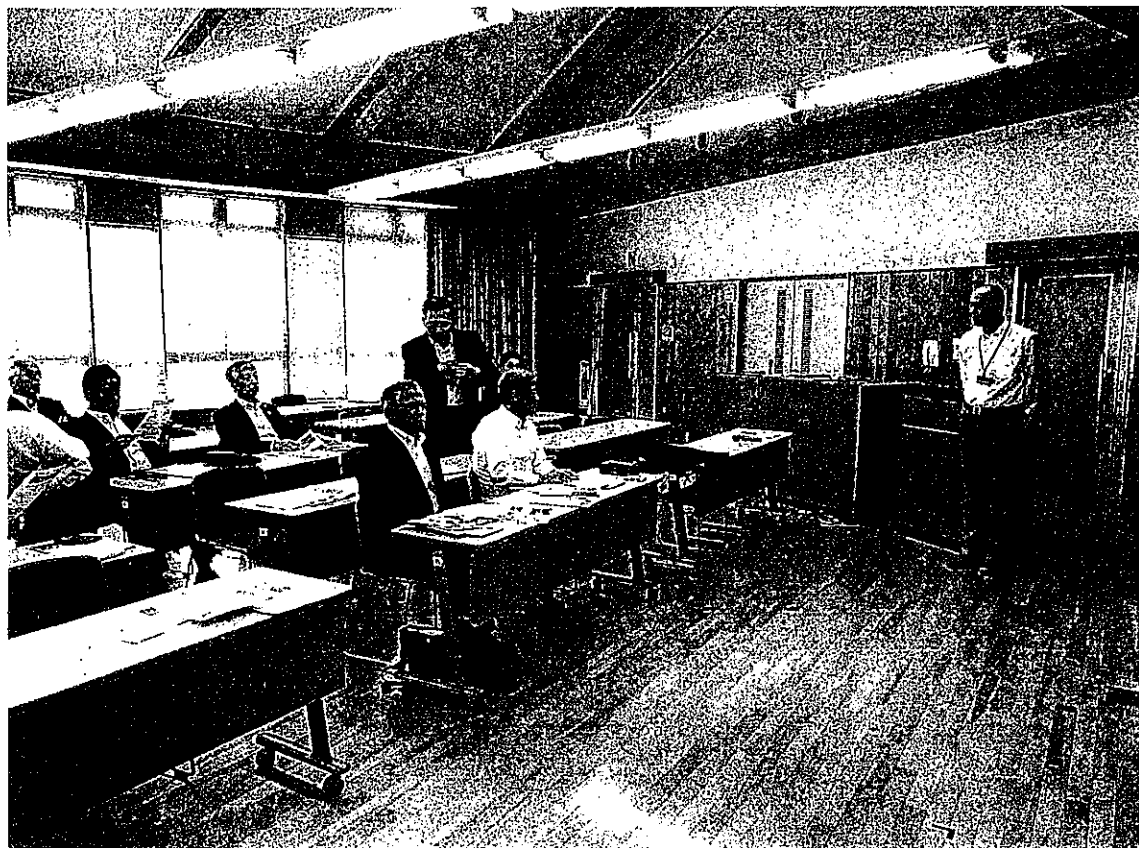
有田昭一郎 主任研究員

嶋田所長から、全国で唯一の中山間地域を総合的・専門的に研究する同センターの設立経緯やセンター運営の基本的な方針等について説明を受けた。

同センターは、平成7年に、当時の澄田知事が過疎化の進行や農林業の生産活動の停滞等に危機感を持ち、農林産物の生産や地域住民の生活の場であり、国土保全などの多面的機能を担う中山間地域の再生のため、総合的な中山間地域対策の展開を図るため「中山間地域研究センター」の整備を表明した事に始まり、平成10年4月に約60億円を投じて「島根県中山間地域研究センター」が発足した。

同センターの活動の基本として、①総合的な中山間地域対策の展開として、地域振興対策の研究、農業、畜産、林業が一体となった技術開発、森林・林業に関する研究などを総合的に実施するとともに、これらの研究成果を活かした各種研修や地域づくり支援事業の展開。②持続的な社会システムづくりの推

進として、研究成果の普及・定着、それを活かした各種研修や地域の特色ある取り組みの支援を行い、21世紀の持続可能な活力ある中山間地域の社会づくりを推進しているとの説明があった。



また、有田昭一郎主任研究員からは、島根県地域振興部の中にある「中山間地域研究センター」の具体的活動内容について報告を受けた。

同センターは、正規職員 42 名、嘱託・臨時等を合わせた 77 名体制で運営されており、地域研究支援部門として「中山間地域支援スタッフ・地域研究スタッフ」が小さな拠点づくり支援として県内 19 市町村の地域住民組織への技術的支援や支援ノウハウの開発・スキルアップ研修会の開催などを行い、持続可能な地域づくりの支援を行っている。また農林技術部門では、中山間地域の売れるものづくり、放牧による耕作放棄地対策、特用林産物の栽培研究、野生鳥獣類の効果的な被害対策の開発・実証、森林の保護育成、木材利用の推進などが実施されている。

特に有田氏からは、『島根県の小さな拠点づくりの推進体制、中山間地域対策プロジェクトチーム』の活動の紹介があった。それは、「安心して暮らし続けられる地域の仕組みづくり」を目指す小さな拠点づくり運動である。

県内には236公民館エリアがあるが、平成25年度～27年度で52の支援地区を設け、平成28年度～31年度までで150地区で小さな拠点づくりの支援を行うとの事であった。支援スタッフが月1回程度現場へ行き、地域の課題を整理し、課題解決のための目標設定やアドバイスなどを丁寧に行い支援する活動により、それぞれの地域に合った持続可能な地域づくりを目指す運動が報告された。

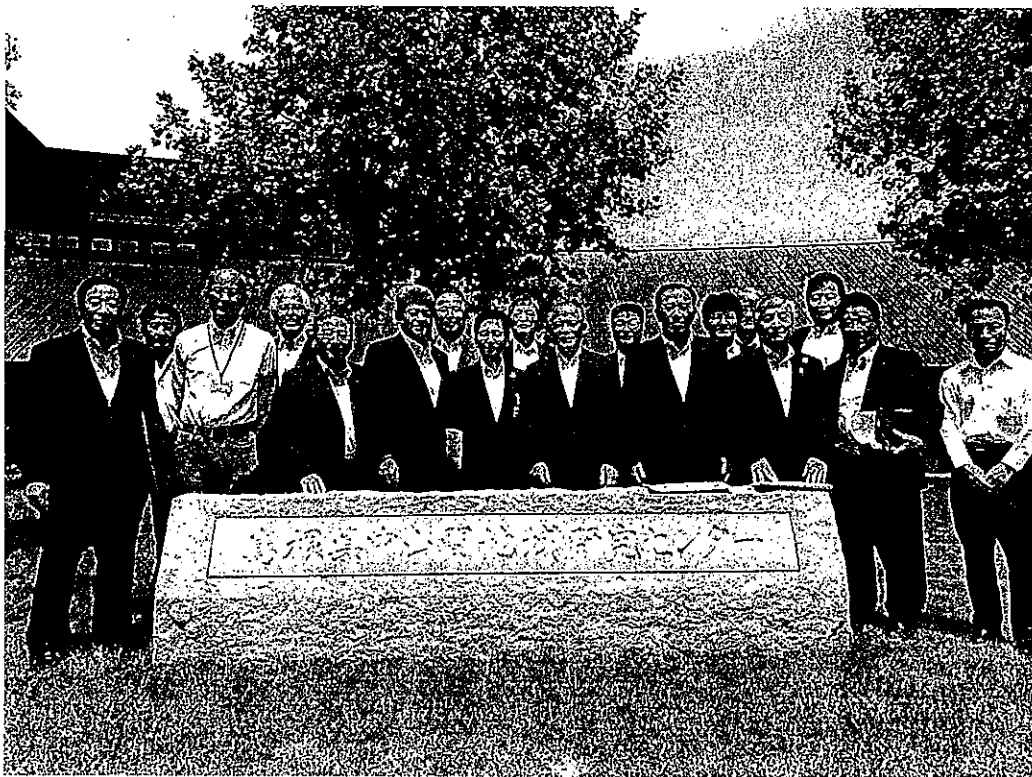


イノシシの生態観察を兼ねてジビエとして育成してるイノシシ園

視察全体を通じた感想としては、人口減少、少子高齢化の中で、どう地域社会を守っていくのか、島根県の強い危機感と持続可能な地域づくりへの決意が感じられた。金も人もかけ、住民と共に進もうとする島根県の気概を、私たちも見習わねばと感じた。



島根県中山間地域研究センターのエントランス。



中山間地域研究センターから借上バスにて島根県立飯南高等学校に移動。

【島根県立飯南高等学校】

対応者 秦 学校長

学校の現況としては、島根県立飯南高等学校は、島根県でも広島県境近い中国山地を背負う中山間地域である。町全体の2つの中学校すべての卒業生数でも、飯南高等学校の一学年の定80名より少ない40名前後であり、3学年合わせた生徒数は現在も半数近くは、他市町から入学している。

学校の取り組みとしては、公立高校での全国一の学生寮多い島根県で、3分の1の生徒が男女ほぼ同じように入寮している特色ある高校である。県外性のほぼ全員がホストファミリー活動、宿泊も体験している。

また、昨年度は、14名が国公立大へ進学しているなど、進学校という面もあり、部活動では、報道部が全国大会常連校で優勝したこともあります。スキー部、ハンドボール部は、全国あるいは中国大会の常連校でもある。

生徒の通学修学対策として、バス定期助成や、近隣中学校よりスクールバスの運行もおこなっている。

町外中学校（県外が多い）からの生徒が多く、寄宿舍（月根尾寮）を運営し、支援として、町から寮費月額1万円補助、自己負担月3万円、ただし欠食分は返金するなど、県外に住んでいる意欲ある中学生を「しまね留学生」募集している。

平成10年に公立高校ながら文部省中高一貫教育研究指定校になり、町内からの入学率が伸びたそうである。

また、教育活動後援会があり、資金面での後援を町内中学出身上位者給付金制度を導入している。

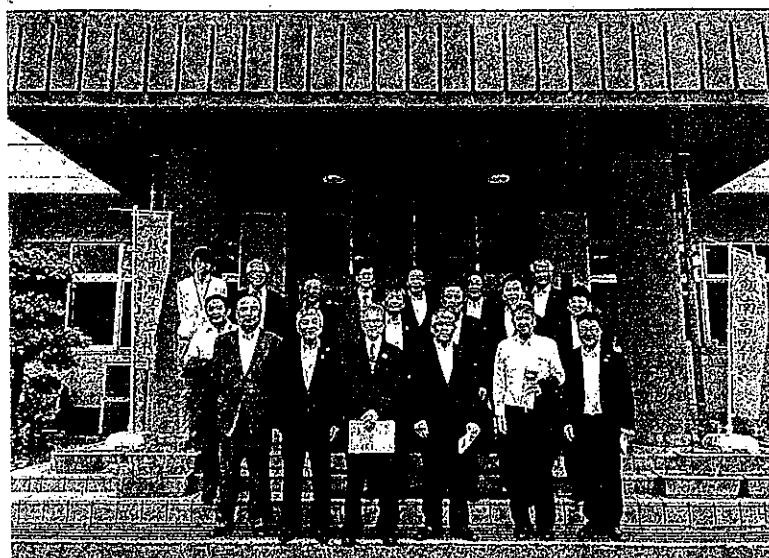
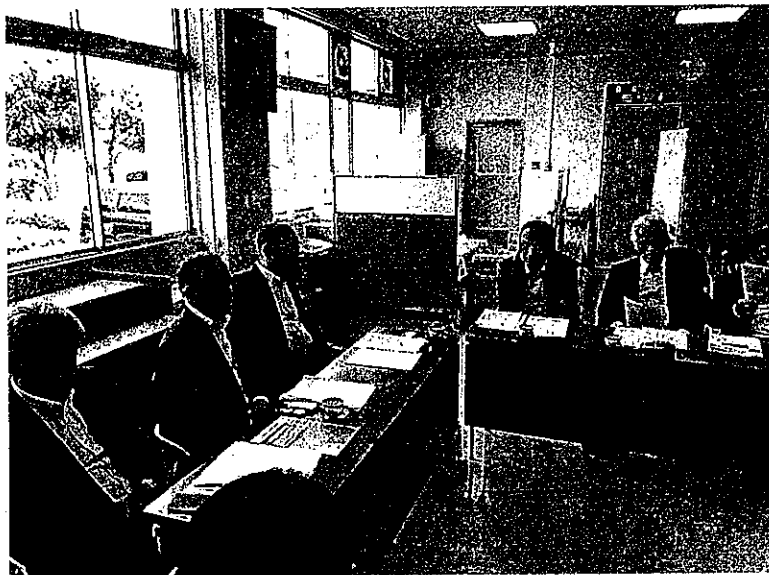
キラリ！ドリームアップ推進協議会事業の中に、特色ある教育の推進のひとつ、生命地域学では、課題研究を提案だけでなく、六次産業化・商品化・予算付けまでおこなっている。生命地域ラボとして、地域住民との交流会・ボランティア活動・保育所訪問・介護実習などもおこなっている。学力向上に町営の学習指導もおこなっている。

離島中山間地域高校の活性化・活性化事業として、県主導の支援事業県内8校に選ばれて、高校の魅力を高めながら、高校入学者の確保、地域に根ざした

高校づくりを推進し、地域の活性化を図る町と高校からなる団体へ交付金が、少なくとも9年間支給されている。

生徒数確保2学級維持し、保小中高一貫教育の中核としての、中高一貫教育・中高の連携している。なかでも、T.T.授業は、高校から中学へ、中学から高校へと教師が参加し、教科の連携活動をしている。部活動・学園祭など相互交流教科外連携も行われている。目を見張るのは、月1回の高校長と2中学校長で構成する校長会を開いていることである。小規模校の特色である少人数・習熟度別指導で、教育力向上による生徒確保、活力ある2学級づくりに取り組んでいる。

中山間地域として地域に密着した特色のある高校、町への定住化対策を、町づくりの柱として、バックアップ支援体制がとられている。



島根県立飯南高等学校から借上バスにて島根県庁に移動。

【島根県庁】

島根県の現状としては、県土のうち中山間地が9割を占め、人口の46%が中山間地域で暮らしている。人口のピーク時は(昭和30年)92.9万人で、H26年の人口は69.7万人で、▲23.2万人(▲25%)になっている。詳細としては、出雲圏域は▲3.4万人(▲7%)、石見圏域は▲17.4万人(▲46%)、隠岐圏域は▲2.4万人(▲53%)であり、過疎という言葉が発祥したのが島根県でもあり、20年間にわたり過疎対策を積み重ねた過疎先進県と言える。

定住促進を目的に、総工費60億円で中山間地域交流センターを設置し、

【島根県人口ビジョン】を策定して、2040年までに合計特殊出生率2.07と社会移動の均衡を目指している。

また、【島根県総合戦略】を策定して、

基本目標1 しごとづくりとしごとを支える人づくり

基本目標2 結婚・出産・子育ての希望をかなえる社会づくり

基本目標3 しまねに定着、回帰・流入するひとの流づくり

基本目標4 地域の特性を活かした安心して暮らせるしまねづくり

としている。

また、【島根県定住施策の特徴】は、早い時期から取り組んでおり、平成4年に定住財団を設立し、県、市町村、財団を一体化して定住支援員を全市町村に配置し、事業を一体化して行っている。

そして、定住、若年者県内就職、地域づくりの3本柱で、移住者だけでなく県内の人材流出阻止や地域づくりにも着目し、県や市町村は、海士町、小規模多機能自治組織、中山間地域研究センター等のユニークな取り組みをしている。

【島根の強み】は、定住対策予算を充実させ、「オールしまね」で取り組み、定住と若年者県内就職と地域づくりの三本柱の施策である。

また、【小さな拠点づくり】としては、

① 住民主導の取り組みの推進

公民館等の拠点施設で、高齢者のサロン開設(=見守り)

② 生活機能の確保

旧店舗を改修し、小規模の地域運営スーパーを開設。

③ 生活交通の確保

自治会メンバーがボランティアで運転手を担い、地域内を移動する自治会輸送。

④ 地域産業の振興

地域の特産品を産直市で販売。

これらは、行政でできることは各自治体で行い、現場でできることは、「ふるさと島根定住財団」が主に担当している。

一番重要なことは、島根に関する関係性をつないでおく事であり、「人材誘致コーディネーター」を設置している。そして、「しまコトアカデミー」を開催して、関係人口セミナーを東京で7回開き、5期の卒業生が施策・提案しており、参加者の3割が立案した事を島根で施策としていく予定である。例えば、島根で農業をやりたいという案は、就農につなげ、長期体験3か月から1年、月12万の生活費支給している。

また、無料職業紹介として、「くらしまネット」を開設した。

教育魅力化の取組としては、資金調達をクラウドファンディングにし、成長拡散を段階的に実行している。

シングルペアレントには、介護職を斡旋している。

また、海士町では、観光協会が人を雇用し、必要な所へ人材派遣している。

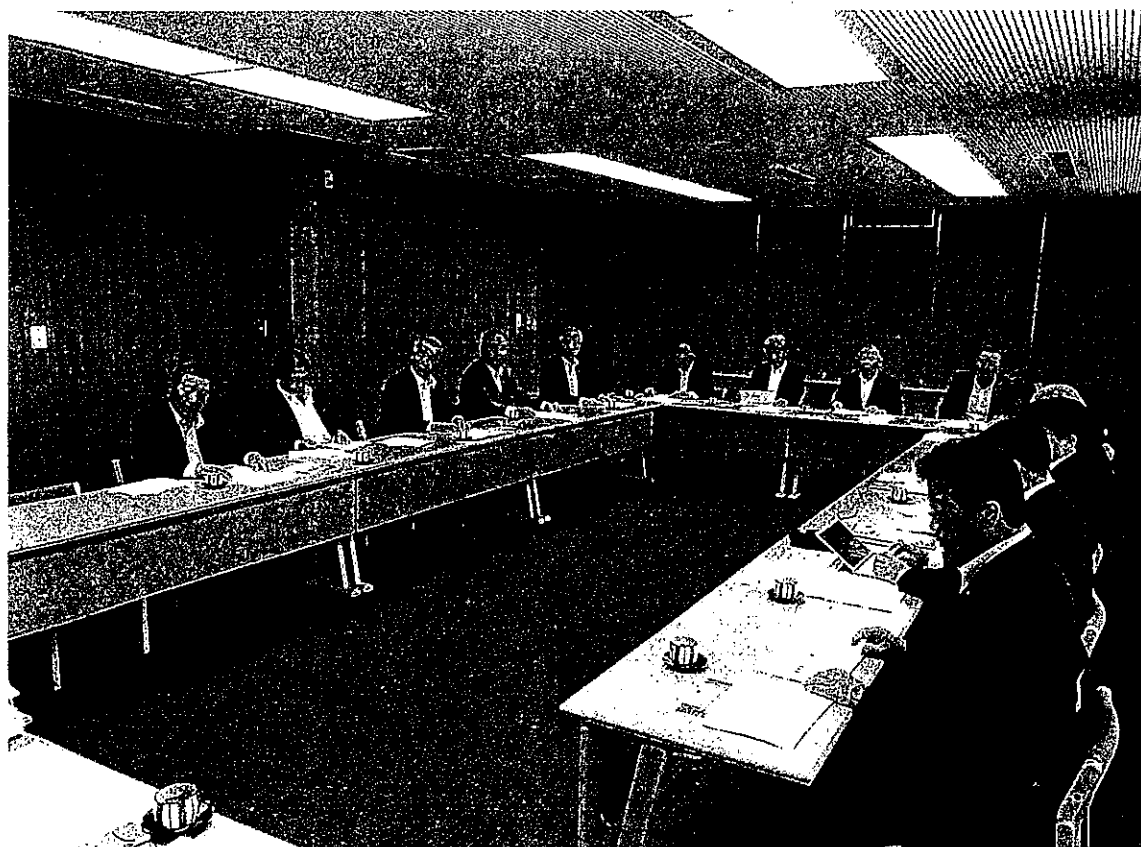
中山間地域対策としては、県の人口減少のほとんどが中山間地域であり、条例制定した。また同時に、中山間地域活性化計画を策定した。小さな拠点をつくり、公民館エリア機能を無理やり一か所に集約するのではなく、地域公共交通でつないでいる。

教育委員会との取り組みは、人材育成であり子供の頃からの教育としての人材育成を行なっている。

【県立高校あり方検討委員会】は、配置・規模・社会的役割など進むべき方向と再編成に関する基本的な考え方を集約し、学校は教育単独でなく、地域振興の中に位置づけている。「島根留学」という学びの環境と地域を守るという違う本質を融合し、教育環境に魅力を感じて、地元の生徒が集まってきている。また、高校を起点として地域と高校を活性化させ、地域とかわり、生徒一人一人の個人の役割を確保させている。現状は、プラスのスパイラルの状況で、地域と学校を結ぶ職員をコーディネーターとして自治体の財源で確保し、県か

ら指示はせず、地域資源を生かすという方向性を与えている。

県外生募集セミナーは、大阪市、名古屋市、東京都内で開いており、また、地元の小中学校での島根の魅力化の取組を促進している。



鳥取県との質疑応答

鹿熊県議

Q:県立高校の総数は何校か？

A:全日制は34校で、離島と中山間地域で、高校が一つしかない町は8校、23校が中山間地域指定高校されている。

また、県立高校の学級数は、都市部最大は8学級で、平均は3.8学級である。23校が学生寮を所有している。

Q:島根県の高校再編検討会では、1学年2学級ある高校を維持させ、1学年1学級は廃校の方針なのか？

A:議論はそういう雰囲気で行われている。教育委員会として議論の際にお願いしている事が2点ある。小さな拠点づくりの一環や、移住定住対策を含めた、単に学校教育だけではなく、地方創生や地方活性化の観点で色々考えて頂きたいとお願いし、その方向で議論が進んでいる。

中川県議

Q:若年人口が減少する中、若年人口の維持という観点で、小・中・高・保育所を含めて教育の無料化を考えておられるが、これは県外から呼び込むための戦略なのか？

A:小中学生は、親も一緒に移住が必要になるので難しいが、離島の隠岐では、「島留学」として小中学生の生徒を移住対象とした生徒の受け入れ募集をしている。生徒と保護者も共に移住するケースもあるので、取り組みとしてはありだと思う。地域が望めば、その取り組みを地域の強みとして県が支援する形になるが、使途について細かく制限することはない。

Q:その財源はどうするのか？

A:実際は市町村側が起債されるケースがある。1/2 負担なのでそれを前提に考えている。

Q:これは市町村側からの要望でされているのか？

A:これはまちまちである。県立高校と地域の話になるので、取り組みにくい地域もある。離島は三年間の教育で学力のばらつきをまとめるのが難しいので、選択肢を広げたいということもあり、地域によって異なる取組となる。

米原県議

Q:島根県内で私立高校はどれだけあるか？

A:10校である。

癩師県議

Q:島根県は県外留学が多いと思うが、甲子園の強豪校が県外留学を受け入れている高校が多い事にヒントを得たのか？

A:高校野球の選手に県外留学性が多いのは事実だが、私立だから留学が多いわけではない。

米原県議

Q:私立高校の生徒の減少状況はどうなっているのか？先ほどまで説明された対策は県立高校のみの対策なのか？

A:私立高校も県外からの留学生を取り入れている。特に部活動の生徒を多く取り入れている。ちなみに今年度も約半数の生徒が県外からの留学生になっている。

鹿熊県議

Q:小さな拠点づくりや移住定住対策に力を入れると共に、高校の魅力化活性化と不即不離で、かつ一体的に議論されていて非常に重要な所だと思うが、どうか？

A:教育の魅力化を議論する際に、県の定住部局と協同し、話し合いながら組み立てている。定住施策に重点を置きながら、教育の魅力化はどうあるべきかを慎重に議論している。UI ターンフェアでも定住部局の協力を得て、その一部に学校教育のブースを設けている。そもそも人口減少が激しい島根県の中で、これをどう解消するかという大きな観点を持ちながら、施策がどう絡み合っていくかを考えて実行している。小さな拠点づくりの中でも、住民同士が話し合いながら決めていくので、教育の魅力化についても、住民が高校を残したいのかという意思を持つ時には、まずそこを議論していただいて、定住と中山間支援とを施策に反映することが重要である。このことを施策の中心として構築している。

Q:高校教育である以上は、議論の中で小規模校において教育の質を担保する事が大きなテーマになると考えるが、もちろん両立もできるという前提だと思うが、要になるのは、教員の資質によるのか？

A:まさに中山間のメリットは、少人数であることによる、きめ細かい教育ができる事と、また地域と綿密にかかわる教育ができるのは、小規模であるからこそ企画設置しやすい。子供たちが中山間地域の中に参画して、その中で役割を感じている。そこから、より意欲の高い子供たちが生まれてくると考えている。少人数だからこそ、実行しやすい教育の形を強みとして取り組んでいる。都心の学力競争の中で取り組むのと差が出始めるので、公営塾を設けているのはそういう意味合いがある。補完的な学習環境をいかにサポートしていくこと等を組み合わせながら学習環境を補完して、学校地域も都心に負けない学習環境の質を担保してゆく。

教育委員会としては、教育魅力化の延長線上に県立高校の在り方もあると考えている。中山間地も含めて教育の質の向上のためには、教育の魅力化を進め、

その魅力化の為にはどういう県立高校があればいいのかと考えているところである。

いままで県立高校再編成基本計画において、どの県においても、まず統廃合基準が前面に出て、これをコアに物事を考えていたが、島根県の考え方としては、検討委員の皆様をお願いするのは、「今後の10年の高校教育をいかに進めていくか?」、「その為に器をどうすべきか、学校規模はどうすべきか?」、「教員の人材確保はどうすべきか?」をお話しただこうと思っている。

これまでは一律的な県全体の基準があったが、今後は中山間地と都市部の二元論的な考え方であってもいいのではないかと思う。長野県では都市部の学校にはその役割があり、多様な生徒を受け入れて切磋琢磨する。一方で地域と連携しながら地域に貢献する人材を作っていく中山間地の学校。このように二元的に学校のありようを考える。長野県ではそういった観点でビジョンを考えておられる。島根県もそれを参考にさせて頂いている。

横山県議

Q: 県外の生徒を受け入れた場合、一人当たりの受け入れ費用はいくらか?

人数が増えると負担になるのではないか?

A: 島根留学では生徒の減少分を受け入れるので、新たに教員の配置数が増えなければ問題ない。留学生の数は伸びればよいというわけではなく、生徒を増やすのは地域のためだからで、地元から子供たちが来なくなるとは、その地域の高校ではなくなると思うので、あるべき上限を持ちながら戦略的に受け入れる必要がある。

浅岡県議

Q: 日本財団の1年につき1億円×3年間の支援制度は、県の教育魅力化の費用と全く別物か?

A: はい。別物です。

Q: イノベーターをこの支援金を利用して派遣してくれる制度か?

A: 日本財団は、島根において個人でイノベーションを起こせる人材の取組を支援しており、この取り組みを将来的には全国規模に広げる計画と言っている。

Q: 後方とは別の財源なのか?

A: そうです。

山崎県議

Q:島根県では高校再編が地域再生と一体化していて先進県だと思うが、富山県では勉強するために高校へ行くというところに重きを置き、地域を守る観点が希薄である。島根県でも最初にそこを乗り越えるのが一番大変だったと思うがどうか?

A:8校でいまだにむらがあるのはその部分だと思う。地域としての理解を得るのがこの議論のコアになっている。今回の事業の肝になるのは関係者といかに話し合っただけで想いを共通して同じ方向を向いてもらえるか、その為のキックオフ的なお金に近い。その思いさえできれば様々な施策を組み合わせる発想が生まれてくる。いかにその想いを作るかが成功の秘訣になる。安直にお金の支援を受けたいから手をあげます。というのは必ず失敗すると思う。いかに思いがあるからみんなが集まってくる流れを作れるかが成功のカギになる。

大野県議

Q:幼保小中高の連携において、子供たちに故郷愛を持たせて、地元の学校へ行けというのが暗に見えるが、作戦があるのか?

A:地域によってそれぞれ思いがあるが、地域に閉じ込めたいのではなく、そうすると今の子供たちは出て行ってしまうので、地元にある高校を子供たちが選択肢として選べないことは不幸だと思う。そのために地元の高校がどうあるべきか。そのために小中学校から高校まで、こういう力が育つから選ぶんだという想いをみんなですろえるが、当然専門高校へ行きたいという選択肢があればほかの市町村に行くことはあり得る。子供たちが自分の選択肢を選ぶような形を我々は整えるべきだと。だから幼保小中高の連携をやりたいと思っている。

Q:学校再編の論点整理が幅広くて素晴らしい。統廃合ありきという部分も見え隠れするが、違った視点で産業系の高校とか普通科の高校とかのバランスも総合的に考えられている。その中で再編が進んで今ある高校が統廃合になる事がありうると思う。産業系と普通科をどのように考えているのか?

A:普通高校の生徒も専門高校の生徒も育てたい学力・生徒像としては、十分な知識・技能を身につけさせたい。さらに社会の変化に備えながら様々な課題を乗り越えていくための判断力・思考力・表現力、そして多様な方々と共同しながらチームで物事を解決する姿勢・能力を生徒たちに身につけさせたい。これ

が前提で、普通科では一方的な知識注入型ではどうなんだろうかという意見もあり、去年富山県で探求科を拝見させていただいた。専門高校については島根の産業を支える人材を育成すると考え、時代の変化に応じながら地域のニーズを踏まえて、これまでの農業・工業・商業・水産高校の在り方がいいのかも含めて、枠組みも新たなものが必要じゃないかという事も含めて検討していく。

Q:島根留学について、飯南高校を視察して直感的に素晴らしい寮を作り、一年ですぐ新しい寮を作った。あれは不思議だったが、単に増えたからなのか、再編の中で飯南高校を残すと言う意図がある気がするがいかがか？

A:寮については、私が飯南高校の教頭時代に寮の設計をした。飯南高校の取組が背景にあって足りないんじゃないかという判断を頂き、さらに追加で作っていただいた。具体的には議会の視察もいただいてご意見もいただいて実現した。

借り上げバスにて宿泊所に移動。

3日目 5月31日(水)

借り上げバスにて宿泊所から、米子空港へ移動し空路羽田空港へ移動。

羽田空港から富山空港へ空路移動し、富山空港で解散した。

我富山県が抱える問題である人口減少、高齢化・少子化等の課題を、島根県も地方として抱えているということが、今回の視察における島根県、各市町村の説明から理解できた。富山県と違うのは、島根県農林水産部や地域振興部、教育委員会の皆さん方が、共通課題に対して同じ目標をもって部局横断的に動いているイメージがある点であり、非常に強く感じた。富山県は、それぞれの部局は一生懸命施策を実行するが、一体感をもって目標に向かうという部分が、今後必要のようである。いい意味で施策成功の秘訣を感じさせていただきました。ありがとうございました。

系 賀 克 巳

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
TEL (0852) 22-5353
FAX (0852) 22-5273
E-mail: [REDACTED]

企画幹 黒 崎 知

Kurosaki Satoru



〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
TEL: 0852-22-6621
FAX: 0852-22-5657
E-mail: [REDACTED]

しまねには「人」がいる。
～地域づくり支援・中山間支援・定住支援～

島根県 地域振興部

しまね暮らし推進課 定住支援グループ



グループリーダー **嘉本 博行**
かもと ひろゆき

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
TEL (0852)22-5068 FAX (0852)22-5761
E-Mail [REDACTED]
<http://www.pref.shimane.lg.jp/shimanegurashi/>

しまねには「人」がいる。
～地域づくり支援・中山間支援・定住支援～

島根県 地域振興部

しまね暮らし推進課 中山間地域支援スタッフ



企画幹 **岸野 篤史**
きのの あつし

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地
TEL (0852)22-6449 FAX (0852)22-5761
E-Mail [REDACTED]
<http://www.pref.shimane.lg.jp/shimanegurashi/>



MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県中山間地域研究センター

企画情報部 地域研究スタッフ

主席研究員 **有田 昭一郎**
ARITA SYOUIICHIROU

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上米島1207
TEL: 0854-76-3833
FAX: 0854-76-3840
E-mail: [REDACTED]



島根県教育庁教育指導課
地域教育推進室



子ども読書県しまね

室長 竹 下 勝



〒690-8502 松江市殿町1番地
TEL (0852)22-5738
E-mail: [REDACTED]

島根を愛し 世界を志す 心豊かな人づくり



島根県教育庁学校企画課
県立学校改革推進室



室長 津 森 敬 次

〒690-8502 島根県松江市殿町1番地
Tel 0852-22-6723 Fax 0852-22-5762
E-mail [REDACTED]

島根県立学校企画課 (しまねっこ)
電話22-6651号



MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県中山間地域研究センター

所長 **嶋 田 慎 司**
SHIMADA SHINJI

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上米島1207
TEL: 0854-76-3827
FAX: 0854-76-3758
E-mail: [REDACTED]



島根県立飯南高等学校

校長 **秦 勉**
Principal Hata Tsutomu

〒690-3401 島根県飯石郡飯南町野宮800
Tel: 0854-76-2333 Fax: 0854-76-2344
e-mail: [REDACTED]

島根県立大学ニース専門部部長
島根県高等学校英語教育研究会会長





事務局長 大賀 定
oga sadamu

〒696-0192 島根県邑智郡邑南町矢上6000
TEL (0855)95-1113 FAX (0855)95-2012
http://www.town.ohnan.lg.jp
E-mail



定住促進課
まち・ひと・しごと創生戦略推進室



定住促進課

室長 田村 哲 Satoru Tamura



邑南町役場
〒696-0192 島根県邑智郡邑南町矢上6000
Tel 0855-95-1117 Fax 0855-95-0223
E-mail
URL www.town.ohnan.lg.jp
facebook 来てみちゃんさい邑南町 検索



邑南町役場農林振興課

邑南町農業再生協議会事務局長
邑南町農業委員会事務局長
食と農産業戦略室室長 地産地消推進室室長



課長 植田 弘 和

〒696-0192
島根県邑智郡邑南町矢上6000
TEL (0855) 95 - 1116
I P 050 - 5207 - 3011
FAX (0855) 95 - 0171
E-mail



副議長

邑南町議会

清水 優文

FAX 0855-95-2012

〒696-0192 島根県邑智郡邑南町矢上6000



県外・海外政務活動報告書

平成 29年 月 日

富山県議会議員会

会派・議員名

山村振興議員連盟

整理番号	
活動名称	山村振興議員連盟県外視察
目的	全国的な地方社会の急激な人口減少と少子高齢化に対する中山間地域の特色のある先進的な振興施策を視察する。
日程	平成 29年 5月 29日(月) ~ 平成 29年 5月 31日(水)
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	里山レストラン「AJIKURA」: 島根県邑南町矢上3123-4 島根県邑南町役場: 島根県邑南町矢上6000 島根県中山間地域研究センター: 島根県飯石郡飯南町上来島1207 島根県立飯南高等学校: 島根県飯石郡飯南町野萱800 島根県庁: 島根県松江市殿町1
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	主催 富山県議会 山村振興議員連盟 参加者 鹿熊議員、宮本議員、大野議員、米原議員、山辺議員、横山議員、笹岡議員、中川議員、吉田議員、瘡師議員、浅岡議員、亀山議員、澤谷議員、山崎議員、島村議員
行程・活動内容	
1日目 5月29日(月)	
富山空港集合	
富山空港から羽田空港へ飛行機で移動し、羽田空港から広島空港へ飛行機で移動	
広島空港から借上バスで島根県邑南町の里山レストラン「AJIKURA」へ移動・視察	
借上バスにて邑南町役場へ移動・視察 借上バスにて広島県三次市の宿泊所へ移動	
2日目 5月30日(火)	
借上バスにて宿泊所から島根県中山間地域研究センターへ移動・視察	
借上バスにて島根県立飯南高等学校へ移動・視察	
借上バスにて島根県庁へ移動・視察	
借上バスにて島根県米子市の宿泊所に移動	
3日目 5月31日(水)	
借上バスにて宿泊所から米子空港へ移動	
米子空港から羽田空港へ空路で移動	
羽田空港から富山空港へ空路で移動	
富山空港にて解散	
別紙参照	

※日帰りの政務活動を含む。

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費	資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------	-------------------

(事業内容)

取捨参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	赤旗	6,994円	6月7月分 3497円 x 2
	北日本新聞	3,072円	7月分
	富山新聞	3,072円	7月分
	(合計)	13,138円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付きれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(ならないように貼付すること。)

吉田 勉 様		日本共産党発行の しんぶん赤旗 領収書
新聞雑誌名		3,497 円
日刊「しんぶん赤旗」	1	2017 年 7 月分
部数	金額	上記の金額は消費税別です。 980-0982 富山県富山市吉作2-24-12 日本共産党富山県委員会 TEL 076-436-8383
	3,497	領収日 / 抜者

2017年7月分 領収証 発証No 00004567-201707-1

吉田 勉 様

品 名	部 数	金 額	合 計 金 額
北日本新聞朝刊	1	3,072	¥3,072 (消費税込み)

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・集金、販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物等のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

毎度ご購読有難うございます
上記金額正に領収致しました
年 月 日 領収

(有)井上新聞販売店
富山県富山市吉作486-38
076-436-2618

北日本新聞

領収印

7-4

領収書貼付台紙

(ならないように貼付すること。)

領収証

17年 07月分 29年 7月 20日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 **3,072**

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)
 富山センター 呉羽茶屋販売所
 富山市黒崎588
 TEL 076-493-1160
 FAX 076-493-1140

集金担当


購読料のお支払いは①金融機関の口座から
 ②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

吉田 勉 様

新聞雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497


日本共産党発行の **しんぶん 赤旗**

領収書

3,497 円

2017 年 6 月分

上記の金額正に領収致しました。
 930-0982
 富山新聞刊2丁目24-12
 日本共産党富山県委員会
 TEL: 076-432-8388

領収日 / 扱者 

7-4

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

備品購入

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		カーソイクロートリッパ	1,378円
	《合計》	1,378円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

DCMカーマ

呉羽店 076-434-4000

営業時間： 9：30～20：00
 カーマ新規入会キャンペーンのご案内
 お得なカーマカード*に入会されますと
 もれなく1000ポイント*プレゼント！
 現金でもポイントが貯まります！

領収証

2017年07月11日(火)17:37 レシ*0093

016 キヤノン 純正インク
 4960999971308 ¥2,756
 合計 ¥2,756
 (内税タイヨウ ¥2,756)
 (内税 ¥204)
 (税合計 ¥204)

お預り ¥2,761
 お釣り ¥5
 お買上点数 1点



レシ*No4680

店No00803

上記正に領収しました(消費税等 204円を含みます)
 但し、商品代金(43-0046愛知県刈谷市日高町4-101
 DCMカーマ 呉羽店 076-(434)-4000
 TELの管理)の場合は、印刷面を内側に折って保管願います。
 ※保管上の注意(折損)の場合は、印刷面を内側に折って保管願います。
 財布等で保護

富山県議会議長
 公明党 様
 領収証

¥2,756-

2017年07月11日(火)

領収証明細

2017年07月11日(火)17:37 レシ*0093

016 キヤノン 純正インク
 4960999971308 ¥2,756
 合計 ¥2,756
 (内税タイヨウ ¥2,756)
 (内税 ¥204)
 (税合計 ¥204)
 お買上点数 1点



レシ*No4680

店No00803

7-5

整理番号	使途項目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	--

(事業内容)

北日本政経懇話会
平成29年下期会費

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	平成29年下期会費	54,000円	7月～12月分
	振込手数料	486円	
	(合計)	54,486円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を数し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

請 求 書

平成 29年 7月 10日

富山県議会議員
吉田 勉 様

北日本政経懇話会
会長

〒930-0094
富山市安住町1番14号
北日本新聞社経営企画室内
TEL076(445)3528
FAX076(444)9180

下記のとおり、ご請求申し上げます。よろしくお願い致します。

請求金額 54,000円

摘 要	金 額
平成29年下期会費（平成29年7月－12月分） 9,000円×6カ月	54,000円
合 計 54,000円	
備考 会費（1カ月9,000円）は6カ月、半期ごとにお支払いを お願いしております。	

※お支払いにつきましては誠に恐れ入りますが、8月2日（水）までに下記の北日本政経懇話会口座へお願い致します。

なお、振り込み手数料は御社でご負担願います。



領収書貼付台紙

ならないように貼付すること。)

北陸銀行 キャッシュカードサービス
ご利用控

いつもご利用いただき、ありがとうございます。
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種別	請求番号	処理番号	口、付
お振込	0047048	29-07-19	
銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	取扱店番号
			106
紙幣枚数		硬貨枚数	
万円	千円	千円	500円
100円	50円	10円	5円
0050000000004	000401030101		
時刻	ご利用手数料 (前払後払を含む)	お取引金額	
09:23	¥486円	¥54,000円	
おつり	お取引後の残高*		
¥0円	円		

お願い... 通帳へ記入されるまで大切に保管してください。
ATM振込の履歴はご利用控えを添付したままにしてください。

手数料のうち振込手数料 ¥486
000006

キタニホンセイカイコンワカイ 様

トヤマケンキカイギン ヨウタ ット
ム 様

電話番号 076-434-3909

北陸銀行 振込用紙 103x500 CR

裏面もあわせてご覧ください。

7-6

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	
活動名称	研修費
目的	地方議員研究会 地域消滅の時代における医療・介護を考へよ
日程	平成29年7月24日(月)～平成 年 月 日()
場所 <small>(国名・都市名、施設名、訪問先等)</small>	TKP 東京駅八重洲 カンファレンスセンター
相手方等 <small>(主催者、対応者、参加者、同行者等)</small>	地方議員研究会
<p>行程・活動内容</p> <p>7/24(月) ※ 10:00～12:30 地域消滅の時代における医療・介護を考へよ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を以て日本が消滅する！人口減少時代の真の意味 ・医師・看護師・介護士等不足の原因は何か ・少子化を防ぐ「産業」としての医療・介護 ・自治体における医療・介護の命運を握る「人材育成」の重要性 ・地域消滅の時代に於ける地方議員の役割 <p>※ 14:00～16:30 コストが"で主"！ ローコストの病院建築のコツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療を崩壊に導く高コスト病院建築 ・なぜ、自治体病院の建築コストは高いのか ・どのようにして50床で70.6億円、病院建築を実現したのか ・高コストの病院建築に対して地方議会議員はどのように可へ主か 	

※日帰りの政務活動を含む。

整理番号	使途項目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・金庫費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	--

(事業内容)

地方議員研究会

地域消滅の時代における医療・介護を考える

7月24日(月) 10:00~12:30
 地域消滅の時代における医療・介護を考える

14:00~16:30
 二子川地区 / ロゴスの病院建築のコツ

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		北陸新幹線	25860円
	受講料	30000円	
	食事代	3500円	7/24 昼食 1500円 7食 2,000円
	(合 計)	59360円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

地域消滅の時代における
《 医療・介護を考える 》 in 東京 ご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

地方議員研究会は、地方議員、地方議会のお役にたつ実務的な内容のセミナーを心がけております。議員力を高めることで、議会を活性化し、役所を動かす質問のできる議会活動のサポートをしています。

創設以来、党籍、会派問わず多数ご参加いただき、既に1万名を超える地方自治体議員の皆様にご参加いただいております。

下記の講座を開講致しますので、是非ともご参加くださいますようご案内申し上げます。 敬具

【日時】 7月24日(月) 10:00-12:30

「地域消滅の時代における医療・介護を考える」

- ・ 地域そして日本が消滅する！ 人口減少の時代の真の意味
- ・ 医師・看護師・介護士等不足の原因は何か
- ・ 少子化を防ぐ、「産業」としての医療・介護
- ・ 自治体における医療・介護の命運を握る「人材育成」の重要性
- ・ 地域消滅の時代に向けた地方議会議員の役割

【日時】 7月24日(月) 14:00-16:30

「こうすればできる！ ローコストの病院建築のコツ」

- ・ 地域医療を崩壊に導く高コスト病院建築
- ・ なぜ、自治体病院の建築コストは高いのか
- ・ どのようにして250床で70.6億円の病院建築を実現させたか
- ・ ローコスト・高価値の病院建築で持続可能な病院経営を実現
- ・ 高コストの病院建築に対して地方議会議員はどうチェックすべきか

【講師】 伊関 友伸 (いせき ともとし)

研究テーマは、行政評価、地域医療問題、保健・医療・福祉のマネジメント。2006年8月から2007年3月まで、夕張市の医療再生アドバイザーとして、夕張医療センター設立に携わる。兵庫県丹波市の「県立柏原病院の小児科を守る会」の活動の支援も行っている。総務省「公立病院に関する財政措置のあり方等検討会」など、数多くの国・地方自治体の委員等をつとめる。全国市長会機関誌「市政」に「スクレピオスの杖を探して 地域医療再生への道」を連載中。

東京都立大学法学部法律学科卒。東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。1987年埼玉県入庁(県民部県民総務課調査係)、北埼玉郡大利根町企画財政課長(県派遣)、総合政策部計画調整課主査(計画フレーム担当)、健康福祉部社会福祉課地域福祉担当主査、県立精神医療センター・精神保健福祉センター総務職員担当主幹、2004年城西大学経営学部マネジメント総合学科助教授、2010年同教授。医学書院「病院」編集委員。

著作

『まちに病院を！—住民が地域医療をつくる』(岩波ブックレット)、『地域医療—再生への処方箋』(ぎょうせい)

『まちの病院がなくなる!?—地域医療の崩壊と再生』(時事通信社)

『自治体再生戦略—行政評価と経営改革』(日本評論社、共著)等

【開催場所】

in 東京 TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター
〒104-8388 東京都中央区京橋 1-7-1 戸田ビルディング
東京駅 八重洲中央口 より徒歩 5 分
《赤い” 紳士服コナカ” の看板が目印》

【受講料】 1 講座 15,000 円(税込み)

* お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中に FAX またはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

【お申込み】 当ご案内メールへの返信もしくは、

次ページ「FAX 申込書」に必要事項をご記入の上、FAX でお申込みください。

* キャンセルは、7 日前までに FAX またはメールでご連絡ください。

【お問合せ】 一般社団法人 地方議員研究会

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 2 丁目 6-16-639

Tel: 06-7878-6297 Fax: 06-7878-6308 メール: mail@chihogiken.jp

平成29年7月19日

富山県議会
吉田 勉様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 06-7878-6297
FAX 06-7878-6308

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
受講料は、当日受付にて現金でお支払いをお願いいたします。

お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

- ・受講日 平成29年7月24日10:00～12:30、7月24日14:00～16:30（東京）
- ・受講料 1講座 15,000円 × 2講座 = 30,000円
- ・領収証宛名 富山県議会 公明党様

領 収 証

富山県議会 公明党 様

29 年 7 月 24 日

★ **¥30,000**

但 7/24

「地域消滅の時代における医療・介護を考える in東京」
2講座 研修会受講代として

上記正に領収いたしましたし

一般社団法人地方議員研

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297



領 収 証 No. 066608

RECEIPT 平成 29 年 7 月 24 日

ご氏名 富山県議会 公明党 様

金額 ¥25,860

ただし 7/24 代券 (富山県京後)

上記金額正に領収いたしました

株式会社 日本旅行 富山営業本部 10 支店

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.

収入印紙

責任者印

担当者

7-7

ご 請 求 書

平成29年07月21日(金)

No. 24 - 170306

〒930-0001

富山市明輪町1番230号ラルテ1階

株式会社日本旅行 富山支店

TEL: 076-441-8353

FAX: 076-403-5250

支店長: [REDACTED]

担当者: [REDACTED]

富山県議会公明党 様

このたびは、当社をご利用いただき誠にありがとうございます。
下記の通り、ご請求申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

ご請求金額: 25,860円

ご利用日	ご旅行内訳および種別	単価	人員・数量	金額
07/24(月)	JR券(富山~東京往復)	25,860	1	¥25,860
合 計				¥25,860

※お支払いは、平成29年07月21日(金)までに、お支払い下さい。

※振込手数料は、お客様負担でお願いいたします。

き り と り せ ん

受取証

平成	年	月	日
金額	¥25,860		
振込先	みずほ銀行十五号支店		
受取人 ご依頼人	預金種目	普通	口座番号 3101858
	株式会社 日本旅行		
24	上記金額正に受け取りました。 平成 年 月 日		
銀行		収入印紙	
支店			

振込依頼書

額日依	平成	年	月	日	電信	手数料			
振込先	みずほ銀行十五号支店				金額	¥25,860			
受取人	預金種目	普通預金口座		口座番号	3101858				
	カブシキカイシャ ニホンリョコウ								
	株式会社 日本旅行								
	〒930-0001 富山市明輪町1番230号ラルテ1階 TEL (076) 433-1184								
ご依頼人	(フリガ)								
	(おなまえ)								
	24								
(おところ) (電話)									
出納印または振替印									

県外・海外政務活動報告書

平成29年7月31日

整理番号

会派・議員名 公明党 吉田 勉

活動名称	要望活動
目的	国土交通省 要望
日程	平成29年7月26日(木) ~ 平成 年 月 日()
場所 <small>国名・都市名、施設名、訪問先等</small>	東京都千代田区霞が関 2-1-3 中央合同庁舎3号館
相手方等 <small>主催者、対応者、参加者、同行者等</small>	国土交通大臣秘書官 杉戸研介 国土交通省道路局企画課 松本 健

行程・活動内容

7/26(木) 14:30 国土交通大臣秘書官 杉戸研介

- ① 都市計画道路、綾田北代線の整備促進等について
- ② 地域高規格道路 京山外郭環状道路「豊田新屋立体事業」の整備促進について

①、②を要望する。

※日帰りの政務活動を含む。

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

要請陳状等活動費

※ 国土交通省への要望 (7/26(水) 14:30)

場所 → 東京都千代田区霞が関 2-1-3 中央合同庁舎 3号館

相手方 → 国土交通大臣秘書官 杉戸研介

上記事業に要した経費	経費の内容	金額 (円)	備考
		北陸新幹線	25,860円
	富山駅 駐車料金	1,000円	
	食費代	3,500円	1/26 昼食 1,500円 夕食 2,000円
	(合計)	30,360円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

国土交通大臣

石井 啓一 先生

要 望 書

平成29年7月26日

富山県議会議員 五十嵐 務

富山県議会議員 吉 田 勉

1 地域高規格道路富山外郭環状道路「豊田新屋立体事業」の整備促進について

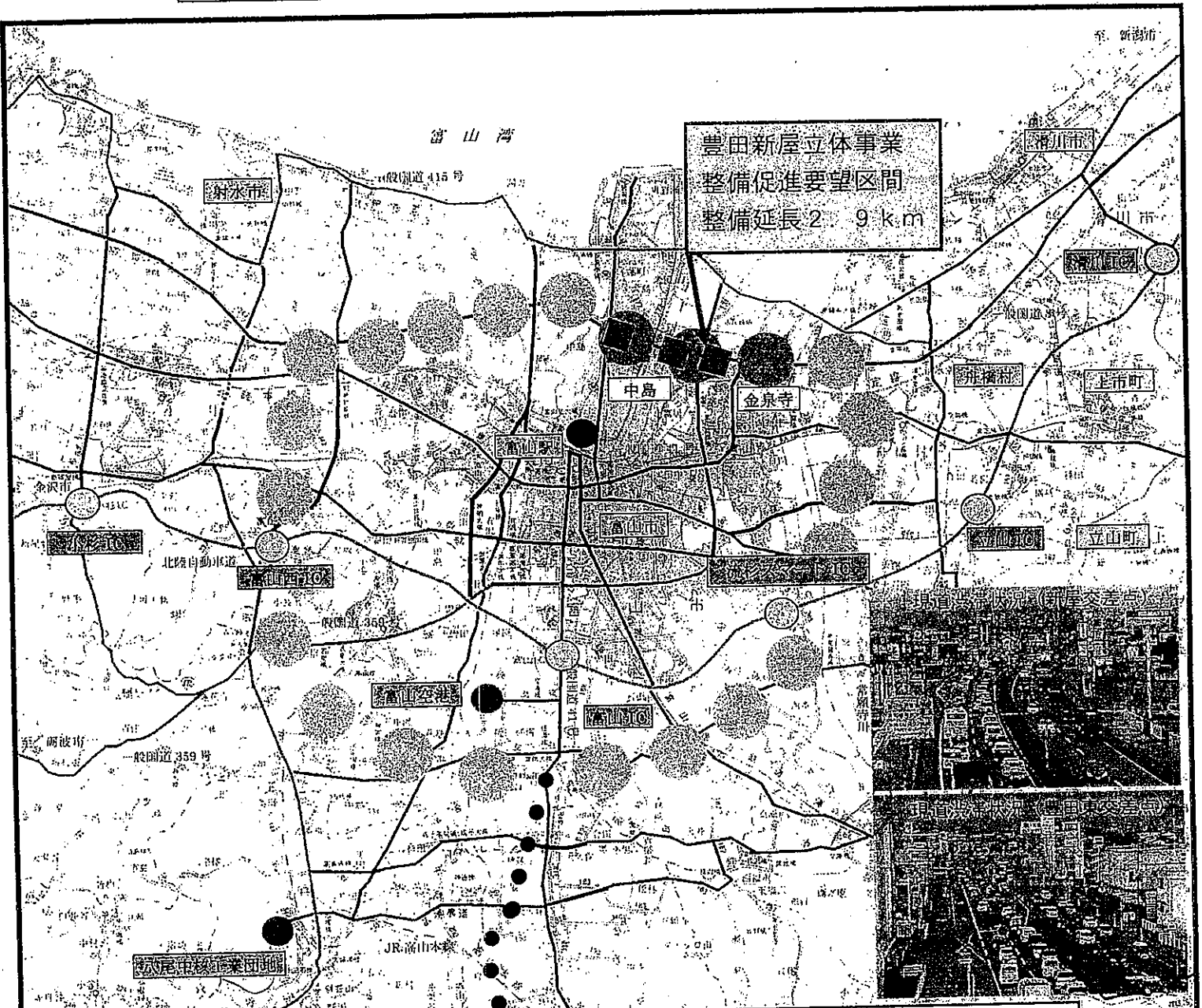
国道8号は、本県の産業、経済、社会活動を支える大動脈として極めて重要な基幹道路です。このうち、神通川にかかる中島大橋から金泉寺高架橋までの間は、県内で最も交通量が多く、交差する県道富山環状線等も含め、朝夕の時間帯を中心に慢性的な交通渋滞が発生しています。

このため、平成21年度に国において、地域高規格道路「富山外郭環状道路」ともなる、富山市小西地内から粟島町地内までの2.9kmを立体化する「豊田新屋立体」が事業化されました。

豊田新屋立体が整備されれば、国道8号のみならず、交差する県道富山環状線等の渋滞解消も期待され、産業の活性化や物流の効率化に大きく寄与することから、本事業の一層の整備促進に関し、特段のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

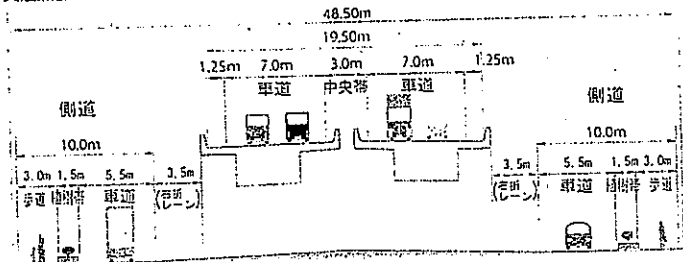
地域高規格道路

富山外郭環状道路

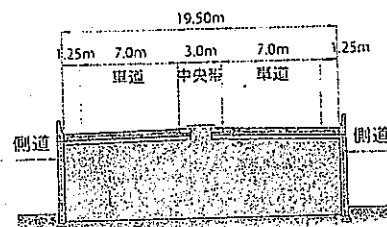


豊田新屋立体区間標準断面図

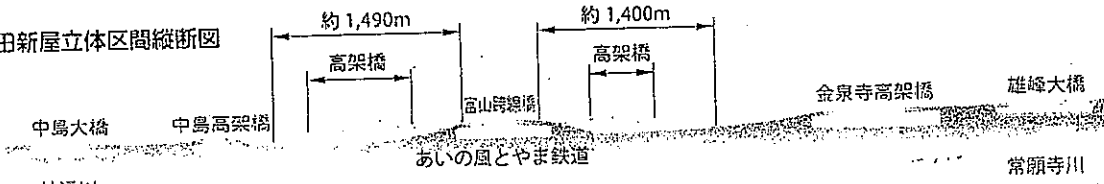
● 交差点部



● 一般部



豊田新屋立体区間縦断面図



2 都市計画道路綾田北代線の整備促進等について

都市計画道路綾田北代線は、富山駅北側に位置し、神通川や呉羽山を横断する富山市の骨格となる幹線道路であり、慢性的な交通渋滞の緩和や、地域の産業、経済、文化の発展に重要な役割を担う道路です。

このうち、奥田中学校前停留場から八田橋までの間は、奥田小学校の通学路に指定されており、現在、歩道整備・無電柱化とともに橋梁の架替えを実施しているところであり、早期の完成が望まれています。

また、市道石坂安養坊線から一般県道四方新中茶屋線までの間は、現道の道路幅員が狭く、人家が連担しており、見通しが悪く、危険な状況となっていることから、バイパス整備の早期の事業着手が望まれています。

については、都市計画道路綾田北代線の整備促進及び事業着手に特段のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

1. 奥田中学校前停留場から八田橋間の整備促進
2. 市道石坂安養坊線から一般県道四方新中茶屋線間の事業着手

都市計画道路 綾田北代線

整備区間 L=5.6km W=16.0~26.5m

県整備区間 L=3.0km

市整備区間 L=2.6km

整備要望区間
L=1.4km

県単独事業
整備区間 (H27~)
L=0.3km

街路事業
整備促進要望区間
L=0.4km

一般県道 四方新中茶屋線
都市計画道路 北代線

↑ 神通川

市道 石坂安養坊線
準用河川 馬渡川

八田橋
富山駅
奥田中学校前停車場
補助事業
大規模修繕・更新
整備促進要望区間
八田橋

未供用区間 L=1.7km

供用区間 L=3.9km

N
4

指定用途地区
(金沢公園地区)

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

領 収 証

No. 066606

R E C E I P T

平成27年 7月 21日

と氏名 馬場謙宏 公明院 様

金額 ¥ 2,586.00

(ご注意)
本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

ただし 7/26 TR券 (馬場申行様)

50,000円以上

収入印紙

株式会社日本旅行 富山営業本部

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD. 富山駅前

〒920-0810

責任者印

署名

@Park富山駅前

領 収 証

精算機 #01 A 精算No.000066
 発券機 #01 発券No.002487
 入庫時刻 2017年 7月26日(水) 09:09
 出庫時刻 2017年 7月26日(水) 19:50
 駐車時間 10:41
 駐車料金 A料金 1,000円
 =====
 合 計 1,000円
 現金領収額 1,000円
 お預り 1,000円
 お釣り 0円

またのご利用をお待ちしております。

7-8

ご請求書

平成29年07月21日(金)
No. 24 - 170307

〒930-0001
富山市明輪町1番230号クラルテ1階
株式会社日本旅行S富山支店

富山県議会公明党 様

TEL: 076-441-8353
FAX: 076-433-5250

このたびは、当社をご利用いただき誠にありがとうございます。
下記の通り、ご請求申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

支店長: XXXXXXXXXX
担当者: XXXXXXXXXX

ご請求金額: 25,860円

ご利用日	ご旅行内訳および種別	単価	人員・数量	金額
07/26(水)	JR券(富山~東京往復)	25,860	1	¥25,860
合 計				¥25,860

※お支払いは、平成29年07月21日(金)までに、お支払い下さい。
※振込手数料は、お客様負担をお願いいたします。

き り と り せ ん

受取証

平成	年	月	日
金額	百万	千	円
			¥25,860
振込先	みずほ銀行十五号支店		
受取人	預金種目	普通	口座番号 3101858
	株式会社 日本旅行		
ご依頼人	24		
上記金額正に受け取りました。 平成 年 月 日			
	銀行	収入印紙	
	支店		

振込依頼書

額ご	平成	年	月	日	電信振	手数料			
振込先	みずほ銀行十五号支店				金額	百万	千	円	
									¥25,860
受取人	預金種目	普通預金口座	口座番号	3101858	内訳	現金			
		カブシキカイシャ ニホンリョコウ				当店券			
		株式会社 日本旅行				他店券			
	〒930-0001 富山市明輪町1番230号クラルテ1階 TEL (076) 433-1184				振替				
ご依頼人	(フリガ)				出納印または振替印				
	(おなまえ) 24 (おところ) (電話)								

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年9月3日

会派・議員名 公明党 吉田 俊

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費 事務費 人件費	
(事業内容) <p style="text-align: center;">備品購入</p>			
上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	文具	255円	ボールペン, 蛍光ペン 710円 x 1/2
《合 計》			
《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

領 収 証

高山県議会公明党様

17年 8月 2日

★ 710

但 文具
上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

〒930-0138 富山市呉羽町6571

山口書店

TEL 076(436) 5576

FAX 076(434) 1603

コクヨ ウケ-1048

9-1

政務調査費対象事業実績報告書

平成27年9月3日

会派・議員名 公明党 吉田勉

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	北日本新聞	3072円	8月分
	富山新聞	3072円	〃
	赤旗	3497円	〃
		(合計)	9641円

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

(This area is left blank for receipt attachment.)

領収書貼付台紙

ならないように貼付すること。

9-2

2017年8月分 領収証 発証No 00004567-201708-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額
¥3,072
(消費税込み)

※お客様の個人情報、当領収証において適切に管理し、新聞の配達・料金・販売明からの各種ご連絡、新聞・出版物等のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購読有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞

領収印

領収証

17年 08月分 17年8月20日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売(株)

富山センター 呉羽茶屋販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当



購読料のお支払いは①金融機関の口座から
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

吉田 勉 様

日本共産党発行の
しんぶん赤旗

領収書

3,497 円

2017 年 8 月分

新聞・雑誌名 部数 金額
日刊「しんぶん赤旗」 1 3,497

上記の金額でしか領収致しません
あらかじめご了承ください

030-0982
富山市荒川2丁目2番12号

日本共産党富山県委員会
TEL 076-432-8383

領収日

投書



整理番号 会派・議員名 公明党 吉田 勉

活動名称	研修費
目的	(1) 地方議員のための政策セミナー (8/21(月)) (2) 早稲田大学 環境総合センターと地方議員研究会の共催セミナー (8/23(水) 8/25(金))
日程	平成29年8月21日(月) ~ 平成29年8月25日(金)
場所	(1) アットビジネスセンター 東京駅 (2) 早稲田大学 大隈記念タワー
相手方等	(1) Xティールート 医療政策セミナー担当 8/21(月) 坪倉正治 講師 (2) 地方議員研究会 8/23(水) 岡田久典 講師 榊原二 講師 8/25(金) 井原雄人 講師

行程・活動内容

(1) 8/21(月) 福島現場の医師が語り、原子力災害の教訓と地域医療
10:00~12:00 地方議員のための放射線教室
 {

- ・原発再稼働を考えた際の放射線基礎知識
- ・議員が知るべき被災地医療
- ・福島原発事故で起きたこと
- ・ " " の教訓

(2) 8/23(水) 地方創生戦略の様々な事例から
10:00~12:30
 {

- ・地方創生戦略の概要
- ・ " " の成功と失敗の事例
- ・失敗の事例(地産地消、観光振興など)

14:00~16:30 地域と大学の新しい関係
 {

- ・今、大学が求められている地域での役割
- ・学生の地域における研究や研究者の研究展開の事例
- ・大学活用が成功例となるポイント

8/25(金) 地域公共交通の基礎知識
10:00~12:30
 {

- ・地域公共交通の動向
- ・地域公共交通活性化再生法について
- ・公共交通空白地有償運送やバス交通の事例

14:00~16:30 地域公共交通増進工場の事例
 {

- ・地域公共交通を交えた新しい事例
- ・立場により異なる地域公共交通の導入価値
- ・電バスや自動運転バスなど最新技術の紹介

※日帰りの政務活動を含む。

整理番号	用途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

1) 地方議員のための政策セミナー
 8/21(月) 「福島の現場の医師が語る、原子力災害の教訓と地域医療」
 アトビネスセンター 東京駅

2) 早稲田大学 環境総合センターと地方議員研究会との共催セミナー
 8/23(水) 「地域創生戦略の様々な実例から」 「地域の豊かに生きる自治の実例・基礎知識」
 8/25(金) 「地域公共交通の基礎知識」 「地域公共交通を守る工夫の様々な実例」
 早稲田大学 大隈記念97-1

経費の内容	金額(円)	備考
北総新幹線	77,580円	富山駅~東京駅 8/21 8/23 8/25 往復 25,860円 x 3
鉄道・バス代	1,524円	東京駅~早稲田 8/23 8/25 往復 762円 x 2
受講料	90,000円	30,000円 x 3 (8/21 8/23 8/25)
駐車料	2,000円	1,000円 x 3 (富山駅 8/21 8/23 8/25)
食費代	4,500円	昼食代 1,500円 x 3 (8/21 8/23 8/25)
(合計)	176,604円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

地方議員のための

Medical Note

政策セミナー in 東京

開催日時 **8月21日(月)** 午前の部 10:00~12:00
午後の部 13:30~15:30

福島現場の医師が語る、 原子力災害の教訓と地域医療

午前の部 10:00~12:00

地方議員のための放射線教室

- ・ 原発再稼働を考える上での放射線基礎知識
- ・ 議員が知るべき被ばく医療
- ・ 福島原発事故で起きたこと
- ・ 福島原発事故の教訓

午後の部 13:30~15:30

被ばくへの備えと地域医療

- ・ 方がへの被ばくは備えること
- ・ 議員が指摘すべき原発事故時の避難対策
- ・ 福島の今後と地域医療の再生
- ・ 高野病院の危機で学んだ地域の教訓

議員の皆さまにこそ知っておいて欲しい、貴重な情報をお伝えします



つばくら まさはる
坪倉 正治

相馬中央病院内科医、南相馬市立総合病院非常勤医
南相馬市放射線健康対策委員会委員
相馬市健康対策専門部会委員
川内村への帰村に向けた検証委員会委員
飯館村健康・リスクコミュニケーション推進委員会委員

昭和57年 大阪市生まれ 東京大学医学部卒業 亀田総合病院初期研修修了
平成23年 原発事故をうけ、南相馬市立総合病院へ
南相馬地域にて原発事故後の内部被曝調査、地域医療に従事しながら地域住民への説明会や
各種メディアにて放射線と被曝の健康への影響について分かりやすく情報発信を行う。
平成26年に「福島県南相馬発・坪倉正治先生のよくわかる放射線教室」を発行

主催社のメディカルノートとは…

確かな根拠と専門家の知見に基づく、正しい医療情報を届ける会社です。
詳しくは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

<http://medicalnote.co.jp/>

Medical Note

メディカルノート 検索

本セミナー申し込みページ

<http://mn-seminar.jp>

メディカルノート 政策セミナー 検索

※もしくは裏面をご利用下さい

FAX 03-4243-2066

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込みを確認後、事務局より「受講確認書」を FAX、またはメール致します。
 受講料は、「受講確認書」に従って指定の口座へ事前にお振込ください。

 FAX 申込み書

申込書に明記の上、FAX で 03-4243-2066 宛にお送りください。
 参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

8月21日 月曜日	<input checked="" type="checkbox"/>	10:00~12:00	地方議員のための放射線教室
	<input checked="" type="checkbox"/>	13:30~15:30	被ばくへの備えと地域医療
お名前	(フリガナ)ヨシ 7- ツム 吉 田 勉		貴議会名 富山県議会 (2 期目)
電話番号	(076) 434-3909		携帯電話 ([REDACTED])
FAX 番号	(076) 482-2078		
E-mail	@		
領収証 宛名	ご本人様名 その他 (富山県議会 公明党)		

開催
場所

アットビジネスセンター
東京駅

〒104-0031 東京都中央区京橋1-11-2 八重洲MIDビル

受講料

1講座 15,000円(税込)

「受講確認書」の口座へ事前の振込をお願いします。
 ※キャンセルは7日前までをお願いします。
 それ以降のキャンセル料は半額頂戴いたします。

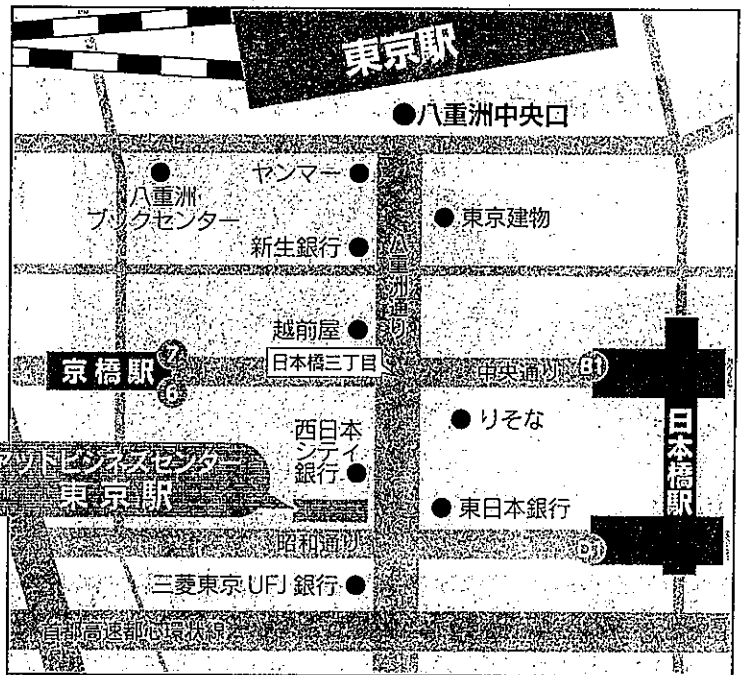
お問合せ・事務局

メディカルノート
医療政策セミナー担当

TEL 080-8124-8273 (担当者連絡先)

FAX 03-4243-2066

メール seminar@medicalnote.co.jp



東京駅 八重洲中央口より 徒歩6分

Medical Note

本セミナー申し込みウェブサイト ▶ <http://mn-seminar.jp/>

共催セミナー

in 早稲田大学 大隈記念タワー

8月22日 [火]

10:00~12:30

自然エネルギー・省エネルギーの基礎知識

- ・自然エネルギーの基礎知識
- ・省エネルギー(特に公共施設)の基礎知識
- ・国や地域の動向

講師
岡田久典

14:00~16:30

自然エネルギー・省エネルギー導入戦略

- ・自然エネルギー・省エネルギー導入の成功・失敗例
- ・公共施設、3セクコスト削減のためのエネルギー戦略
- ・失敗しない自然エネルギー・省エネルギー事業

講師
岡田久典



8月23日 [水]

10:00~12:30

地方創生戦略の様々な事例から

- ・地方創生戦略の概要
- ・地方創生戦略の成功と失敗を分けるもの
- ・失敗しない地方創生(地方商社・観光振興、しごとづくり、域学連携など)

講師
岡田久典

14:00~16:30

地域と大学の新しい関係 (地域活性の起爆剤としての大学の活用方法)

- ・今、大学が求められている地域での役割
- ・学生の地域における活動や研究者の研究展開の実例
- ・大学活用の成功例をつくるポイント

講師
永井祐二



8月24日 [木]

10:00~12:30

市民と創る地域ポイントシステムの事例と応用 (健康分野・環境分野・商店街における市民活動のインセンティブ設計)

- ・地域ポイントの概要と基礎知識
- ・失敗しないシステム導入と制度設計
- ・市民参加を広げ地域を活性化する方法としてのポイント

講師
永井祐二

14:00~16:30

地域が豊かになる民泊の実例・基礎知識 (地域再生に活用する集落の事例とその戦略)

- ・民泊に関わる制度とその課題
- ・民泊の実例に見る成功の秘訣
- ・民泊から広がる地域活性化

講師
永井祐二

8月25日 [金]

10:00~12:30

地域公共交通の基礎知識

- ・地域公共交通の動向
- ・地域公共交通活性化・再生法(2014年改正)について
- ・公共交通空白地有償運送やデマンド交通の実例

講師
井原 雄人

14:00~16:30

地域公共交通を守る工夫の様々な事例

- ・地域公共交通を交えたまちづくりの実例
- ・立場によって異なる地域公共交通の導入価値
- ・電動バスや自動運転といった最新技術の紹介

講師
井原 雄人



お申込みは FAX または メールにて

申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください

FAX申込書

送信先 ↑ FAX.06-7878-6308 ↑

下記申込書に明記の上、参加される講座のチェックボックスへ チェック後で送信ください。

お名前 (フリガナ) ヨシダ シム 貴議会名 富山県議会 (2期目)
 電話番号 () FAX番号 (076) 482-2078
 E-mail ()
 領収証宛名 ご本人様名・その他(富山県議会 公明党)

8月22日(火)	10:00~12:30	<input type="checkbox"/> 自然エネルギー・省エネルギーの基礎知識	14:00~16:30	<input type="checkbox"/> 自然エネルギー・省エネルギー導入戦略
8月23日(水)	10:00~12:30	<input checked="" type="checkbox"/> 地方創生戦略の様々な事例から	14:00~16:30	<input checked="" type="checkbox"/> 地域と大学の新しい関係
8月24日(木)	10:00~12:30	<input type="checkbox"/> 市民と創る地域ポイントシステムの実例と応用	14:00~16:30	<input type="checkbox"/> 地域が豊かになる民泊の実例・基礎知識
8月25日(金)	10:00~12:30	<input checked="" type="checkbox"/> 地域公共交通の基礎知識	14:00~16:30	<input checked="" type="checkbox"/> 地域公共交通を守る工夫の様々な実例

メール申込先

mail@chihogiken.jp

講師ご紹介 岡田 久典

早稲田大学環境総合研究センター 上級研究員(教授級)

京都大学大学院農学研究科修士(森林資源学)、メガバンクのシンクタンクで21世紀社会システム研究チームリーダーなどを歴任。総務省みどりの分権改革会議専門委員、独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究開発センターの環境・エネルギー領域チームアドバイザー等を歴任。地方自治体の事情に詳しく、実践的かつ幅広い観点からアドバイスや様々な活動を展開している。



講師ご紹介 永井 祐二

早稲田大学環境総合研究センター 研究院准教授

1996年早稲田大学大学院理工学研究科化学専攻修士、在学中から大学に関連する地域コミュニティビジネスに携わる。1999年より早稲田大学の環境・エネルギー分野の研究コーディネータを担当。特に地域における環境改善および地域活性化の取り組みに重点を置いた研究に従事する。2012年早稲田大学にて博士(学術)取得。専門は環境情報、地域通貨、再生可能エネルギー、地域ICT利活用などが得意分野である。他に総務省地域資源アドバイザー、新宿区3R推進協議会副会長候補区スマートシティ推進協議会副会長などを務める。



講師ご紹介 井原 雄人

株式会社早稲田大学 アカデミックソリューション 社会連携企画部主幹研究員、早稲田大学環境総合研究センター 招聘研究員

株式会社早稲田大学 アカデミックソリューション 社会連携企画部主幹研究員、早稲田大学環境総合研究センター 招聘研究員。早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科満期退学。博士(学術・早稲田大学)。研究成果の社会実装を目的に、電動バスや燃料電池車両の開発から社会実証を通してそれらを活用した地域公共交通の政策の立案業務に従事。



開催場所

早稲田大学 早稲田キャンパス26号館 大隈記念タワー 11階1102号室

8講座同場所 東京都新宿区早稲田鶴巻516-1

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局

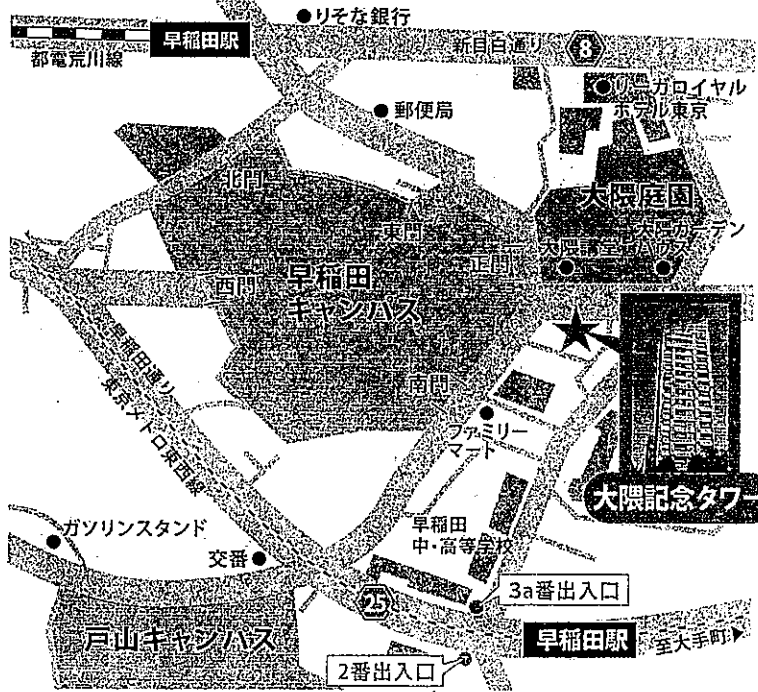
地方議員研究会

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

メール mail@chihogiken.jp

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639



東京メトロ東西線 早稲田駅 2または3a出口より徒歩5分

地方議員研究会

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。

平成 29 年 8 月 4 日

富山県議会
吉田 勉 様

メディカルノート政策セミナー

受講確認書

このたびは、メディカルノートの政策セミナーへお申込みいただき有難うございます。

お申込み内容につき、下記の通り確認申し上げます。

ご確認のうえ、振込口座へのご入金をもって申し込み完了とさせていただきます。

ご入金を確認後、確認の連絡をさせていただきます。

領収証につきましては、当日会場にてお渡し致します。

当日のご参加を心よりお待ちしております。

記

- ・ 受講日 平成 29 年 8 月 21 日 (月曜日)
10:00~12:00、13:30~15:30
- ・ 受講料 1 講座 15,000 円 × 2 講座 = 30,000 円

【受講料 お振込講座】

銀行名 : Japan Net Bank

支店名 : ビジネス営業部 (005)

普通 1 4 6 3 1 9 4

口座名義 株式会社メディカルノート

平成29年8月7日

富山県議会 公明党
吉田 勉様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 06-7878-6297
FAX 06-7878-6308

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
受講料は、当日受付にて現金でお支払いをお願いいたします。

お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

- ・受講日 平成29年8月23日10:00~12:30、8月23日14:00~16:30（早稲田）
- ・受講料 1講座 15,000円 × 2講座 = 30,000円
- ・領収証宛名 富山県議会 公明党様

平成29年8月9日

富山県議会 公明党
吉田 勉様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 06-7878-6297
FAX 06-7878-6308

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
受講料は、当日受付にて現金でお支払いをお願いいたします。

お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

- ・受講日 平成29年8月25日10:00~12:30、8月25日14:00~16:30（早稲田）
- ・受講料 1講座 15,000円 × 2講座 = 30,000円
- ・領収証宛名 富山県議会 公明党様

領 収 証

平成29年8月21日

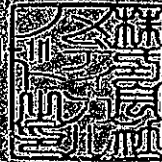
富山県議会 公明党 様

¥30,000

但し 8/21 10:00~12:00
8/21 13:30~15:30

メデイカルコート区政研セミナー受講代として
上記金額正に領収いたしました。

株式会社 メデイカルコート
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷3-11
IVYイーストビル9F



領 収 証

吉田勉 様

29年8月23日

★ ¥60,000

但し 8/23 10:00~「地方創生戦略の様々な実例から」、
8/23 14:00~「地域と大学の新しい関係」、
8/25 10:00~「地域公共交通の基礎知識」、
8/25 14:00~「地域公共交通を守る工夫の様々な実例」
4講座 研修会受講代として

上記正に領収いたしました。



一般社団法人地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-379
TEL 06 (7878) 6297



9-3

領収書貼付台紙

（な ないように貼付すること。）

@Park富山駅前

@Park富山駅前

@Park富山駅前

領収証

領収証

領収証

精算機 #01 A 精算No.000348
 発券機 #01 発券No.003707
 入庫時刻 2017年 8月21日(月) 06:48
 出庫時刻 2017年 8月21日(月) 18:42
 駐車時間 11:54
 駐車料金 A料金 1,000円
 =====
 合計 1,000円
 現金領収額 1,000円
 お預り 1,000円
 お釣り 0円

精算機 #01 A 精算No.000067
 発券機 #01 発券No.003800
 入庫時刻 2017年 8月23日(水) 06:47
 出庫時刻 2017年 8月23日(水) 19:46
 駐車時間 12:59
 駐車料金 A料金 1,000円
 =====
 合計 1,000円
 現金領収額 1,000円
 お預り 1,000円
 お釣り 0円

精算機 #01 A 精算No.000273
 発券機 #01 発券No.003926
 入庫時刻 2017年 8月25日(金) 06:55
 出庫時刻 2017年 8月25日(金) 19:47
 駐車時間 12:52
 駐車料金 A料金 1,000円
 =====
 合計 1,000円
 現金領収額 1,000円
 お預り 1,000円
 お釣り 0円

またのご利用をお待ちしております。

またのご利用をお待ちしております。

またのご利用をお待ちしております。

領 収 証 No.066747

R.E.CRETE P.T. 2017年 8月 9日

ご氏名 鳥取県議会議長 野田 浩一様

(ご注意)
本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額	¥25,860-
----	----------

ただし 8/21 下着 車賃 追加

上記金額正に領収いたしました。

50,000円以上

株式会社日本旅行 NIPPON TRAVEL AGENCY 富山営業本部 支店 No.06810

責任者印

9-3

(な ないように貼付すること。)

領 収 証 No. 066748

R E C E I P T 平成 29 年 8 月 2 日

ご氏名 富山県議会公明党 吉田 様

(ご注意) 本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額	¥ 25,860
----	----------

ただし 8/23 TR 送 野田

上記金額正に領収いたしました。

50,000円以上 収入印紙

株式会社日本旅行 NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD. 富山営業本部 支店 066810

責任者印

領 収 証 No. 066749

R E C E I P T 平成 29 年 8 月 9 日

ご氏名 富山県議会公明党 吉田 様

(ご注意) 本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額	¥ 25,860
----	----------

ただし 8/25 TR 送 野田

上記金額正に領収いたしました。

50,000円以上 収入印紙

株式会社日本旅行 NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD. 富山営業本部 支店 066810

責任者印

ご 請 求 書

平成29年08月09日(水)

No. 24-

170362

〒930-0001

富山市明輪町1番230号ク

富山県議会公明党 様

株式会社日本旅行TiS富山支店

TEL: 076-433-1184

FAX: 076-433-5250

支店長:
担当者:
[Redacted]

このたびは、当社をご利用いただき誠にありがとうございます。
下記の通り、ご請求申し上げますのでよろしくご願ひ申し上げます。

ご請求金額: 25,860円

ご利用日	ご旅行内訳および種別	単価	人員・数量	金額
08/23(水)	JR券(富山~東京)往復	25,860	1	¥25,860
合 計				¥25,860

※お支払いは、平成29年08月10日(木)までに、お支払い下さい。
※振込手数料は、お客様負担をお願いいたします。

き り と り せ ん

受取証

平成 年 月 日	
金額	¥25,860
振込先	みずほ銀行十五号支店
受取人	株式会社 日本旅行
ご依頼日	24
上記金額正に受け取りました。	
平成 年 月 日	
銀行	収入印紙
支店	

振込依頼書

振込先	平成 年 月 日	金額	電信扱	手数料
みずほ銀行十五号支店		¥25,860		
受取人	預金種目	口座番号	現金	
株式会社 日本旅行	普通預金口座	3101858		
	カフシキカイシャ ニホンリョコウ		当店券	
	株式会社 日本旅行		他店券	
	〒930-0001 富山市明輪町1番230号クラルテ1階		振替	
	TEL (076) 433-1184			
ご依頼人	(フリガ)	(おなまえ)	出納印または振替印	
		24		
		(おところ) (電話)		

平成29年08月09日(水)
No. 24- 170363

ご 請 求 書

〒930-0001

富山市明輪町1番230号クラルテ1階

株式会社日本旅行 富山支店

富山県議会公明党 様

TEL: 076-433-1184

FAX: 076-433-5250

このたびは、当社をご利用いただき誠にありがとうございます。
下記の通り、ご請求申し上げますのでよろしくお願ひ申し上げます。

支 店 長 :

担 当 者 :

ご請求金額: 25,860円

ご利用日	ご旅行内訳および種別	単価	人員・数量	金額
08/25(金)	JR券(富山~東京)往復	25,860	1	¥25,860
合 計				¥25,860

※お支払いは、平成29年08月10日(木)までに、お支払い下さい。
※振込手数料は、お客様負担でお願いいたします。

き り と り せ ん

受取証

振込依頼書

平成 年 月 日

金額	百万 千 円
	¥25,860
振込先	みずほ銀行十五号支店
受取人 預金種目	普通 口座番号 3101858
株式会社 日本旅行	
ご依頼人	24

上記金額正に受け取りました。
平成 年 月 日

_____ 銀行 収入印紙
_____ 支店

頼ご 日依	平成 年 月 日	電信扱	手数料		
振込先	みずほ銀行十五号支店	金額	百万 千 円	¥25,860	
受取人	預金種目	普通預金口座	口座番号	3101858	
	カブシキカイシャ ニホンリョコウ		株式会社 日本旅行		
	〒930-0001 富山市明輪町1番230号クラルテ1階		TEL (076) 433-1184		
	内訳	現金			
ご依頼人		当店券			
		他店券			
		振替			

出納印または振替印

(7/1カ)
(おなまえ)
24
(おところ) (電話)

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年10月19日

会派・議員名 公明党 吉田 勇也

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

備品購入

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		キヤノンインクカートリッジ	1,049円
	キヤノン複写機	11,221円	22442円 × 1/2
	(合 計)	12,270円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

ならないように貼付すること。)

領収書

管理No. 0454-406-0000098

伝票No. 0454-406-003806

発行日: 2017年10月11日

公明党富山県議会 様

内訳 現金 ¥22,442 ¥22,442 (内消費税 ¥1,662)

但しFAX 代として。
上記の金額正に領収いたしました。
株式会社ヤマダ電機
群馬県高崎市栄町1-1

印紙税申告納
付のつき高崎
税務署承認済

SSS
1134747014 MX923
A4771 01 1:持帰 外08
0851189015 322 01501 (ケンキ) ZZ
チヨウキホシヨウ 1:持帰 外08 ¥1,000

テックランド富山婦中店

※印刷面を内側に折って保管願います。

10-1

DCMカーマ

呉羽店 076-434-4000

営業時間： 9:30~20:00
カーマ新規入会キャンペーンのご案内
お得なカーマカードに入会されますと
もれなく1000ポイントプレゼント!
現金でもポイントが貯まります!

領 収 証

2017年09月07日(木)18:12 レシ0093

016 キヤノン 純正インク	
4960999819716	¥2,098
合計	¥2,098
(内税タイプ)	¥2,098)
(内税)	¥155)
(税合計)	¥155)

お預り	¥2,100
お釣り	¥2
お買上点数	1点



レシートNo0833

店No00803

2017年09月07日(木)

富山県議会
公明党

領 収 証

¥ 2, 098 -

上記正に領収しました(消費税等 155円を含みます)

但し、商品代()
DCMカーマ 〒448-0046 愛知県刈谷市日高町4-101
DCMカーマ 呉羽店
TEL 076-(434)-4000

※保管上のお願い
財布等で保管戴く場合は、印刷面を内側に折って保管願います。

0093-1864-0833

* 領収証明細 *
2017年09月07日(木)18:12 レシ0093

016 キヤノン 純正インク	¥2,098
4960999819716	¥2,098
合計	¥2,098
(内税タイプ)	¥2,098)
(内税)	¥155)
(税合計)	¥155)
お買上点数	1点



整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	高山市町村新聞	6000円	4月~9月分
	日本教育新聞	16200円	4月~9月分 2017年10月~2018年3月分
	赤旗	3497円	9月分
	北日本新聞	3072円	9月分
	富山新聞	3072円	9月分
	(合 計)	31841円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 書
富山県議会議員 吉田 勉 様
¥ 6, 000
期間：平成29年4月～平成29年9月分 (購読料) 上記の金額を領収致しました 2017年 9 月 12 日
(株)富山県市町村新聞社 代表取締役 廣瀬 慶三 〒930-0094 富山市安住町7番124号 電話076-494-1010番 FAX 076-494-1012番

お客様コードNo. XXXXXXXXXX

請 求 書

伝票No. 106

29年 9月 8日

富山県議会議員会 吉田 勉 様

(株)富山県市町村新聞社 代表取締役社長 廣瀬慶三
 富山市安住町7番124号 電話076(494)1010 FAX076(494)1012
 北陸銀行富山丸の内支店(当)4140540
 <取引銀行> 富山銀行諏訪川原支店(当)1009096
 富山第一銀行本店 (普)194888
 富山信用金庫本店 (普)495903

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。

商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
新聞代 (平成29年4月～9月分)	6		1,000	6,000*	
摘要 (消費税合計)	444		合 計	6,000	

*は税込金額です。

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
29-10-10	32185	A93110003
取扱店	トヤマケンチョウナイ	
払込口座	00150-8	196500
払込金額	*16,200	料金 *0
		振替受付票 払込みの証拠となるものですが、大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行)
入金額	*16,200	
おつり	*0	
はじめての投資信託はゆうちょで!		

印紙税申告納付につき廻町税務署承認済

請求書

2017年 10月 4日

富山県議会 公明党

吉田 勉

様



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役社長 幹長

東京都港区虎ノ門 8
電話 03 (03) 5561-7777



「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。
下記の通りご請求申し上げます。
※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。

お支払い先
 ・振替払込 00150-8-196500
 ・銀行振込 みずほ銀行虎ノ門支店 普通預金 2835213
 ・口座名義 株式会社日本教育新聞社

合計請求額	16,200 円	読者コード	■■■■■■■■■■	請求書番号	0004023590
-------	----------	-------	------------	-------	------------

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

	品名	部数	期間	金額	備考
前回請求額				16,200 円	2017/04-2017/09
今回入金額				16,200 円	
差引繰越額				円	
今回請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円	2017/10-2018/03
合計請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円	2017/10-2018/03

No. 052051

領 収 証

吉田 勉 様

金額 ¥16,200-

但し購読料 29年10月~30年3月として
平成 29 年 10 月 10 日

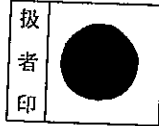
上記の金額正に領収致しました

(郵便振替)

印 収
紙 入

株式会社 日本教育新聞社

東京都港区虎ノ門 8
〒105-8436 電話 03-3581-28



※上記発行先・金額の訂正は無効です。

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

日本共産党発行の **しんぶん赤旗** 領収書

吉田 勉 様

新聞雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497

3,497 円

2017 年 9 月分

930-0982
富山県富山市吉作486-38
日本共産党富山県委員会
TEL 076-436-2618

領収日 / 投者

2017年9月分 領収証 発証No 00004567-201709-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額 ¥3,072 (消費税込み)

※お客様の個人情報は、送信先において適切に管理し、新聞の配達、集金、販売所からの各種ご連絡、新聞・出版物等のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店
富山県富山市吉作486-38
076-436-2618

毎度ご購入有難うございます
上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞

領収印

領収証 17年 09月分 29年9月7日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売(株)
富山センター 呉羽茶屋販売所
富山市黒崎588
TEL 076-493-1160
FAX 076-493-1140

集金担当

購読料のお支払いは①金融機関の口座から
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

10-2

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費	広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------	-------------

(事業内容)

県政報告 制作費
H29年 9月定例会

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額 (円)	備考
	県政報告制作費	200,000円	5000部作成
	企画編集料	60,000円	一式
	封筒制作費	50,000円	5000部作成
	消費税	24,800円	8%
	(合計)	334,800円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

領 収 証

藤山製紙株式会社様

16

27年 10月 2日

¥334,800 -

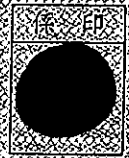
品名
 数量
 単価
 金額
 印

但し、上記の金額正に領収いたしました。



三ノト印刷社

代表 山田 洋一
 〒100-0001 東京都千代田区千代田
 TEL: 03-5561-0767



請求書

No. _____

29年9月29日

富山県議会公明党 様

三ノ上印刷社

代表 山口 幸一郎

〒931-8334 富山県七尾市本町2丁目1-1

TEL & FAX (076) 4137-5777

下記の通り御請求申し上げます

合計金額 ¥334,800

月日	品名	数量	単価	金額	摘要
1	県政報告	5,000部		200,000	
2	企画編集料			6,000	
3	郵賃	5,000部		5,000	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
	小計			310,000	
	消費税			24,800	
	合計			334,800	

取引銀行 北陸銀行奥田支店 (普) 0208690

県政報告

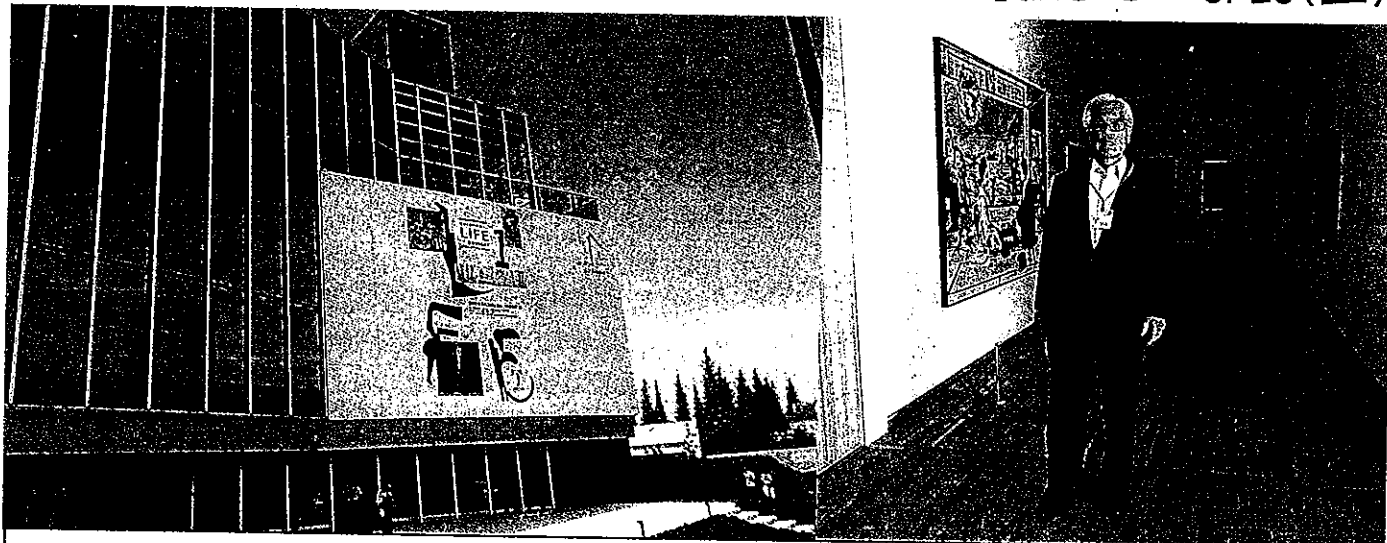


◆公明党富山県議会議員 県政報告

◆発行 / 富山県議会公明党 (平成 29 年 9 月)

〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 TEL (076) 444-3373

◆富山県美術館 全面オープン 記念展「LIFE」始まる 8/26(土)



富山県美術館は、近代美術館の開館当初からの理念を継承して発展させるとともに、これまで以上にデザインの視点を取り入れ、「アートとデザインをつなぐ」美術館を目指しています。そこで、県の美術の拠点であるとともに、将来を見据え、時代の変化に対応でき、様々な展開が可能となるよう、名称を新たに「富山県美術館」、略称「TAD (タッド)」としました。また、教育機関や地域の団体、環水公園のイベントや観光、産業とも連携を進め、子供たちや家族連れ、お年寄り、観光客など、幅広い層の方々気軽に訪れ、一人ひとりの楽しみ方に出会える美術館となるよう取り組みます。

◆平成 29 年 9 月富山県議会・農林水産委員会での「吉田つとむ」の質問より

問1 次代を担う就農者の確保・育成について

- (1) 農業の担い手となり得る若者が地元に着住するためには、住居や就業機会の確保など、現場のニーズに即した支援の拡充を着実に進めていくことが必要と考えるが、所見を問う。

【広沢農業経営課長 答弁】

農業の担い手に対する支援など本県農業においては、担い手の高齢化や後継者不足等から、担い手の確保・育成が大変重要であり、県ではこれまでも農業を志す若者を対象にさまざまな支援を行ってきた。具体的には、①県農林水産公社に青年農業者等育成センターを設置し、就農希望者に対する就農相談の実施や、農業法人等の求人情報、市町村の空き家情報の提供、②平成 27 年 1 月に開校した「とやま農業未来カレッジ」での通年研修や短期研修などにより、本県農業に即した知識や技術の習得、③独立自営就農の場合には、農業次世代人材投資資金を交付するとともに、就農計画の作成段階から、対象としている作物や施設、露地等の栽培環境に応じた、農林振興センターによるマンツーマンの現地指導、④雇用就農の場合には、農の雇用事業を活用して、OJT研修を実施するとともに、農林振興センターによる巡回指導、など、支援の充実に努めてきているところである。

農業次世代人材投資資金の年齢制限については、原則 45 歳未満のところ、地域に若手農業者がいないなどの一定の要件を満たせば、49 歳まで緩和するという特例が認められているところであり、運用にあたっては地域の要望をお聞きしながら、国とも協議してまいりたい。今後とも、現場のニーズをよくお聞きしながら、市町村や JA など関係機関とも連携し、新規就農者の確保・育成や定着に向けてしっかりと取り組んでまいりたい。

問1 次代を担う就農者の確保・育成について

- (2) こうした新規就農者か、地元農産品を守り、更には県外農産品と戦う力を付けていくためには、施設設備に対する支援や、地域において孤立しないよう、一人でも多くの仲間を増やすためのネットワークをつくり、地元とつながっていくことが必要と考えるか、所見を問う。

【広沢農業経営課長 答弁】

新規就農者の施設整備に対する支援など新規就農者向けの施設設備に対する支援については、経営開始時の初期投資の負担を軽減することにより、早期に農業経営を安定できるよう、これまでも県と市町村が連携し、市町村から青年等就農計画の認定を受けた「認定新規就農者」を対象として、経営開始時の農業機械・施設の整備について、標準事業費の2分の1を支援しているところである。

また、日本政策金融公庫では、同じく認定新規就農者を対象に、農業機械・施設等の整備に必要な資金を無利子で融資を行っている。新規就農者のネットワークづくりについては、県では、地域の青年農業者等で組織される「青年農業者協議会」や「JA 富山県青壮年組織協議会」の活動を積極的に支援しており、こうした青年組織への参加や活動を通して、若い農業者同士の情報交換や研修会の開催など励まし合えるネットワークづくりに役立っているとお聞きしている。

このほか、とやま農業未来カレッジでは、就農希望者等を対象に通年研修や短期研修を実施しており、研修を通して研修生同士のみならず、県内の先進農家とのネットワークが広がったとの評価もお聞きしている。なお、今年度からは短期研修について、経営戦略やマーケティングなど農業経営分野を強化し、営農を続けながら体系的に学べる「農業経営塾」を新たに開講することとしている。今後とも、市町村やJA等の関係機関とも連携しながら、青年農業者のニーズに即したサポートの実施に努め、地域農業を支え、次世代を担う青年農業者の育成・確保と定着に積極的に取り組んでまいりたい。

問2 収入保険制度の実施について

- (1) 収入保険制度か、2019年産より実施されるか、本県においてこの制度をどのように評価し、また説明会の開催などをとおして、丁寧な周知や円滑な導入に努めるべきであると考えるか、所見を問う。

【柳瀬団体指導検査班長 答弁】

1 収入保険制度については、本年6月に農業災害補償法の一部を改正する法律が成立し、必要な準備・周知期間を経て、平成31年産から運用が開始される予定とされている。

2 この収入保険制度は、

(1) 品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少だけでなく、価格低下なども含めて経営全体の収入減少を補填する総合的なセーフティネットであること

(2) 保険料の50%、積立金の75%の国庫負担や、政府再保険による支援措置など、農業者の負担軽減に配慮されていること

(3) 国の試算では、特に複合経営に取り組む場合にメリットが大きいとされていることなど本県の農業経営の安定に役立つものと考えている。

3 また、収入保険制度は、水稻などの農業共済や米・麦・大豆を対象としたナラシ対策等の既存制度とどちらかを選択するものとなることから、農業者がそれぞれの経営の実態に応じて、有利なセーフティネットに加入できるよう理解を深めていただく必要がある。

4 このため、県では、担い手農業者や農業委員の研修会等において、青色申告を行っている農業者を対象とすること等収入保険制度の概要を説明するとともに、県農業共済組合やJAでも組合員に対してリーフレットを配布するなど、周知に努めてきている。

制度の細部は現在も検討が進められているが、詳細が明らかになり次第、関係機関と連携しながら、説明会の開催や加入相談への対応などを通じて、丁寧な周知や円滑な導入に努めてまいりたい。

問3 食料自給率の低迷について

- (1) 2016年度の食料自給率が公表され、過去2番目に低い38%となったが、本県における食料自給率の現状と、その向上のためには、どのような農業政策が効果的であると考えるか、所見を問う。

【西川企画班長 答弁】

食料自給率の向上は、食料の安定的な供給を図る観点から、我が国の農業政策の基本となるものであり、平成27年3月に策定された国の新たな食料・農業・農村計画では、平成37年度における我が国の食料自給率の目標を、カロリーベースで45%としているが、平成28年度の我が国の食料自給率は、前年度より1ポイント低下し38%となった。

一方、本県の食料自給率は、平成27年度のデータが直近であり、カロリーベースで前年度より5ポイント増加の83%と、国の実績や目標、また現行の県の農業・農村振興計画における平成33年目標を上回っている。ただし、品目別にみると、米が318%、豆類が104%と高い一方で、野菜23%、肉類2%、牛乳及び乳製品6%など、米や豆類以外の品目の自給率は低くなっている。

このため、県では、今後も米の消費の減少が続くと考えられる中、富山米新品種「富富富」のブランド化をはじめ、高品質で美味しい米づくりの推進などにより、富山米の需要を確保するとともに、JAを中心とした「園芸の1億円産地づくり」や、大豆、大麦、飼料用米等による水田のフル活用、畜産クラスター事業による畜産経営の基盤強化や自給飼料生産の拡大に向けた取組みを一層進めていかなければならないと考えている。

また、一方で、学校給食への県産食材の活用や、直売所、インショップでの地場農産物のさらなる販売拡大支援など、地産地消を推進することも、本県の食料自給率の向上はもとより、県内の農林水産業の振興の観点からも重要であると考えている。

現在、県では、新たな総合計画の策定に併せて、現行の農業・農村振興計画の見直しの作業を進めているところであり、県議会をはじめ県民のみなさまのご意見なども踏まえ、今後の食料自給率の見通しや、その向上のためのより効果的な施策の展開について検討を進めてまいりたい。

問4 輸出拡大をめざした攻めの農業への転換について

- (1) 世界的な和食ブームで国産食材の潜在的能力は高いとされているが、本県としてどのような戦略で輸出拡大をめざし、展開していくのか、所見を問う。

【大島市場戦略推進班長 答弁】

日本の美味しい、そして安全な農林水産物や日本食については、世界で高い評価を受けており、平成25年には「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたほか、海外の日本食レストランが急増するなど、海外での日本食への関心が一層高まっているところである。

こうしたなか、県では、これまでも各団体等との連携協力のもと、香港やシンガポールといった海外での食品見本市への参加支援や、海外パイヤーを招聘した県内商談会の開催等輸出の促進に取り組んできており、その結果、輸出用米の作付面積が増加しているほか、見本市への出展を契機として、現地スーパーでの継続的な販路開拓に至った事例が出てくるなど、一定の成果も表れてきている。

今後、さらに県産農林水産物等の輸出を効果的に促進するためには、輸出品目や対象国を絞り込んだうえで、意欲ある県内の農林漁業者、食品事業者及び関係機関が一体となって、計画的に取り組んでいくことが重要であることから、今年6月に①コメ・コメ加工品、②日本酒、③水産物・水産物加工品の3つを重点品目とし、それぞれの品目の重点輸出国・地域や5年後の輸出目標などを示した「富山県産農林水産物等品目別輸出促進方針」を策定したところである。

この中では、県産品の国内外におけるブランド力強化や輸出に意欲的な生産者・事業者の拡大を図るなどの「県産農林水産物・食品の輸出力強化」、2つ目には、事業者の取組みステージに応じたサポートを実施するなどの「輸出の支援・推進体制の強化」、3つ目には、マーケットインの視点を重視した需要に応じた付加価値の高い商品の開発や、新たな国・地域への販路開拓の推進を図るなどの「新たな市場への展開」を基本方針として掲げている。こうした考え方のもと、今後とも、関係機関との連携を図り、国や民間事業者の取組み動向等についてアンテナを高くしながら、計画的な県産農林水産物等の輸出拡大に積極的に取り組んでまいりたい。

問5 本県大学等の振興について

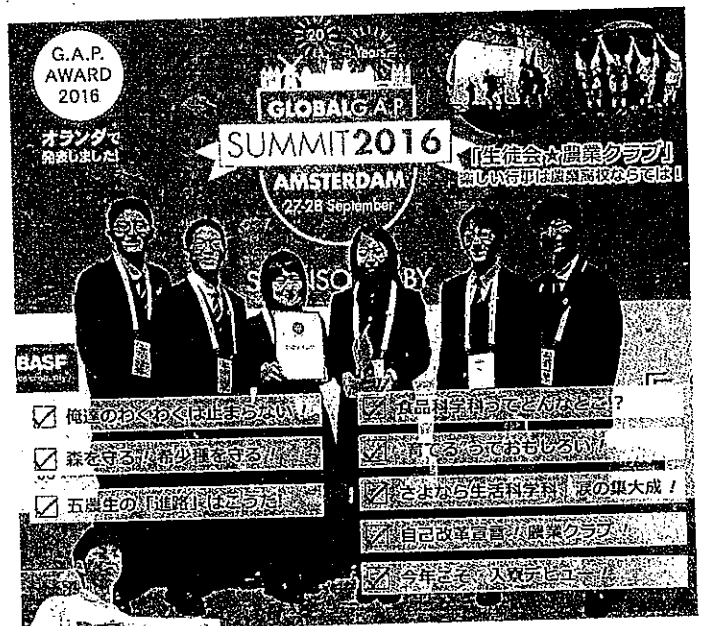
- (1) 「大学コンソーシアム富山」について、県として、これまでの支援・連携による活動の成果をどのように捉えているのか、また、新たに駅前活動拠点整備を行うこと等により、今後どう展開を図っていくのか、問う。

【石井知事 答弁】

- 若者の県外流出の抑制や県内定着を促進する観点から、県内高等教育機関が進学先として選択してもらうためには、各校それぞれの取組みに加え、県内の高等教育機関全体の魅力向上や地域との連携が不可欠である。
- このため、県内の高等教育機関で構成する「大学コンソーシアム富山」を発足させ、これまで、単位互換事業や高等学校との連携をはじめ合同企業訪問を通じた県内定着促進の取組み、学生が研究等を通じ地域の課題解決策を提案する取組み等を行い、一定の成果を挙げている。また、県としてもこれらの事業に対する財政支援やコンソーシアム事務局への職員派遣などの支援をしてきたところである。
- 今回の補正予算案に盛り込んだ駅前活動拠点整備事業では、こうした取組みをさらに推進するため、駅前で交通の便が良いCiCビル5階の県所有部分に、県が4つの研修室等を整備するものであり、コンソーシアム事務局も併せて移転をし、県職員研修所と共同で利用することとしている。
なお、新たに整備する研修室のうち最大の部屋は、壁面がガラス張り、中の気配が感じられる明るい雰囲気をつくりとし、室内の机や椅子もアクティブラーニングに対応した使いやすいものにするなど、大学の壁を越えて学生等が楽しく集い、交流する拠点にしたいと考えており、また、学生等の若者が集う場所づくりという意味で富山駅前のにぎわいづくりにも資することを期待している。
- 今後、この施設を活用し、①単位互換事業をさらに充実させるとともに、その立地の良さを活かし、②県内高等教育機関合同の進学説明会や県内企業就職説明会などの若者の県内定着に係る事業、③各大学教員による公開講座や教官・学生による地域課題解決事業などの地域貢献事業、④海外展開する企業の経営者等による特別講義や高校と大学の連携のためのセミナーなどの教育支援のための事業に積極的に利用いただきたいと考えている。また、学校の垣根を越えた交流やサークル等の自主活動、大学関係者の外部との打合せなど、サテライトキャンパス的な施設としても、学生をはじめ多くの方に利用いただきたいと考えている。
- 県としては、引き続き、大学コンソーシアムの取組みを支援し、県内大学等の活性化とともに、若者の県内定着の促進などに努めてまいりたい。

【農林水産委員会海外視察】

青森県五所川原農林高校は、15、16年と自ら生産するリンゴと水田（米）について、五輪食材の採用基準となる国際規格「グローバル GAP」を取得。五輪食材での「代表入り」を目指す。同規格は日本の全農家でも1%しか取得できておらず、このままでは五輪で国産食材がほとんど使われない可能性も指摘されている。作家の太宰治や歌手の吉幾三を生んだ津軽平野の中心・五所川原市に位置する農業高校が、東京五輪に挑戦する。選手村などの食材提供に必要な国際規格「グローバル GAP」を、15年にリンゴ、16年に水田で取得。今年度はメロンを目指しており、金看板を武器に五輪参入を狙う。同校の生徒は、「グローバル GAP」に関わったことで、国際感覚も身に付けつつある。2016年9月には、オランダで開催された「グローバル GAP サミット」に生徒3人が参加。その取り組みが評価され、年間大賞に当たる「GAP awards 2016」を受賞。高校の受賞は世界初の快挙だった。



領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

料金別納
郵便



あなたの声を「実現」します

富山県議会議員

吉田つとむ



〒930-0116 富山市追分茶屋49-3
TEL:076-434-3909 FAX:076-482-2078
E-mail: [REDACTED]

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年10月19日

会派・議員名 公明党 吉田 勇丸

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

県政報告書郵送料
平成29年9月定例会

経費の内容	金額(円)	備考
お礼状印刷料金	42,861円	
(合 計)	179,608円	

上記事業に要した経費

《領収書貼付枠》(原則、領収書を備し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

DA 221799

領 収 証

富山県議会 公明党 様

領収金額 **¥136,747**
(うち、消費税額等 ¥10,205)

印紙税申告納
付につき京橋
税務署承認済

但し、10月度宅急便他運賃料金として
上記の通り領収致しました。 29年 10月 7日

本 社 ヤマト運輸株式会社
東京都中央区銀座2丁目6番
発行事業所 富山主管支店
0766-55-1934

※扱者印

※扱者印のないもの及び手書き又は訂正したものは無効です。

領 収 証

富山県議会 公明党様

29年 10月 7日

★ 442861-

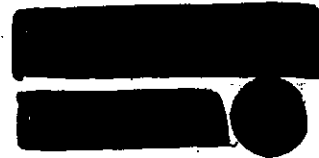
但

上記正に領収いたしました

内 訳 メール封入代金

税抜金額

消費税額等 (%)



10-4

ご請求書

〒 930-0116
富山県富山市追分茶屋49-3

富山県議会 公明党 様

平素はヤマト運輸をご利用いただきまして、誠に有り難うございます。
平成29年10月のご請求書をお届けさせていただきました。



ヤマト運輸株式会社

富山主管支店
担当店：富山呉羽センター
〒939-0285
射水市
本開発305-1

請求書についてのお問合せ：
0766-55-1934
集荷・配送についてのお問合せ：
0570-200-000 (ナビダイヤル)

ホームページアドレス
<http://www.kuronekoyamato.co.jp/>

県外・海外政務活動報告書

平成29年11月1日

整理番号		会派・議員名	公明党 石田 勉
活動名称	研修費		
目的	(株) 地方議会総合研究所 保育待機児童問題と小中高教育のあり方		
日程	平成29年10月26日(不)～平成29年10月26日(木)		
場所	アットビジネスセンター 池袋駅前別館 804号室		
国名・都市名、 施設名、訪問先等			
相手方等	(株) 地方議会総合研究所		
主催者、対応者、 参加者、同行者等	講師 千葉喜久也 仙台大学教授		
行程・活動内容	<p>10/26(不) 10:00～12:30 保育待機児童問題と自治体の役割</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 待機児童問題とは 2. 此等から保育所整備 3. 保育と人材養成と確保 4. 待機児童対策と自治体の役割 <p>10/26(不) 14:00～17:00 小中高教育の問題解決と教務会長のあり方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもを育てる教育環境 2. 「居せ、いじめは根絶で頑張る」 3. 学校教育現場の危機 4. 学校教育の未来を拓くために 		

※日帰りの政務活動を含む。

政務調査費対象事業実績報告書

平成27年11月1日

会派・議員名 公明党 吉田 知

整理番号	使途項目	調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費	人件費
------	------	-------	-----	-----	-------	-------	-----	-----	-----

(事業内容)

(株)地方議会総合研究所

10/26(下) 10:00~12:30

保育係児童問題と自治体の役割

10/26(下) 14:00~17:00

小中高教育の問題解決と教育委員会の方

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		北陸新幹線	25,460円
	受講料	25,000円	
	食事代	3500円	10/26昼食 1500円、夕食 2000円
	駐車代	1000円	富山駅 駐車代
	(合計)	54,960円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

領収証

発行No 6810017001302 2017年10月24日 14時58分

富山県議会公明党 様

¥25,460-

10/26 富山~東京往復JR券代金

うち、下記金額を含む
クレジット
NTAギフト
他社ギフト
引換証

として左記正に領収しました。

株式会社日本旅行 T I S 富山支店

Tel 076-441-8353 販売員

領収証

No _____

富山県議会公明党 様

平成29年10月26日

金額

¥25,000

内

消費税等

現金

但 10月26日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

取入印紙

〒152-0032

東京都目黒区平町1-9-15

株式会社 地方議会総合研究所



係

11-1

ご請求書

平成29年10月24日(火)
No. 24- 170494

〒930-0001

富山市明輪町1番230号クララルテ1階

富山県議会公明党 様

株式会社日本旅行TiS富山支店

TEL: 076-433-1184
FAX: 076-433-5250

支店長: [Redacted]
担当: [Redacted]

このたびは、当社をご利用いただき誠にありがとうございます。
下記の通り、ご請求申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

ご請求金額: 25,460円

ご利用日	ご旅行内訳および種別	単価	人員・数量	金額
10/26(木)	富山~東京 往復JR券代金	25,460	1	¥25,460
合 計				¥25,460

※お支払いは、平成29年10月24日(火)までに、お支払い下さい。
※振込手数料は、お客様負担でお願いいたします。

受取証

平成 年 月 日	
金額	百万 千 円 ¥25,460
振込先	みずほ銀行十五号支店
受取人 預金種目	普通 口座番号 3101858
株式会社 日本旅行	
ご依頼人	24
上記金額正に受け取りました。 平成 年 月 日	
銀行	収入印紙
支店	

振込依頼書

振込先	みずほ銀行十五号支店	金額	百万 千 円 ¥25,460
受取人 預金種目	普通預金口座 口座番号 3101858	内訳 現金 当店券 他店券 振替	
カブシキカイシャ ニホンリョコウ			
株式会社 日本旅行			
〒930-0001 富山市明輪町1番230号クララルテ1階 TEL (076) 433-1184			
ご依頼人	(フリガナ) (おなまえ) 24 (おとところ) (電話)	出納印または振替印	

@Park富山駅前

領収証

精算機 #01	A 精算No.000146
発券機 #01	発券No.007109
入庫時刻	2017年10月26日(木) 06:55
出庫時刻	2017年10月26日(木) 19:53
駐車時間	12:58
駐車料金	A料金 1,000円
=====	
合計	1,000円
現金領収額	1,000円
お預り	1,000円
お釣り	0円

またのご利用をお待ちしております。

富山県議会
吉田 勉 様

平成29年10月24日

受講セミナー確認書

(株)地方議会総合研究所
代表取締役 廣瀬 和彦

(株)地方議会総合研究所主催セミナーへのお申込みありがとうございました。
以下の内容で申込みを受け付けました。
内容に誤りがないかをご確認ください。
誤りや申込み内容に変更がありましたら、弊社あてにFAX又はE-mailにて
修正・変更内容のご連絡をしてください。

【申込みセミナー】

東京セミナー 10月26日(木) 保育待機児童問題と自治体の役割
東京セミナー 10月26日(木) 小中高教育の問題解決と教育委員会のあり方

合計受講料 25,000円(お一人様・2講座)

お申込者姓名：吉田 勉 様

貴議会名：富山県議会

〒930-0116

住所 富山市追分茶屋49-3

TEL 080(9804)7620

FAX 076(482)2078

備考 領収書宛名を「富山県議会 公明党」さま

【受講料の事前振込みのお願いと振込みに係る注意事項】

セミナー受講料は、セミナー当日受付にて、現金でお支払いください。

【請求書及び領収書】

請求書は原則として発行しておりませんが、発行をご希望の場合はFax又はE-mailでご連絡いただければ発行いたします。

領収書につきましては、研修会当日に参加をお申込みいただいたお名前でお渡しさせていただきます。但し、お申し込みの際のお名前以外での記載をご希

議員・職員のための

保育待機児童問題と 小中高教育のあり方 in 東京



講師 千葉 喜久

【仙台大学教授、厚生労働省母子家庭自立支援事業評価委員】

東北大学大学院博士課程修了(学術博士)。秋田県庁、東北福祉大学准教授、東京有明医療大学教授を経て、現在、仙台大学教授、労働省母子家庭自立支援事業評価委員、福島県児童家庭専門員等として活躍中。著書に「思春期子ども相談の心」(中央法規)、「21世紀福祉への挑戦」(編著(きょうせい))等多数。

保育待機児童問題と 自治体の役割

10/26(木) 10:00~12:30

小中高教育の問題解決と 教育委員会のあり方

10/26(木) 14:00~17:00

1. 待機児童問題とは

- (1) 怒るおやたちの言い分
- (2) 問題の背景
- (3) 政府見解の誤りとその認識

2. 進まない保育所整備

- (1) 子どもの鳴き声は騒音か
- (2) 地域エゴで進まない保育所づくり
- (3) 進まない保育所の株式会社化
- (4) 多様化する保育ニーズ

3. 保育の人材養成と確保

- (1) 保育士職員の不足と質の低下
- (2) 保育士の低賃金
- (3) 保育士養成課程の課題
- (4) 保育職場の閉鎖性

4. 待機児童対策と自治体の役割

- (1) 家族子育てから社会的子育て
- (2) 子育て支援と住民参加
- (3) 多様な保育サービスで待機児童の解消
- (4) 議員活動に期待すること

1. 子どもを取り巻く教育環境

- (1) いじめ、不登校の増加
- (2) 学力格差の拡大
- (3) 高校中退者の増加
- (4) 夢と希望を失った子どもの姿
- (5) 親らしくない親の出現

2. なぜ、いじめは根絶できないのか

- (1) 頼りに出来ない学校、教師
- (2) 力にならない教育委員会
- (3) いじめは犯罪
- (4) いじめ教育、人権教育の不足
- (5) 誰のための先生、教育委員会

3. 学校教育現場の危機

- (1) 問題解決力のない教員
- (2) 教員採用は大丈夫?
- (3) 子どもが信頼できない教師
- (4) 教育委員会・教育庁は必要?
- (5) 保護者は教育の消費者?

4. 学校教育の未来を拓くために

- (1) 学力日本一で消滅する秋田県
- (2) 教育力で地域の再生は可能か
- (3) 自立できない若者
- (4) 国家戦略としての学校教育
- (5) 地方消滅と教育政策

付録 敷居が高い教育委員会の改革のために

お申込みはホームページからお願いいたします。

議会総研

検索

※ホームページからお申込みいただけない場合は、
下記FAX申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

<http://www.gikaisoken.jp>

FAX 申込書 ➡ 03-6912-2280

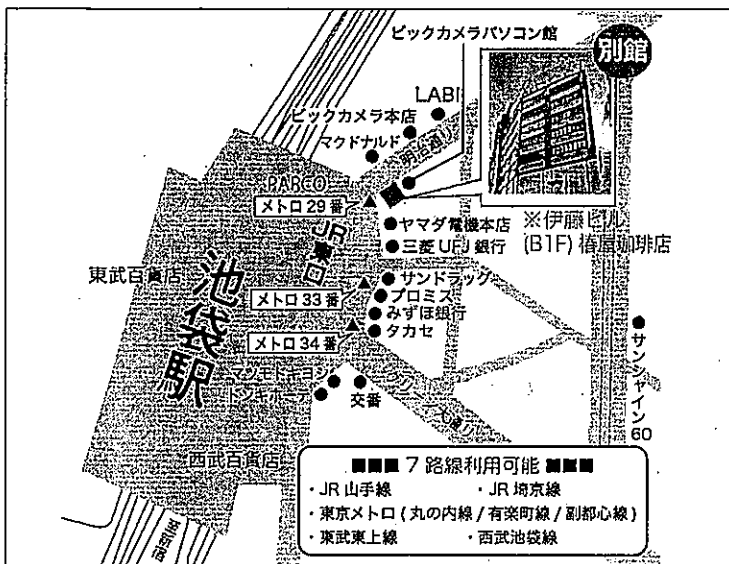
参加されるセミナーのチェックボックスに
 をお願いいたします。

フリガナ	ヨシダ ツム
お名前	吉田 勉
貴議会名	富山県議会
領収書 お宛名	富山県議会 公明党
ご住所	(〒930-0116) 富山市 連分茶屋49-3
TEL	([REDACTED])
FAX	(076) 482-2078
E-mail	@

10月26日(木)10:00~12:30
保育待機児童問題と自治体の役割

10月26日(木)14:00~17:00
小中高教育の問題解決と教育委員会のあり方

受講料は受講確認書到着後、事前にお振込をお願いいたします。★キャンセルは7日前までにメール又はFAXにてご連絡下さい。
お申込み後、事務局から受講確認書をメールまたはFAXにてご送付させていただきます。受講確認書をご覧いただき、
事前に口座にお振込をお願いいたします。※ホームページでのお申込の方がスムーズに対応できます。



受講料
各講座 15,000円(税込)
2講座受講 25,000円(税込)
(連続した講座に限る)

開催場所 アットビジネスセンター池袋駅前別館
JR山手線、埼京線、東武東上線、西武池袋線
地下鉄丸の内線/有楽町線/副都心線
池袋駅東口地下鉄29番出口 徒歩10秒

お問い合わせ・事務局

整理番号	会派・議員名 公明党 吉田 勉
活動名称	富山県議会 砂防議連による 県外視察
目的	神通川水系の砂防工事と現地視察
日程	平成29年11月8日(水)～平成29年11月9日(木)
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	① 洞谷、下から流路工、地獄平砂防えん堤 ⑤ しのび砂防えん堤 ② 奥飛騨砂防壅 ④ 平湯大滝(流谷流路工) ③ アルプス大橋、銅平ハリボテ(外ヶ谷) ⑥ 白谷砂防えん堤群 ④ 新根高渓流保全工
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	国土交通省 北陸地方整備局の神通川水系砂防事務所 所長の専任 同行者 富山県庁 土木部 砂防課長 以下 3名
行程・活動内容 ① 洞谷、下から流路工、地獄平砂防えん堤 流路工周辺の景観と資源の有効活用を兼ねて床固工、帯工、護岸、魚道と河原に石を巨石と利用して 造り、河川と親しむように親水護岸を設置した。 ② 奥飛騨砂防壅 1954年4月に廃止となった旧中尾出張所庁舎を活用し、奥飛騨地域の砂防事業と理解を促すことを目的 として、砂防資料館と開設した。 ③ アルプス大橋、銅平ハリボテ(外ヶ谷) 外ヶ谷の砂防事業は、当時給所が設置された昭和29年5月に外ヶ谷第1号砂防えん堤に着手し、現在まで 砂防えん堤は基、山腹工 A=33000m ² 、護岸工 L=125m 等を整備し、谷の安定化を図ってきた。 ④ 新根高渓流保全工 景観と親水性等を配慮し、土砂災害に対する安全の確保を図るため、異常な流出土砂と安全に 流出させるとともに、流出土砂の抑制を図る土砂災害防止施設(渓流保全工)の整備を行っている。 ⑤ しのび砂防えん堤 神通川流域、一夏に根・木正・柏谷地帯と土砂災害が頻発する平湯川の最下流の砂防えん堤であり、地域住民の安全を 確保し、平湯川の豊か自然と親しむ渓流空間を創出し、地域振興の拠点となることを目指して建設された。 ⑥ 平湯大滝(流谷流路工) 観光地であることから景観配慮として、流谷上流砂防えん堤は間知石積、流路工の階段護岸は間知石で 完成、一部の床固工のコンクリート表面は化粧型枠で施工された。自然環境で親水性に配慮した砂防施設となっている。 ⑦ 白谷砂防えん堤群 土石流が頻発する白谷において、発生源対策として、砂防えん堤を整備することで、観光地(砂防温泉)の 保全を図るとともに、幹線道路・広域物流ネットワーク(47号線)の機能を確保。	

※日帰りの政務活動を含む。

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

富山県議会 砂防事業促進議員連盟 による神通川水系砂防工事現地視察
 H29年11月8日(水)～11月9日(木)

① 洞谷、たから流路工、地獄平砂防えん堤 ④ 早湯大滝(滝谷流路工)
 ② 奥飛騨砂防塾 ⑤ 白谷砂防えん堤群
 ③ アルプス大橋、鍋平ハツ和十(外ヶ谷)
 ④ 新穂高溪流保全工
 ⑤ しのび砂防えん堤

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		貸切バス代	6,500円
	宿代	8,500円	1/8(水)～泊
	(合 計)	15,000円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書

富山県議会議員
吉田 勉 様

金15,000円

ただし、11月8日から9日に実施した神通砂防視察の参加者負担金として
上記の金額を受領しました
(内訳 バス借上料 6,500円、宿泊料8,500円)

平成29年11月20日

富山県議会砂防事業促進議員連盟
会長 中川 忠昭

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年12月1日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>広報費</u> ・事務費・人件費
------	------	--

(事業内容)

県政報告制作費
H29年9月議会

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		県政報告制作費	200,000円
	企画編集料	60,000円	
	封筒制作費	50,000円	5000部作成
	消費税	24,800円	8%
	(合計)	334,800円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

領 収 証

富山県議会 谷明彦様

16
2007年 月 日

¥334,800-

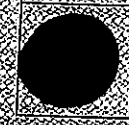
内訳
数量
単価
金額
その他

但し
上記の金額正に領収が完了する

三ノト印刷社

〒931-8602 富山県富山市千原町
TEL & FAX (076) 777-7777

係印



請求書

No. _____

29年 11月 日

富山県議公 公明党 様

三ナト印刷社

代表 山田 浩一 郎

〒931-8334 富山市 三輪町2丁目1番地

TEL&FAX (076) 437-5777

下記の通り御請求申し上げます

合計金額 ¥334,800

月日	品名	数量	単価	金額	摘要
1	県政報告	500部		200,000	
2	企画編集料			60,000	
3	封筒 長-3	500部		50,000	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
小計				314,000	
消費税				24,800	
合計				334,800	

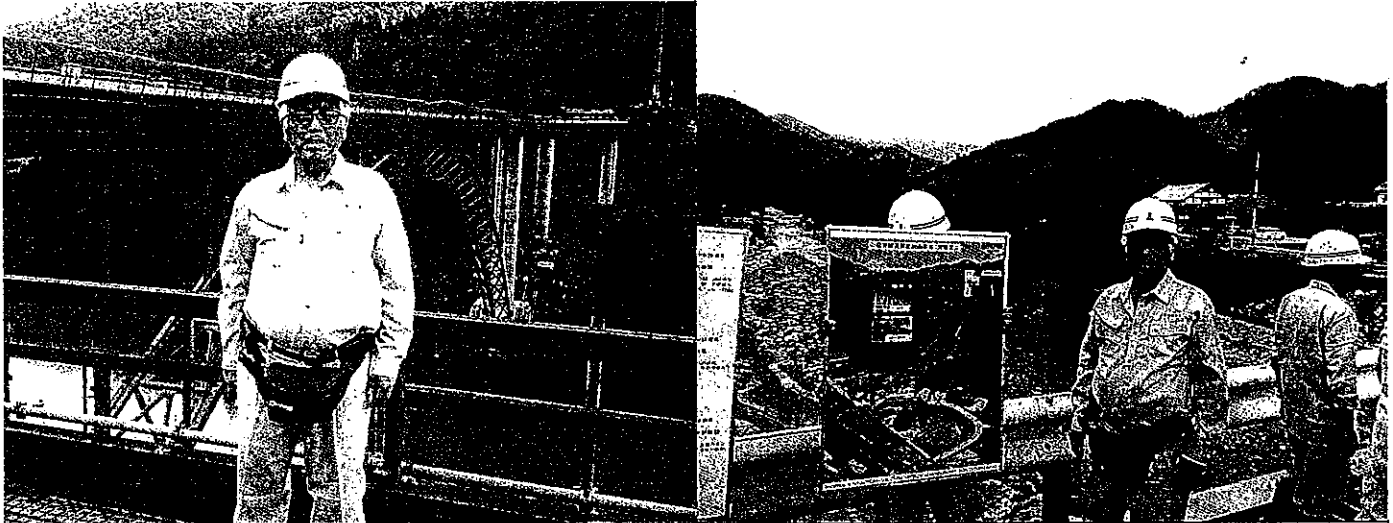
取引銀行 北陸銀行奥田支店 (普) 0208690

県政報告



◆公明党富山県議会議員 県政報告 ◆発行 / 富山県議会公明党 (平成 29 年 9 月)
〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 TEL (076) 444-3373

◆砂防議連による利賀ダム建設事業・利賀村上百瀬地内の土砂災害の現地視察



利賀ダムは、庄川の右支川である利賀川において、河口より約40km、庄川合流点より8kmの位置に建設を計画している多目的ダムです。ダムサイトの地形は谷幅が狭く、左右両岸ともに急傾斜のV字谷の様相を呈しており、ダムに適した地形になっています。ダムの型式は重力式コンクリートダムです。

南砺市利賀村上百瀬の旧利賀スキー場の地滑り現場は、発生から約11カ月経過していますが、富山県による被害拡大防止対策工事が順調に進んでいます。ただ、台風や集中豪雨に見舞われれば再び土砂が緩む可能性があり、目標とする「降雪前の工事完了」へ気の抜けない作業が続いています。

◆平成 29 年 9 月富山県議会・農林水産委員会での「吉田つとむ」の質問より

問1 九州北部豪雨の教訓と本県の防災・減災対策について

(1) 豪雨が相次ぐ中、流木や土砂の流出により大きな被害が生じているか、流木の発生原因となる斜面崩壊などの土砂災害の恐れがある箇所の把握はできているのか、現在の状況と今後の取組みについて、所見を問う。

[加藤土木部長 答弁]

- 1 今回の九州北部豪雨による土砂災害は、過去最大級の流木を伴うもので、件数については福岡県をはじめ九州の6県で計307件発生し、被害については20名の方が亡くなり、266戸の人家に損壊があった。
- 2 こうした土砂災害が発生する恐れのある箇所についてハード・ソフト両面からの対策を講じていくため、土砂災害防止法では、県が基礎調査を行い、その箇所を把握し、土砂災害警戒区域等として指定することとなっている。さらに市町村が土砂災害ハザードマップを作成し、土砂災害の恐れのある箇所を周知することとなっている。
- 3 現在、広島県では、こうした箇所を把握するための調査を平成30年度の完了を目途に進めており、速やかな調査を行うため、レーザー測量を導入したと聞いている。
- 4 一方、本県においては、既に平成26年度までに基礎調査を実施し、箇所の把握を終えており、区域の指定もほぼ完了している。ハザードマップも全市町において作成・配布され、住民への危険性の周知や土砂災害の前兆現象などの情報提供が行なわれている。
- 5 土砂災害から人命を守ることは極めて重要であることから、今後とも、防災訓練や説明会等の機会を通じ、区域などの周知に努めてまいりたい。

問1 九州北部豪雨の教訓と本県の防災・減災対策について

(2) 土砂災害・流木発生の予防のため、砂防堰堤の整備や急傾斜地崩壊対策、地すべり対策等をどのように進めていくのか、問う。

【加藤土木部長 答弁】

- 1 本年の九州地方をはじめ、近年の記録的な集中豪雨などにより、全国各地で多くの土砂災害が発生しており、砂防堰堤等の整備の必要性がますます高まっているところである。
- 2 本県の重要整備対象となっている土砂災害危険箇所の整備率は、全国平均よりは高いものの、平成28年度末の整備率は約34%にとどまっている状況にある。
- 3 本県では、
 - ①近年土砂災害が発生した箇所や、
 - ②保全対象人家が多い箇所や要配慮者利用施設のある箇所などにおいて、土砂や流木を捕捉する砂防堰堤や、崩落する土砂を受け止める待受け擁壁、地すべりの要因となる地下水を排除するための集水ボーリングなどの整備を、優先的に進めているところである。
- 4 今後とも、県民の生命や財産を守り、災害に強い県土の形成を図るため、引き続き、国に予算の確保を働きかけ、土砂災害に対する的確な警戒避難などのソフト対策とともに、重要整備箇所における施設整備の更なる推進に努めてまいりたい。

問1 九州北部豪雨の教訓と本県の防災・減災対策について

(3) 大規模水害に備えて、想定し得る最大規模の降雨を対象とした浸水想定区域図の作成、避難勧告発令に着目したタイムラインの整備等のソフト対策もあわせて進めるべきと考えるか、現状と今後の進め方について、問う。

【加藤土木部長 答弁】

- 1 近年、想定を超える降雨による浸水被害が全国で多発していることから、平成27年7月に水防法が改正され、河川管理者は、「想定しうる最大規模」の降雨量を対象にした洪水浸水想定区域図を作成し、公表することとされた。
- 2 これをうけ、神通川などの県内の直轄河川については、今年の4月までに公表され、県管理河川については、作成対象となる41河川のうち、緊急度や重要度を考慮し、現在、滑川市の沖田川及び中川など17河川で、作成を進めているところである。さらに、14河川については、年内に着手することとしており、残る10河川も、来年度以降、順次、作成していくこととしている。
- 3 タイムラインについては、本県の直轄河川流域等の13市町村で策定されており、今後、国等において、実態に合ったものになっているか検証し、改善を図ることとされている。
県管理河川に係るタイムラインについては、流域特性から、短時間で水位が上昇する傾向にあり、降雨開始から河川が氾濫するまでの時間が短い場合が多く、水害発生前に行う防災行動に必要な時間が十分に確保できない場合もあると考えており、その運用について、研究することとしている。
- 4 今後とも、地域の安全・安心の確保のため、国や市町村と連携を図り、タイムラインへの対応や浸水想定区域図の作成などソフト対策の推進に努めてまいりたい。

問1 九州北部豪雨の教訓と本県の防災・減災対策について

- (4) 事前防災の推進について・・・災害時の事業継続・復旧に備えた行動手順を定める「事業継続計画」について、県内企業における策定状況はどうか、また、今後策定支援にどのように取り組んでいくのか、問う。

【伍嶋商工労働部長 答弁】

- 1 事業継続計画の策定は、企業が自然災害等の緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限に抑え、中核となる事業の継続や早期復旧を可能とするために重要なことである。
- 2 本年5月に、民間の信用調査会社が行ったBCP策定状況に関する調査によると、富山県では、「策定している」、「現在、策定中」、「策定を検討している」企業が42.3%で、同様の調査があった昨年と比べ、2.3ポイント増加している。
一方、未だ策定していない企業が半数以上を占めており、策定していない理由としては、①スキル・ノウハウがない、②策定する人材を確保できない、③実践的な計画を策定することが難しい、などが挙げられている。このため、県内の商工会、商工会議所では、中小企業向けのBCPセミナーを実施し、BCP策定への意識付けや具体的な計画立案の支援に取り組まれている。
- 3 県では、これまでもBCPモデル事例集を作成し、その普及に努めるとともに、昨年度、「中小企業に関する県民会議」の専門部会において、県内中小企業のBCP策定状況や、必要性等について議論し、その重要性を再認識していただいた。さらに、富山県新世紀産業機構内に設置している中小企業支援センターや国のよろず支援拠点では、BCPの専門家を配置し、企業からの相談に対応している。
- 4 県としては、今後とも、県内企業のBCP策定状況の把握に努めるとともに、経済団体や金融機関等とも連携を図りながら、その策定を促進してまいりたい。

問2 九州北部豪雨の教訓と本県の防災・減災対策について

- (5) 事前防災の推進について・・・災害時の受援体制構築に向けて、現状の課題をどう捉え、その整備に向けた対策をどのようなスケジュールにより進めていくのか、問う。

【山本総合政策局長 答弁】

- 1 昨年4月に発生した熊本地震では、応援側と受援側との間でミスマッチが生じるなど混乱が見られたため、本県で大規模な災害が発生した場合に被害の拡大を最小限にし、速やかな応急・復旧につなげられるよう、去る5月、「災害時受援体制検討ワーキンググループ」を設置し、災害時受援体制の構築に向けた検討を始めたところである。
- 2 このワーキンググループでは、「国の災害時受援体制に関するガイドライン」の内容や他県の取組みも踏まえ、①組織・体制については、受援の総合調整を行う組織がなく、災害対応を行う各部門に受援担当者が配置されていない、②災害対応業務については、業務ごとの応援側・受援側の役割や物資拠点の運営・輸送方法等が明確でない、③活動拠点・物資拠点については、人的資源の受入拠点や物的資源の受入・輸送拠点の具体的運用が明確でない、などの課題と今後の方向性を整理いただいたところである。
- 3 その後、整理いただいた課題と今後の方向性に沿って、実務者から成る「実務者検討チーム会議」において、重要課題の抽出等を行ったところであり、今後は、これら重要課題への対応等について検討を重ねたうえで、平成30年度から計画づくりに着手できるよう、年度末にはワーキンググループにおいて、「指針」について議論いただき、とりまとめたいたいと考えている。
- 4 県としては、市町村や防災関係機関との連携を強化し、災害時には広域的な人的・物的支援を迅速かつ的確に受け入れられるよう、実効性のある災害時受援体制を構築してまいりたい。

問3 自殺対策について

- (1) 自殺対策として、相談窓口の充実に加え、危険性が高い人に対する「介入」が必要と考えるか、県として、その必要性をどう認識し、今後どのように対応していくのか、問う。

【前田厚生部長 答弁】

- 1 自殺対策は、①自殺の危険性が低い段階で対応する「事前対応」、②現に起こりつつある自殺発生の危険に介入し、自殺を防ぐ「自殺発生の危機対応」、③自殺や自殺未遂が発生した場合に、新たな自殺を発生させない「事後対応」、の段階ごとに対応する必要があるとされている。
- 2 自殺の要因としては、うつ病の割合が最も高いなど、自殺と精神疾患は強く関連している。このため、「介入」については、精神疾患があるなど自殺の危険性が一般よりも高いと考えられる方を早期に発見し、早期に対応することによって自殺を防ぐ観点から重要であると考えている。
- 3 県では、相談体制の充実強化などによる早期発見、早期対応に取り組んでいる。具体的には、相談体制の充実強化については、①心の健康センターや厚生センターにおける相談や、②NPO法人による年間を通じた休日・夜間の電話相談、③自殺対策に取り組む民間団体による相談支援など、身近な相談窓口の充実と関係機関との連携強化に努めている。
また、介入については、①厚生センター等において精神障害者等への訪問指導を行うとともに、②精神科救急情報センターを設置し、医療機関への受診につなげているほか、③うつ病やアルコール依存症の早期発見と早期治療のための内科医等を対象とした研修会などを開催している。
- 4 県としては、引き続き、自殺の危険性が高い方に適切な支援ができるようしっかりと取り組んでまいりたい。

問3 自殺対策について

- (2) 若い世代の自殺対策は、最優先で対処すべき課題であると考えるか、県内の状況をどう捉え、今後どのように取り組んでいくのか、問う。

【石井知事 答弁】

- 1 将来ある命が自殺によって失われることは、極めて残念であり、自殺対策は、社会全体で取り組むべき重要な問題と認識している。
本県の40歳未満の若年層の自殺者数は、連続して減少しているものの、自殺死亡率は、20代、30代とも全国平均を上回っており、特に男性でその傾向が顕著である。
- 2 若年層の自殺の原因としては、10代では学校問題や健康問題が多く、20代、30代では健康問題のほか、勤務問題が多い傾向がある。
- 3 このため県では、平成21年に策定した「富山県自殺対策アクションプラン」に基づき、若い世代の自殺対策について総合的に取り組んできている。具体的には、
 - ①学校のいじめの対応では、「いじめの発見と学校の組織的な対応に係る留意点」を市町村教委や県立学校に周知しているほか、関係機関や専門家の活用として、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の相談体制の充実を図っている。
 - ②20代、30代の健康問題で最も多いうつ病については、ホームページ等による正しい知識の普及啓発や、早期発見・治療に向け、内科医等を対象とした研修会を開催している。また、産後うつの効果的な予防対策に向け、リスク要因の調査・分析と普及啓発に必要な経費を今回提出している
9月補正予算案に計上している。
 - ③さらに、過重労働の防止については、県広報誌「労働とやま」や「労働ルールブックとやま」を活用した周知・啓発、「労働相談ダイヤル」における労働問題全般に関する相談への対応など、労働局と連携して取り組んでいる。
 - ④加えて、県内の大学生や中小企業等の従業員等を対象としたメンタルヘルズ講座を開催するとともに、自殺予防に関するホームページを運営し、普及啓発を推進している。
- 4 県では、今年度、新たな自殺対策計画を策定することにしていく。今後とも、若い世代をはじめとした県内の自殺者ができる限り少なくなるよう、県民一丸となって自殺防止対策を推進し、県民が健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会となるよう努力してまいりたい。

領収書貼付台紙

(ならないように貼付すること。)

料金別納
郵便



あなたの声を「実現」します

富山県議会議員

吉田つとむ



〒930-0116 富山市追分茶屋49-3
TEL.076-434-3909 FAX.076-482-2078
E-mail: [REDACTED]

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年12月1日

党派・議員名 公明党 吉田勉

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会費・資料作成費・資料購入費	広報費・事務費・人件費
------	------	--------------------------	-------------

(事業内容)

県政報告書(9月議会)郵送料

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		宅郵便(郵便料金)	136345円
	折込料金	42735円	
	(合 計)	179080円	

《領収書貼付特》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

（ならないように貼付すること。）

DA 368959



領 収 証

富山県議会 公明党 様

領収金額 **¥136,345**
(うち、消費税額等 ¥10,175)

印紙税申告納
付につき京橋
税務署承認済

但し、11月度宅急便他運賃料金として
上記の通り領収致しました。 29年 11月 17日

本 社 ヤマト運輸株式会社
東京都中央区銀座2-18-6

発行事業所 富山主管支店
0766-55-1934

※ 領収印のないもの及び手書き又は訂正したものは無効です。

領 収 証

富山県議会公明党様 29年 11月 17日

★ 4 427,345

但
上記正に領収いたしました

内 訳 メール封入代金

税抜金額 XXXXXXXXXX

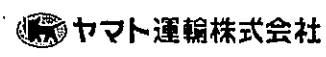
消費税額等 (%) XXXXXXXXXX

ご 請 求 書

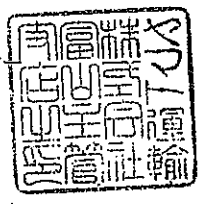
〒 930-0116
富山県 富山市 追分茶屋 49-3

ご請求年月日 平成29年11月12日
お支払予定日 平成29年11月30日
支払方法 集 金

富山県議会 公明党 様



富山主管支店
担当店：富山呉羽センター



〒939-0285
射水市
本開発305-1

請求書についてのお問合せ：
0766-55-1934
集荷・配送についてのお問合せ：
0570-200-000 (ナビダイヤル)

ホームページアドレス
<http://www.ku-onekoyameto.co.jp>

下記の金額をご請求申し上げます。

ご請求金額	¥ 1 3 6 , 3 4 5
-------	-----------------

(うち消費税額等 ¥10,175)

請求書No.	95256	お客様コード	[REDACTED]
--------	-------	--------	------------

銀行振入、口座振替も承っております。詳しくは弊社担当までご相談下さい。

銀 行	支 店	普通預金	口座名義
*****	*****	*****	*****

044-120

受付日	原票No.	扱 店	個 数	運賃合計	運 賃	立替金	保 険 料	消 費 税 額 等
1112	7821202852	クローネコDM便	2035	136345	126170	0	0	10175

	個 数	運賃合計	運 賃	立替金	保 険 金	消 費 税 額 等
小 計	2035	136345	126170	0	0	10175
合 計	2035	136345	126170	0	0	10175

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

備品購入

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		キルイン7カートリッジ	4395円
	〃	5842円	11684円 x 1/2 按分
	(合計)	10237円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

DCMカーマ

呉羽店 076-434-4000

営業時間： 9:30~19:30
DCMカーマ新規入会キャンペーンのご案内
お得なDCMカードに入会されますと
もれなく1000ポイントプレゼント!
現金でもポイントが貯まります!

クレジット明細

2017年11月12日(日)12:10 レジ0001

116 キヤノン 純正インク	
4960999782300	¥3,002
116 キヤノン 純正インク	
4960999782287	¥5,788
2コX単2894	

合計	¥8,790
(内税タイヨウ	¥8,790)
(内税	¥651)
(税合計	¥651)

クレジット	¥8,790
お釣り	¥0

お買上点数 3点
 -----クレジット伝票タイトル開始-----
 クレジット売上票
お客様控え
 この控えは 大切に保存して下さい
 -----クレジット伝票タイトル終了-----

カード会社 055-027
DCMカード
 会員番号 XXXXXXXXXXXX6938
 有効期限 ****年**月

お取扱日	2017年11月12日	伝票番号	03550
商品区分	0000990	取引内容	お買上
処理通番	3550	取扱区分	110
承認番号	4703550	金額	¥8,790
ご案内		税送料	¥0
		合計	¥8,790

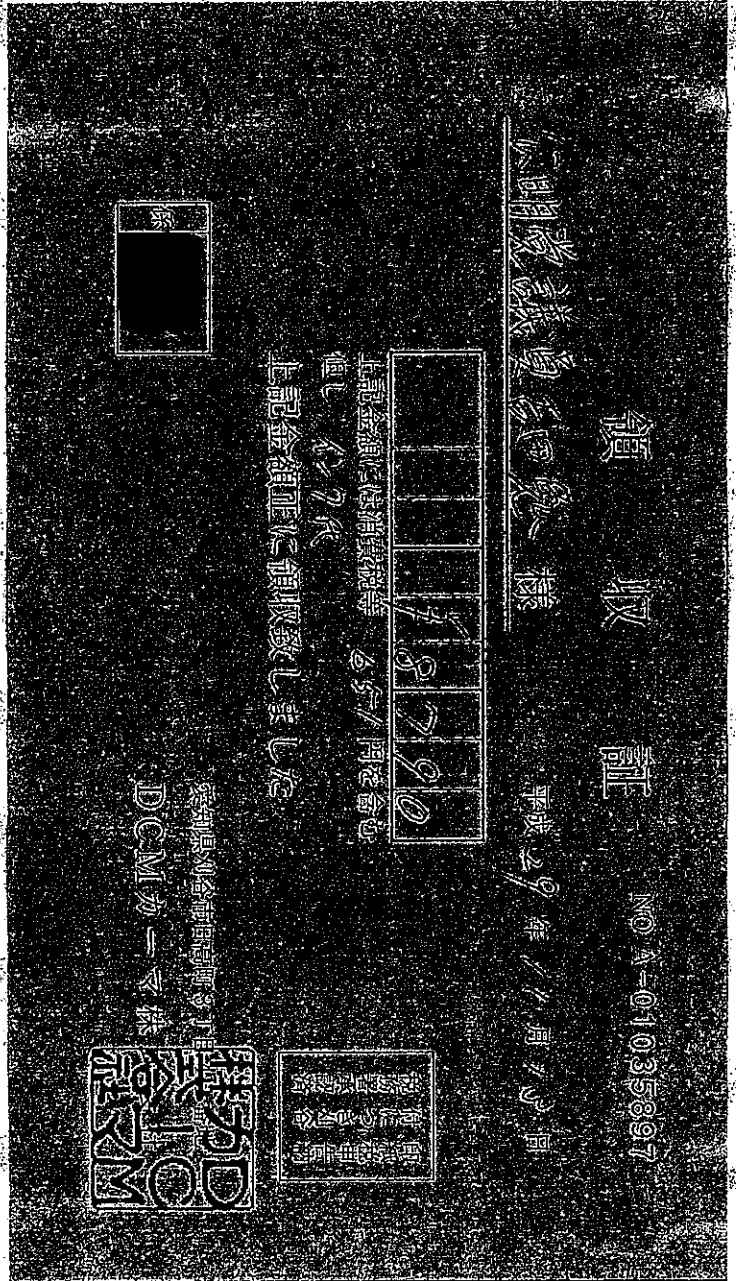
[一括払い]

4000-3550-00-00-1112-----

加盟店
 DCMカーマ
 呉羽店



シートNo3174 店No00803



領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

DCMカーマ

呉羽店 076-434-4000

営業時間： 9:30~19:30
カーマ新規入会キャンペーンのご案内
お得なカーマカードに入会されますと
もれなく1000ポイントプレゼント！
現金でもポイントが貯まります！

領収証

2017年11月21日(火)17:57 印0001

J16 キヤノン 純正インク 4960999971308 2コX単3002	¥6,004
J16 キヤノン 純正インク 4960999904887	¥1,382
J16 キヤノン 純正インク 4960999918501	¥4,298
合計	¥11,684
(内税タイヨウ)	¥11,684)
(内消費税)	¥865)
(税合計)	¥865)

現計 ¥11,684
お釣り ¥0
お買上点数



シートNo7478

店No00803

富山県議会 公明党 様

領収証

2017年11月21日(火)

¥11,684-

上記正に領収しました。消費税等 865円を含みます)
 但し、商品代 (448-0046 愛知県刈谷市日高町4-101
 DCMカーマ 呉羽店
 TEL 076-(434)-4000
 ※保管上のお願いは、印刷面を内側に折って保管願います。

0001-8675-7478

領収証明細

2017年11月21日(火)17:57 印0001

J16 キヤノン 純正インク 4960999971308 2コX単3002	¥6,004
J16 キヤノン 純正インク 4960999904887	¥1,382
J16 キヤノン 純正インク 4960999918501	¥4,298
合計	¥11,684
(内税タイヨウ)	¥11,684)
(内税)	¥865)
(税合計)	¥865)
お買上点数	4点



シートNo7478

店No00803

12-4

政務調査費対象事業実績報告書

平成29年12月1日

会派・議員名 公明党 吉田 颯

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費	資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------	-------------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額 (円)	備 考
	北日本新聞	6144円	10月、11月分
	富山新聞	6144円	10月、11月分
	赤旗	3497円	10月分
	(合 計)	15785円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を揃し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

2017年11月分 領収証 発証No 00004567-201711-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額
¥3,072
 (消費税込み)

※各社の領収書は、各自が領収書において発行し、領収書は、各社が各自の発行した領収書に準じて発行されています。

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店
富山県富山市吉作486-38
076-436-2618

毎度ご購読有難うございます
上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞



領収証

17年 11月分 29年11月30日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売(株)
富山センター 呉羽茶屋販売所
富山市黒崎588
TEL 076-493-1160
FAX 076-493-1140

集金担当



購読料のお支払いは①金融機関の口座から
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。


日本共産党発行の **しんぶん赤旗** 領収書

吉田 勉 様

新聞・雑誌名	部数	金額	3,497 円
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497	

2017 年 10 月分
上記の金額たしかにいただきました。
ありがとうございました。

930-0982
富山市荒川2丁目24-12
日本共産党富山県委員会
TEL 076-432-8383

領収日 / 扱者 

領収証 17年 10月分 29年10月11日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額 合計金額 3,072

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)
富山センター 吳羽茶屋販売所
富山市黒崎588
TEL 076-493-1160
FAX 076-493-1140

上記金額正に領収致しました。

集金担当 

購読料のお支払いは①金融機関の口座から
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

2017年10月分 領収証 発証No 00004567-201710-1
吉田 勉 様


銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額
¥3,072
(消費税込み)

新聞購読料は口座振替が便利ですが
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店
富山県富山市吉作486-38
076-436-2618

毎度ご購読有難うございます
上記金額正に領収致しました
年 月 日 領収

北日本新聞 

領収印 

12-5

政務調査費対象事業実績報告書

平成30年1月18日

会派・議員名 公明党 吉田 勇

整理番号	用途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費	事務費・人件費
------	------	-------------------------------	---------

(事業内容)

備品購入

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		717P7P11V	691円
	200-用紙	637円	1274円÷2 (〃)
	(合計)	1,328円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

政務調査費対象事業実績報告書

平成30年1月18日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	用途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>広報費</u> ・事務費・人件費
------	------	--

(事業内容)

県政報告書(平成29年11月定例会)郵送料

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		宅配便 運賃料金	136,010円
	折り込み料金	42,630円	
	(合 計)	178,640円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

DA 709978

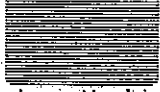
領 収 証

富山県議会 公明党 様

印紙税申告納
付につき京橋
税務署承認済

領収金額 **¥136,010**
(うち、消費税額等 ¥10,150)

但し、1月度宅急便他運賃料金として、
上記の通り領収致しました。 2018年 1月 7日



扱者印

本 社 ヤマト運輸株式会社
東京都中央区銀座2-16-10

発行事業所 富山主管支店
0766-55-1934

扱者印のないもの及び手書き又は訂正したものは無効です。

1-2

ご請求書

〒 930-0116
富山県富山市追分茶屋49-3

富山県議会 公明党 様

平素はヤマト運輸をご利用いただきまして、誠に有り難うございます。
平成30年 1月のご請求書をお届けさせていただきました。



ヤマト運輸株式会社

富山主管支店
担当店：富山呉羽センター
〒939-0285
射水市
本開発305-1

請求書についてのお問合せ：
0766-55-1934
集荷・配送についてのお問合せ：
0570-200-000 (ナビダイヤル)

ホームページアドレス
<http://www.kuronekoyamato.co.jp/>

領 収 証

富山県議会公明党様

2018年 1月 7日

★ ¥ 42,630 -

但 メール封入代
上記正に領収いたしました。

内 訳 2000x@21分

税抜金額

消費税額等 (%)

1-2

請 求 書

2018年 1月 7日 No. 1

富山県議会公明党様

下記のとおり御請求申し上げます

税込合計金額				税率	消費税額等	
				%		
月日	品 名	数量	単価	金額 (税抜・税込)		摘要
1/7	メール封入作業	2000	21	42,630		
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
合 計				42,630		

政務調査費対象事業実績報告書

平成30年1月18日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>広報費</u> ・事務費・人件費
------	------	--

(事業内容)

県政報告 制作費
平成29年 11月定例会

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	県政報告制作費	20,000円	5000部作成
	企画・編集料	6,000円	一式
	封筒制作費	5,000円	5000部作成
	消費税	24,800円	8%
	(合計)	334,800円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)



領 収 証

16

山田 幸一郎様

2016年12月27日

4334,800

品名
数量
単価
金額
消費税
合計

但し、上記の金額正に領収をさせていただきます。



三ノト印刷社

代表 山田 幸一郎
〒020-0834 茨城県土浦市千原南2-2-10 (北青葉事務所)
TEL/FAX(029) 497-5777



1-3

請求書

No. _____

29年 12月 27日

富山県議会公明党 様

三ノト印刷社

代表 山田 幸一郎

下記の通り御請求申し上げます

〒931-8334 富山県市川町2丁目1-1
TEL & FAX (076) 457-5777

合計金額 ¥334,800

月日	品名	数量	単価	金額	摘要
1	県政報告	500部		200,000	
2	企画編集料	1件		60,000	
3	教育力-72%	500部		500,000	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
小計				310,000	
消費税				24,800	
合計				334,800	

取引銀行 北陸銀行奥田支店 (普) 0208690

県政報告



◆公明党富山県議員会 県政報告 ◆発行 / 富山県議会公明党 (平成30年1月)
◆〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 Tel (076) 444-3373

◆富山県議会砂防事業促進議員連盟による神通川水系直轄砂防事業の現地視察



①「しのぶ砂防堰堤」は、高原川流域・一重ヶ根・村上・柏当地区を土砂災害から守る平湯川の最下流の砂防堰堤であり、地域住民の安全を確保し、平湯川の豊かな自然と親しめる溪流空間を創出し、地域振興の拠点となることを目指し建設しました。平湯川では、昭和33年台風11号の集中豪雨により大きな災害があり、土砂崩壊や土石流が頻発し、平湯川に多量の土砂を流入させています。

②「白谷砂防堰堤群」は、水源を白谷山(標高2188m)に発し、高山市奥飛騨温泉郷平湯・一重ヶ根地先で平湯川に合流する火山性崩壊地形の溪流です。流域は火山噴出物に覆われ大規模な崩壊地を有しているため、土石流が頻発し大量の土砂が平湯川へ流出しています。平成元年9月に発生した土石流は、下流で溪流を横断する国道471号線に土砂が流出し、一時不通となる。

◆平成29年11月富山県議会での「吉田つとむ」の質問より

問1 人づくり革命(教育費の負担軽減)について

(1) 子ども・子育て支援新制度がスタートし、保育所や幼稚園などの幼児教育・保育の無償化が多子世帯や低所得世帯などで段階的に進められてきたが、幼児教育・保育の無償化について、本県の現状と課題をどのように捉え、その必要性をどう評価しているのか、問う。

【前田厚生部長 答弁】

幼児教育・保育に対し、国では、子ども・子育て関連3法の附帯決議において、「新制度により、すべての子どもに質の高い学校教育・保育を提供できる体制を確保しつつ、検討を加え、その結果に基づいて所要の施策を講ずること。」とされ、年収360万円未満相当の世帯を対象に同時入所要件を撤廃して、第2子を1/2に軽減、第3子以降を無償化、市町村民税非課税世帯の第2子の無償化などの負担軽減が図られてきた。県では、こうした国の取組みに上乘せし、全国に先駆けて、平成27年度から第3子以降の保育料の無料化を実施し、市町村によってはさらに独自の施策が実施されている。

今年度実施した意識調査では、「子育てに役立つ施策」について、「保育料等の支援・軽減」とする回答が、52.8%から42.5%と低下し、無償化に向けた取組みによる一定の成果が出ているものと考えている。しかしながら、順位は1位であり、今後も経済的負担軽減は重要であると考えている。

こうした中、国においては、2兆円規模の「新たな政策パッケージ」の中で、「幼児教育・保育の無償化」について、方向性が示される見込みであり、これが実施されれば、これまで県が国に要望してきた「幼児教育無償化の実現」が大きく前進するものと考えている。

県では今年度、今後の子育て支援施策を検討するため、県民会議において議論いただいているところであるが、国の動きも踏まえ、今後とも子育て家庭の支援にしっかりと取り組んでまいりたい。

問1 人づくり革命(教育費の負担軽減)について

(2) 2018年度から本格実施される国の給付型奨学金で、県内の複数の高校で割り振られた推薦枠130人を超える応募希望者がいたと聞か、奨学金による大学等への進学支援を今後どのように進めていくのか、問う。

【渋谷教育長 答弁】

意欲ある若者などが経済的な理由に左右されることなく学ぶ機会を確保できるよう支援していくことは重要なことである。このため、大学生については、現在、日本学生支援機構が奨学金を貸与しているが、本県では、県単独で県民の子弟の大学生に対する無利子の奨学金制度を設けており、返済が困難な場合には、返還方法の相談に応じるなど個々の事情に配慮したきめ細かな対応も行っている。

また、子どもが3人以上の世帯については、所得基準を通常の1.5倍に緩和し、多子世帯にも配慮している。こうした中、国においては、低所得世帯の生徒の大学等への進学を後押しするため、給付型奨学金制度を創設し、来年度から本格実施するとされている。

この制度では、国が推計した非課税世帯の大学等への進学者数6万人に対して支援人数は2万人とされており、例えば、今年度、本県に割り振られた推薦枠130人に対し、191人から申請があるなど、大学等への進学を志す生徒全員を支援するには至っていない。また、給付額の面でも課題があると考えられることから、県では、この給付型奨学金の大幅な拡充など奨学金制度の更なる充実について、重要要望として文部科学省に働きかけている。

教育委員会としては、引き続き、国に奨学金制度の更なる充実について働きかけるとともに、国や県の奨学金制度の周知に努め、奨学金による大学等への進学支援にしっかりと取り組んでまいりたい。

問1 人づくり革命(教育費の負担軽減)について

(3) 転職・再就職など、学び直しによる働き手のキャリアアップの環境整備はどのように取り組むのか、問う。女性・高齢者など、誰でも希望に応じて学び直しかたき、必要なスキル(技能)を身に付けられるよう、職業訓練やリカレント教育、起業など、必要な支援を拡充すべしと考える。

【石井知事 答弁】

人生100年時代の到来が予測される中、新卒で就職した会社で定年まで働くという終身雇用慣行が当たり前でなくなり、多様で柔軟なキャリア選択が行われるようになっていわれている。特に、IoTやAIなどの技術革新が一層進む中で、時代の変化に応じたスキルを身につけることや、生涯を通じた学び直しが必要とされている。

こうしたことから、国においては、本年9月に「人生100年時代構想会議」を設置し、その中で、リカレント教育の抜本的な拡充や現役世代のキャリアアップ、女性や高齢者などの再就職支援など、誰もがいくつになっても、新たな活躍の機会に挑戦できるような環境整備の検討を開始したところである。

県では、これまでも、転職・再就職者の学び直しによるキャリアアップ支援のため、一般事務・IT・介護サービスなど多様な分野における職業訓練を行ってきた。

また、女性や高齢者への支援として、①職業訓練において女性が受講しやすいよう、短時間コースの設定や託児サービスの提供などを行うほか、②結婚・出産を機に離職した女性の再就職を支援するセミナーや、③煌めく女性リーダー塾の実施、④とやまシニア専門人材バンクにおいて、専門的知識や技術を有する人材と企業とのマッチングを図っている。さらに、⑤とやま起業未来塾の開催や、⑥若者・女性・シニアによる新商品の開発や新サービスの提供等の起業支援に取り組んでいる。

現在、国では、働き方改革の一環として、高度な人材を育成するため、来年度から、訓練期間を1年から2年とする職業訓練コースを創設することを検討されており、県としては、こうした制度の活用や、今後、構想会議で取りまとめられる基本構想の検討状況も注視しながら、リカレント教育の充実を含め、キャリアアップの環境整備に取り組んでまいりたい。

問2 中小企業対策について

(1) 中小・小規模事業者の人手不足・後継者問題について

(ア) 中小・小規模事業者の人手不足は深刻であるか、その人材の確保・育成に今後どのように取り組むのか、問う。

【伍嶋商工労働部長 答弁】

県内の有効求人倍率は、本年10月には1.83倍と全国上位の水準が続いており、中小企業・小規模事業者を中心に人手不足の状況にあると認識している。このため、県では、中小企業の人材確保対策として、Uターンを促進するため、①これまでのウェブサイトの開設や冊子の配布に加え、今年度は新たに学生食堂のトレーを活用した企業PRや県内中小企業による大学訪問会、県外大学との交流会や視察会を行い、中小企業の魅力を発信している。②今後さらに、社会人向けの大同窓会や大学3年生を対象とした企業研究会や合同企業説明会などを開催することとしている。

また、女性や高齢者の県内中小企業とのマッチングを促進するため、①本年9月の合同企業説明会において、仕事と子育ての両立支援企業などが出展するコーナーを初めて設置したほか、②「とやまシニア専門人材バンク」を通じて、多くの高齢者の就業を支援しており、今後さらに、生涯現役促進地域連携事業により、高齢者の活躍を促進していくこととしている。

さらに人材育成策として、企業への出前研修などのほか、今年度は新たに企業におけるカイゼン活動や課題解決を図る研修の新設や工場の自動化に対応した機器の導入とセミナーの開催などに取り組んでいる。県としては、今後とも、中小企業の人材確保や人材育成に向けて、積極的な対策に努める。

問2 中小企業対策について

(1) 中小・小規模事業者の人手不足・後継者問題について

(イ) 中小・小規模事業者の後継者問題について、本県の現状と今後の取組方針を問う。

【伍嶋商工労働部長 答弁】

県内企業の99.8%を占める中小・小規模企業の経営者のうち、60歳以上の経営者が過半数を占めており、高齢化が進んでいる。また、2016年に休廃業・解散した企業のうち約8割の経営者が60歳代以上となっており、その理由としては、後継者難によるものが相当数あると考えられる。このため、県では、これまでも、「事業引継ぎ支援センター」において、課題解決に向けた情報提供や、マッチング支援等を行ってきたが、今年度からは、専任の専門家を配置し、支援体制をさらに強化したところである。また、今年度中に、同センター内に「後継者人材バンク」を開設することとしているほか、来年度には、経済団体や金融機関等で構成される事業承継支援ネットワークを構築し、連携体制の強化やプッシュ型の支援を行うこととしている。

さらに、県内企業の実状に沿った事業承継への支援策について検討を行うため、関係機関からなる検討委員会を開催するとともに、課題やニーズを把握するためのアンケート調査を実施しており、今後、例えば、県の制度融資の拡充や事業承継の準備費用に対する支援のあり方などを検討したいと考えている。今後とも、本県の基幹産業であるものづくり産業をはじめとする中小・小規模企業の実態把握に努めるとともに、その経営資源や技術力を次世代へ確実に引き継ぐことができるよう、後継者育成と円滑な事業承継に対する支援に積極的に取り組んでまいりたい。

問3 働き方改革について

(1) 中小企業の働き方改革について、その実態を踏まえ、今後どのように取り組むのか、問う。

多重的な下請け構造や労務管理制度の未整備、発注者との関係で労働時間の短縮が難しい業種など、企業の課題に応じたきめ細やかな対応が必要と考える。

【石井知事 答弁】

中小企業は、大企業よりも人手不足感が強く、また、今年度、県が実施した調査でも、従業員規模が小さいほど、働き方改革の取組みが進んでいない傾向が見られた。中小企業において、長時間労働の是正や柔軟で多様な働き方、

生産性の向上等の働き方改革を推進するためには、取引先企業や消費者を含む様々な立場における働き方改革の必要性への理解の促進をはじめ、業種や規模に応じた対応が必要と考えている。このため、県では、①働き方に関する様々な分野のご意見をお聴きするため、とやま県民活躍・働き方改革推進会議を設置したほか、②まずは、経営者の意識啓発を図るため、イクボス企業同盟とやまのネットワークの拡大や経営者向けセミナーを開催している。また、業種や規模で事情が異なることから、③課題解決に向けた実践的な助言を行うため、人事労務担当者向けの働き方改革推進講座や、業界毎の研修会等へのアドバイザー派遣を行っている。特に、④建設業においては、県としても発注の平準化に率先して努めるとともに、今年度から、週休二日制モデル工事の試行に取り組んでいる。

さらに、⑤労働生産性の向上を図るため、IoT推進コンソーシアムの設立やIoT導入に対する支援を行うとともに、⑥人材確保対策として、ウェブサイト等を通じた企業の魅力紹介や、首都圏等からの高度人材のマッチング、新分野に進出する場合に正社員を雇用する際の人件費助成などに取り組んでいる。

働き方改革による魅力ある職場環境づくりは、中小企業にとって人手不足解消のためにも不可欠であることから、近く開催する「とやま県民活躍・働き方改革推進会議」での議論も踏まえ、来年度以降に向けた、業種や規模に応じたきめ細かな支援策を検討してまいりたい。

問3 働き方改革について

(2) 学校現場の働き方改革について、厳しい勤務環境を踏まえた教職員定数の抜本的な拡充などが必要と考えるか、今後どのように取り組むのか、問う。

【渋谷教育長 答弁】

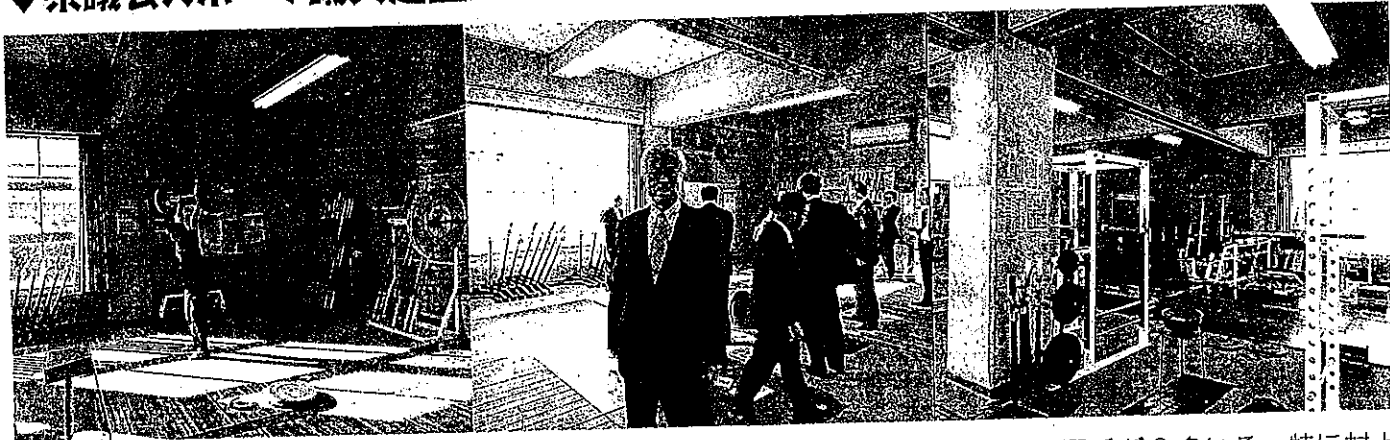
教員の働き方を見直し、多忙化を解消していくことは、子ども達と向き合う時間の確保や教員の健康保持の観点から大変重要なことと考えている。このため、本県ではこれまでも、小学校専科教員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど外部人材の活用などを積極的に進めており、今年度も、英語専科教員や小中連携型スクールカウンセラー、スポーツエキスパートの配置の拡充、県立学校の事務の共同化による教員の負担軽減に努めている。

国においても、教員の働き方改革の検討が進められており、文部科学省では、本年8月の中央教育審議会の緊急提言を受け、来年度予算の概算要求において、学校の指導・運営体制の強化・充実のため、小学校の専科指導教員など3,200人の定数改善が計上されている。

教職員定数の拡充については、まずは、国において、新たな教職員定数改善計画を策定し、教職員定数の純増を図っていただくことが、何よりも重要であると考えており、県の重要要望事項として、これまでも国に強く働きかけている。

今後とも、来年度予算など国の動向を注視しながら、国に教職員定数の拡充を働きかけるとともに、県としても外部人材の更なる活用や業務の適正化に努め、教員の働き方改革にしっかりと取り組んでまいりたい。

◆県議会スポーツ議員連盟による県立滑川高校ウエイトリフティング部練習場視察



2020年東京オリンピックに向けて、現在県内出身者選手で候補入り可能性の高い選手が2名いる。特に村上英士朗については、来年度より地元で練習をして世界を目指すことになる。練習拠点を滑川高校トレーニング場によって、高校生や他のジュニア層選手への刺激になり県としても一層強化。



封



あなたの声を「実現」します

富山県議会議員

吉田つとむ



〒930-0116 富山市追分茶屋49-3

TEL: 076-434-3909 FAX: 076-482-2078

E-mail: [Redacted]

整理番号	使途項目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	--

(事業内容)

北日本政経懇話会
平成30年度上期会費

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額 (円)	備 考
	平成30年会費	27,000円	平成30年1月~3月分
	振込手数料	486円	
		(合 計)	27,486円



《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

（裏面もあわせて貼付すること。）

北陸銀行 キャッシュガードサービス ご利用控

いつもご利用いただき、ありがとうございます。
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	振込番号	処理番号	日付
お振込	0015289	30-01-18	
銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	取扱店番号
			106
総計枚数		繰上枚数	
万円	五千円	二千円	千円
500円	100円	50円	10円
5円	1円		
005000000004		000401030101	
時刻	ご利用手数料 (消費税等を含む)	お取引金額	
13:12	¥486円	¥54,000円	
おつり		お振込後の残高	
¥0円		円	
手数料のうち振込手数料		¥486	
		000012	
 キタニホッセイゲイコンワカイ 様 ヨシタツトム 様 電話番号 			

お願い... 通帳へ記入されるまで大切に保管ください。
ATM振込法の明細はご利用控えを添付させていただきます。

第(201)5002/4 38.6 10.8x509 CR

1-4

請 求 書

平成 30年 1月 15日

富山県議会議員
吉田 勉 様

北日本政経懇話会
会長

〒930-0094
富山市安住町
北日本新聞社経営企画室
TEL076(445)3528
FAX076(444)9180

下記のとおり、ご請求申し上げます。よろしくお願い致します。

請求金額 54,000円

摘 要	金 額
平成30年上期会費（平成30年1月－6月分） 9,000円×6カ月	54,000円
合 計 54,000円	
備考 会費（1カ月9,000円）は6カ月、半期ごとにお支払いを お願いしております。	

※お支払いにつきましては誠に恐れ入りますが、2月13日（火）までに下記の北日本政経懇話会口座へお願い致します。

なお、振り込み手数料は御社でご負担願います。



整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	北日本新聞	3,072円	12月分
富山	3,072円	12月分	
赤旗	3,072円	12月分 11月分	
		6,974円	
		13,138円	
	(合 計)	9,696円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を複数、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

2017年12月分 領収証 発証No 00004567-201712-1

吉田 勉 様

品 名	部数	金 額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合 計 金 額
¥3,072
(消費税込み)

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購読有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞

領収印

1-5

領収証

17年 12月分 29年12月7日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

品 名	部数	金 額
富山新聞	1	3,072

上記金額正に領収致しました。

富山新聞販売 (株)
富山センター 吳羽茶屋販売所

富山市黒崎588
TEL 076-493-1160
FAX 076-493-1140

集金担当



ご愛読に感謝いたします。新年を迎えるにあたり、皆様のご多幸をお祈り致します。

吉田 勉

様

新聞・雑誌名
日刊「しんぶん赤旗」

部数 金額
1 3,497

日本共産党発行の
しんぶん赤旗

領 収 書

3,497 円

2017 年 12 月分

上記の金額たしかにいただきました。
ありがとうございました。

930-0982
富山市荒川2丁目24-12
日本共産党富山県委員会
TEL 076-432-8383

領収日

扱者



領収書貼付台紙

（ならないように貼付すること。）

吉田 勉

様

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497

日本共産党発行の
しんぶん赤旗

領収書

3,497 円

2017 年 11 月分

上記の金額にしかっていただきました。
ありがとうございました。

930-0982
富山市荒川2丁目24-12
日本共産党富山県委員会
TEL: 076-432-8383

領収日

投者

整理番号		会派・議員名 公明党 吉田 勉
活動名称	研修費	
目的	地方議員研究会 1/29(月) 防災対策特別講座 10:00~12:30 1/30(火) 教育改革特別講座 10:00~12:30 子どもの貧困対策特別講座 14:00~16:30 空室対策 " 14:00~16:30	
日程	平成30年 / 月 29 日 (月) ~ 平成30年 / 月 30 日 (火)	
場所	TKP 東京駅八重洲 カンパルス エッジ	
国名・都市名、 施設名、訪問先等		
相手方等	地方議員研究会 1/29(月) 1/30(火) 樋渡啓祐 (元佐賀県武雄市長)	
主催者、対応者、 参加者、同行者等		
行程・活動内容	1/29(月) 10:00~12:30 防災対策特別講座 { <ul style="list-style-type: none"> ・TPP北部豪雨、熊本地震での対応 ・SNS, Google マップの活用方法 ・災害時に議員はどう動いたか? ・防災計画の修正とタイムライン ・支援力と支援計画 } 14:00~16:30 子どもの貧困対策特別講座 { <ul style="list-style-type: none"> ・武雄市の「子どもの貧困対策課」の取り組み ・子どもの生活実態調査からみる課題と解決策 ・子供の貧困に翻生した地方自治体 ・子供の未来を応援する自治体連合 ・地方議員の活動で「子どもの貧困問題」を解決せよ } 1/30(火) 10:00~12:30 教育改革特別講座 { <ul style="list-style-type: none"> ・武雄式反転授業の効果 ・タブレットを全ての児童に ・官民一体型学校 ・世界一面白い学校へ } 14:00~16:30 空室対策特別講座 { <ul style="list-style-type: none"> ・空室屋の推移と分類 ・既存の空室、空き地、バツの課題 ・全国空室対策協会、議員連盟の活用 ・地方創生、人口対策と空室屋から切り出す }	

※日帰りの政務活動を含む。

政務調査費対象事業実績報告書

平成30年1月31日

党派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	使途項目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	--

(事業内容)

地方議員研究会

1/29(A) 防災対策特別講座 10:00~12:30

子供の貧困対策特別講座 14:00~16:30

1/30(B) 教育改革特別講座 10:00~12:30

空乏対策特別講座 14:00~16:30

TKP 東京駅ハチ洲カンファレンスセンター (開催場所)

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		北陸新幹線	25060円
	鉄道-バス代	308円	東京駅~日暮里 154円 x 2
	受講料	60000円	
	食費代	7000円	1/29~30 昼食代 1500円 x 2, 1/29夜食代 2000円 x 2
	宿泊代	11350円	1/29 1泊
		103718円	
	(合計)	77718円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

領 収 証

No. 136502

RECEIPT

平成 30 年 1 月 28 日

ご氏名 高橋謙公明宛 様
吉田 宛

(ご注意)
本証に、支店名、支店
印、責任者印無きもの
及び金額欄を訂正した
ものは無効とします。

金 額 ￥25,060-

ただし 1/29 取替付券

- 1. 現 金
- 2. 小 切 手
- 3. 振 込
- 4. クレジット(カード)
- (※)
- 5. その他()

上記金額正に領収いたしました。

50,000円以上

収入印紙

株式会社日本旅行 TIS 支店 営業本部

06810

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.

責任者印

扱者名

1-6

ご請求書

平成30年01月17日(水)
No. 24- 180025

〒930-0001
富山市明輪町1番230号クラルテ1階

株式会社日本旅行TiS富山支店

富山県議会公明党 様

TEL: 076-433-1184

FAX: 076-433-5250

このたびは、当社をご利用いただき誠にありがとうございます。
下記の通り、ご請求申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

支店長：
担当者：

ご請求金額：25,060円

ご利用日	ご旅行内訳および種別	単価	人員・数量	金額
01/29(月)	JR券(富山~東京)	25,060	1	¥25,060
合 計				¥25,060

※お支払いは、平成30年01月26日(金)までに、お支払い下さい。
※振込手数料は、お客様負担でお願いいたします。

き り と り せ ん

受取証

振込依頼書

平成 年 月 日			
金額	百万	千	円
			¥25,060
振込先	みずほ銀行十五号支店		
受取人	預金種目	普通	口座番号 3101858
	株式会社 日本旅行		
ご依頼人	24		
上記金額正に受け取りました。 平成 年 月 日			
銀行	収入印紙		
支店			

頼ご日依	平成 年 月 日	電信扱	手数料			
振込先	みずほ銀行十五号支店		金額	百万	千	円
						¥25,060
受取人	預金種目	普通預金口座	口座番号	3101858		
	カブシキカイシャ ニホンリョコウ					
	株式会社 日本旅行					
	〒930-0001 富山市明輪町1番230号クラルテ1階 TEL (076) 433-1184					
ご依頼人	(フリガ)					
	(おなまえ)	24				
	(おところ) (電話)					
内訳			現金			
			当店券			
			他店券			
			振替			
			出納印または振替印			

領収証

富山県税公明会様 No. 10201

但し 領収代として
1952年7月29日 上記正に領収いたしました

内訳

ホテルサニ

東京都荒川区西日暮里2丁目19番2号
TEL 03-3807-3200

収入印紙

取扱金額
消費税額率(%)

1952年7月1097

1-6

北陸銀行 キャッシュガードサービス
ご利用種

いつもご利用いただき、ありがとうございます。
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	請求番号	処理番号	日付
お振込	0047174	30-01-19	
銀行番号	預金店番号	科 目・口座番号	取扱店番号
			106
万円	千円	百円	十円
006000	000000	001020	1000101
時刻	ご利用手数料 (消費税等を含む)	お取引金額	
11:07	¥756円	¥60,000円	
おつり	お振込額 残額		
¥0円	円		

手数料のうち振込手数料 ¥756
000011

楽天銀行
第二営業支店
普通 7520919
シヤ)チホウキビツケンキユウカイ 様

トヤマケツキカイ ヨリダツドム 様

電話番号 076-444-9669

表面もあわせてご覧ください。

お願い... ATM振込の処理にはご利用ください。お振込の際は、お振込先(銀行・支店)を必ずご確認ください。

K00113042 X 58.6 193x500 CR

領 収 証

富山県議会公明党 様 30年1月29日

★ **¥60,000**

但 1/29~1/30

「樋渡啓祐氏 特別講座 in東京」
4講座 研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297



1-6

平成30年1月4日

富山県議会公明党
吉田 勉様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 06-7878-6297
FAX 06-7878-6308

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
つきましては、お確かめのうえ、事前に受講料のお振込みをお願いいたします。

お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
キャンセルの場合は、必ずご連絡をお願いいたします。
お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

- ・受講日 平成30年1月29日10:00~12:30、1月29日14:00~16:30、
1月30日10:00~12:30、1月30日14:00~16:30（東京）
- ・受講料 1講座 15,000円 × 4講座 = 60,000円
- ・領収証宛名 富山県議会公明党様

【 受講料 お振込み口座 】
楽天銀行 第二営業支店
普通 7520919
名義 (社)地方議員研究会

平成30年1月19日

富山県議会公明党
吉田 勉様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 06-7878-6297
FAX 06-7878-6308

入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。

領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

- ・受講日 平成30年1月29日10:00~12:30、1月29日14:00~16:30、
1月30日10:00~12:30、1月30日14:00~16:30（東京）
- ・受講料 60,000円
- ・領収証宛名 富山県議会公明党様
- ・お振込み日 平成30年1月19日
- ・お振込み名義人 富山県議会 吉田勉様

※当日は会場1階の案内をご覧の上、会議室までお越しください。

地方議員研究会

※当社類似名称を名乗る企業、団体から案内チラシが加えられる場合がありますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、チラシレイアウト等も同じ趣旨な団体もございますので、お間違いのないようにくれぐれもご注意ください。

1月29日(月)

10:00~12:30

防災対策特別講座

- ・九州北部豪雨・熊本地震での対応
- ・SNS、Googleマップの活用方法
- ・災害時に議員はどう動いたか?
- ・防災計画の修正とタイムライン
- ・受援力と受援計画

14:00~16:30

子どもの貧困対策特別講座

- ・武雄市の「子どもの貧困対策課」の取り組み
- ・子どもの生活実態調査からわかる課題と解決策
- ・子どもの貧困に動き出した地方自治体
- ・子どもの未来を応援する首長連合
- ・地方議員の活動で子どもの貧困問題を解決しよう

1月30日(火)

10:00~12:30

教育改革特別講座

- ・武雄式反転授業の効果
- ・タブレットを全ての児童に
- ・官民一体型学校
- ・世界一通いたい学校へ

14:00~16:30

空き家対策特別講座

- ・空き家の推移や分類
- ・既存の空き家、空き地バンクの課題
- ・全国空き家対策協議会、議員連盟の活用
- ・地方創生、人口対策として空き家から切り込み

樋渡啓祐氏 特別講座

in
東京



ひがし けいすけ
樋渡 啓祐
元佐賀県武雄市長
樋渡社中 Founder&CEO

1969年佐賀県武雄市生まれ。東京大学経済学部卒業後、1993年総務庁(現総務省)に入庁。内閣府沖縄問題担当、内閣中央省庁等改革推進本部事務局、高槻市市長公室長などを経て、2004年総務省大臣官房秘書課課長補佐で退職。2005年当時全国年少36歳で武雄市長に就任。ドラマ「佐賀のかぼあちゃん」の誘致、市民病院の民間移譲、年間100人の武雄市図書館の実現を図り、日経BP「日本をて直す100人」等にも選ばれる。2015年1月佐賀県事選で敗れ、現在、まちづくりの株式会社である樋渡社中を結成しCEO。

↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは FAX または メール にて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。
「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

メール申込み方法

mail@chihogiken.jp

FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

	1月29日(月)	1月30日(火)
10:00 ~ 12:30	<input checked="" type="checkbox"/> 防災対策特別講座	<input checked="" type="checkbox"/> 教育改革特別講座
14:00 ~ 16:30	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの貧困対策特別講座	<input checked="" type="checkbox"/> 空き家対策特別講座

お名前	(フリガナ) 吉田 勉	貴議会名	富山県議会 (2期目)
電話番号	(076) 434-3909	FAX番号	(076) 482-2078
E-mail	[REDACTED]@[REDACTED]		
領収証宛名	ご本人様名・その他(富山県議会 公明党)		
当日不参加の場合はチェックください	<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望) <small>音声データの無断転載等はないことに同意して申込みます</small>		

開催場所

TKP東京駅八重洲
カンファレンスセンター

4講座同場所 〒104-8388東京都中央区
京橋1-7-1戸田ビルディング

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局

地方議員研究会

TEL 06-7878-6297

FAX 06-7878-6308

メール mail@chihogiken.jp

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639



東京駅 八重洲中央口より 徒歩5分

赤い「紳士服コナカ」の看板が目印

※当社類似名称を名乗る企業・団体から案件依頼などの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
テーマ、カランレイアウト等も同じ悪質な団体もございますので、お間違いのないようご注意ください。

政務調査費対象事業実績報告書

平成30年3月1日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	使途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	北日本新聞	6144円	1~2月分
	富山新聞	3072円	1月分
	赤旗	6994円	1~2月分
	〈合 計〉	16210円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を撤し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

吉田 勉

様

日本共産党発行の
しんぶん赤旗

領収書

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497

3,497 円

2018 年 1 月分

上記の金額たしかにいただきました。
ありがとうございました。

930-0982
富山市荒川2丁目24-12
日本共産党富山県委員会
TEL: 076-432-8383

領収日

投者

2018年 1 月分 領収証 発証No 00004567-201801-1

吉田 勉 様

品 名	部数	金 額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額
¥3,072
(消費税込み)

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購読有難うございます

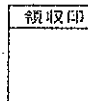
上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞



領収印



3-1

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

2018年 2月分 領収証 発証No. 00004567-201802-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額
¥3,072
(消費税込み)

※お客さまの個人情報は、当販売所において適切に管理し、新聞の配達・料金・販売所からの各種ご連絡、新聞・商品等のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利ですが
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購入有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞

領収印



領収証

18年 01月分 20年1月7日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売(株)
富山センター 呉羽茶屋販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当



今年もみなさまのご健康とご健勝をお祈り
申し上げます。雪害と体調管に、ご留意を。

吉田 勉

様

日本共産党発行の
しんぶん 赤旗

領収書

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497

3,497 円

2018 年 2 月分

上記の金額はしんぶん赤旗に
お支払い済みです。
930-0932
富山県富山市黒崎2丁目24-119
日本共産党富山県委員会
TEL 076-432-8383

領収日

扱者



3-1

整理番号	用途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費・人件費
------	------	---------------------------------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		富山県新町新聞	6,000円
	富山新聞	6,144円	H30年2月～3月(2ヶ月分)
	北日本新聞	2,072円	H30年3月(1ヶ月分)
	赤旗	3,497円	H30年3月(1ヶ月分)
	《合計》	18,713円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を一枚、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 書
富山県議会議員 吉田 勉 様
¥ 6, 000
期間：平成29年10月-平成30年3月分 (購読料) 上記の金額を領収致しました 2018年 3月 6日
(株)富山県市町村新聞社 代表取締役 廣瀬 慶 〒930-0094 富山市安住町7番14号 電話076-494-1010番 FAX 076-494-1012番

お客様コードNo. XXXXXXXXXX

請 求 書

伝票No. 51

30年 3月 6日

富山県議会議員会 吉田 勉 様

(株)富山県市町村新聞社代表取締役社長 廣瀬慶三
 富山市安住町7番14号 TEL076(494)1010 FAX076(494)1012
 <取引銀行> 北陸銀行富山丸の内支店(当)1009096
 富山第一銀行本店 (普)194888
 富山信用金庫本店 (普)495903

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。

商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
新聞代 平成29年10月～平成30年3月分	6		1,000	6,000*	
(消費税合計 444)				合 計	6,000

摘 要

*は税込金額です。

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

領収証

18年 02月分 20年2月27日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売 (株)

富山センター 呉羽茶屋販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当



1月から紙面を刷新し地域に密着した多彩な連載をスタートさせ地元の問題を充実させます。

領収証

18年 03月分 20年2月27日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売 (株)

富山センター 呉羽茶屋販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当



「富山新聞 お友達紹介キャンペーン」実施中。
新規購読者紹介でギフト券5千円分ゲット!

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

吉田 勉

様

日本共産党発行の
しんぶん赤旗

領収書

3,497 円

2018 年 3 月分

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497

上記の金額にしかねない場合は、
ありがとうございます。

960-0982

富山市荒川2丁目24-12

日本共産党富山県委員会

TEL 076-432-8383

領収日

投者

2018年 3月分 領収証 発証No 00004567-201803-1

吉田 勉 様

品 名	部数	金 額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合 計 金 額
¥3,072
(消費税込み)

※本誌の個人情報は、当誌発行に必要に応じて、印刷の配達にも、読者様からの各種ご連絡、資料の取寄せなどに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購読有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞



領収印

3-2

政務調査費対象事業実績報告書

平成30年3月31日

党派・議員名 公明党 百田 勉

整理番号	用途項目	調査研究費・研修費・会議費・資料作成費・資料購入費・広報費・ <u>事務費</u> ・人件費
------	------	--

(事業内容)

備品購入

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		エコ名刺用紙	4400円 862円
	ファインインクカートリッジ	17,148円	14,296円 × 1/2 (按分)
	(合計)	8,010円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

DCMカーマ

呉羽店

076-434-4000

営業時間 9:30~19:30

★カーマ新規会員登録キャンペーンのご案内
お得なカーマカードに入会されますと
もれなく1000ポイントをプレゼント!
年会費初年度無料となります!

領収証

2018年03月31日(土)18:34 レシ0003

016 キヤノン 純正インク 4960999971308 2コX単3002	¥6,004
016 キヤノン 純正インク 4960999904900 2コX単1382	¥2,764
016 キヤノン 純正インク 4960999904894 2コX単1382	¥2,764
016 キヤノン 純正インク 4960999904535	¥1,382
016 キヤノン 純正インク 4960999904887	¥1,382
合計	¥14,296
(内税タイヨウ)	¥14,296)
(内税)	¥1,058)
(税合計)	¥1,058)

お預り ¥20,000
お釣り ¥5,704
お買上点数 8点



レシートNo8717

店No00803

呉羽店 領収証

領収証

2018年03月31日(土)

¥14,296-

上記正に領収しました(消費税等 1,058円を含みます)
但し、商品代金(448-00046愛知県刈谷市日高町4-101
DCMカーマ 呉羽店 076-(434)-4000
TELのお願い
※保管上のお願、場合は、印刷面を内側に折って保管願います。

0003-2728-8717

領収証明細

2018年03月31日(土)18:34 レシ0003

016 キヤノン 純正インク 4960999971308 2コX単3002	¥6,004
016 キヤノン 純正インク 4960999904900 2コX単1382	¥2,764
016 キヤノン 純正インク 4960999904894 2コX単1382	¥2,764
016 キヤノン 純正インク 4960999904535	¥1,382
016 キヤノン 純正インク 4960999904887	¥1,382
合計	¥14,296
(内税タイヨウ)	¥14,296)
(内税)	¥1,058)
(税合計)	¥1,058)
お買上点数	8点



レシートNo8717

店No00803

3-3